NTT docomo

GALAXY Tab S 8.4 SC-03G

取扱説明書

’14. 11

はじめに

「SC-03G」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書について

■「クイックスタートガイド」（本体付属品）

画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明しています。

■「取扱説明書」（本端末のアプリ）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

- ホーム画面で → 「取扱説明書」をタップします。項目によっては、記載内容をタップして、説明ページよりダイレクトに内容の参照や機能の起動を行うことができます。
- 初めてご利用される際には、画面の指示に従って本アプリのダウンロードとインストールをする必要があります。
- 「取扱説明書」アプリを削除した場合、再度インストールするには、ホーム画面で「Playストア」から「SC-03G 取扱説明書」で検索し、「取扱説明書」アプリをダウンロードしてください。

■「取扱説明書」（PDFファイル）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

- ドコモのホームページでダウンロード
  https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※「クイックスタートガイド」の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

操作手順の表記について

本書では、メニュー操作など連続する操作手順を省略して以下のように記載しています。

- タップとは、本端末のディスプレイを指で軽く触れて行う操作です（P.62）。

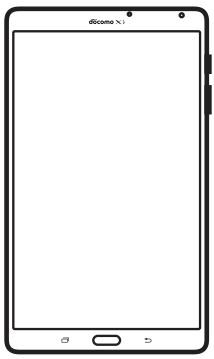
（例）ディスプレイのホーム画面から、（アプリアイコン）、（Googleアイコン）を続けてタップする場合は、以下のように記載しています。

1 ホーム画面で → 「Google」

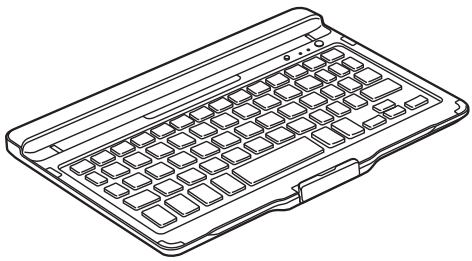
- 本書の操作手順や画面は、主にお買い上げ時の状態に従って記載しています。本端末は、お客様が利用するサービスやインストールするアプリによって、メニューの操作手順や画面の表示内容などが変わる場合があります。
- 本書はホームアプリが「docomo LIVE UX」の場合で説明しています。ホームアプリは、ホーム画面で →「設定」→「デバイス」タブ →「ホーム切替」をタップして切り替えられます。
- ホーム画面やアプリ画面などに、操作方法などを説明するガイダンス画面が表示される場合があります。「以後表示しない」などの選択項目が表示されている画面は、選択すると、以降表示されなくなります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、複数の操作方法が可能な機能や設定は、主に操作手順がわかりやすい方法について説明しています。
- 本書では、「SC-03G」を「本端末」、「Tab S 8.4専用Bluetooth®キーボード SCO1」を「Bluetooth®キーボード」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

SC-03G本体
（保証書付き）

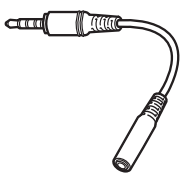


Tab S 8.4専用
Bluetooth® キーボード
SC01（保証書付き）



クイックスタートガイド

外付けワンセグアンテナ
ケーブル SC01



本端末に対応するオプション品(別売)は、ドコモのホームページをご覧ください。

https://www.nttdocomo.co.jp/product/option/

目次

目次/注意事項

本体付属品 ……2
本端末のご利用について……6
安全上のご注意（必ずお守りください）……9
取り扱い上のご注意……34

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能……46
ドコモminiUIMカード ……49
充電 ……53
電源を入れる／切る ……57
基本操作 ……61
文字入力 ……76
Bluetooth® キーボード……92
初期設定 ……102
画面表示とアイコン ……106
ホーム画面……114
アプリ画面……120
クイック検索ボックスを使用する……131
Sファインダーで検索する……137
最近使用したアプリの一覧……137
タスクマネージャー ……138
ホームアプリの切り替えかた……139

docomo LIVE UX

ホーム画面の見かた ……140
ホーム画面の管理……142
アプリ画面の見かた……149
アプリの管理 ……151
「おすすめ」アプリのインストール……152
ホーム画面のバックアップと復元……153
マイマガジンの利用……154
ホームアプリの情報……155

メール／ウェブブラウザ	ドコモメール……156 SMS……157 Eメール……168 Gmail……182 緊急速報「エリアメール」……184 ウェブブラウザ……187
アプリ	dメニュー……204 dマーケット……205 Playストア……205 GALAXY Apps……207 トルカ……208 テレビ（フルセグ／ワンセグ）……210 カメラ……229 ギャラリー……245 プレイヤー……254 GPS／ナビ……269 時計……274 Sプランナー……277 電卓……278 ドコモバックアップ……279 YouTube……285 辞書……285 Sボイス……286 SideSync 3.0……287
本体設定	設定メニュー……289
ファイル管理	ストレージ構成……360 ファイル操作……366
データ通信	Bluetooth通信……372

外部機器接続	パソコンとの接続 ……379 プリンターとの接続 ……383 メディアファイル共有機能対応機器との接続 ……384 MHL 接続でテレビに表示……387
海外利用	国際ローミング（WORLD WING）の概要……389 ご利用できるサービス……390 ご利用時の確認……391 帰国後の確認 ……395
付録／索引	トラブルシューティング（FAQ）……396 あんしん遠隔サポート……413 保証とアフターサービス……414 ソフトウェア更新 ……419 主な仕様……422 データ通信端末の比吸収率（SAR）などについて……431 輸出管理規制 ……439 知的財産権 ……440 SIMロック解除……445 索引……446

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は、音声通話およびデジタル通信（テレビ電話、64Kデータ通信）には対応しておりません。
- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、Xiサービスエリアおよび FOMA サービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが４本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は、FOMA プラスエリアおよび FOMA ハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードや本端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリなどによっては、動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され、不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上、ご利用ください。

- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、ドコモnanoUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- 本端末は、ｉモードのサイト（番組）への接続やｉアプリなどには対応しておりません。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 本端末では、マナーモード中（サイレント、バイブ）でも、各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生、シャッター音など）は消音されません。
- お客様の電話番号（自局電話番号）は以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で → 「設定」 → 「一般」 タブ → 「端末情報」 → 「ステータス」 をタップします。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態にすることができます(P.419)。
- 本端末は、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップにより機能が追加されたり、操作方法が変更になったりすることがあります。機能の追加や操作方法の変更などに関する最新情報は、ドコモのホームページでご確認ください。
- OSをバージョンアップすると、古いバージョンのOSで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 紛失に備え、画面ロックを設定し端末のセキュリティを確保してください。

- 万が一紛失した場合は、Gmail、Google Playなどの GoogleサービスやSNSなどのサービスを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要となります。
- テザリングのご利用には、パケットパック／パケット定額サービスの加入を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、https://www.nttdocomo.co.jp/ をご覧ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ **危険**	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ **警告**	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. 本端末、アダプタ、Bluetooth®キーボード、外付けワンセグアンテナケーブル、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて（共通）…… P.12
2. 本端末の取り扱いについて…… P.15
3. アダプタの取り扱いについて …… P.21
4. Bluetooth®キーボードの取り扱いについて …… P.24
5. ドコモminiUIMカードの取り扱いについて …… P.29
6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて… P.30
7. 材質一覧…… P.31

1.本端末、アダプタ、Bluetooth® キーボード、外付けワンセグアンテナケーブル、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて(共通)

⚠ 危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿、汗などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子、ヘッドホン接続端子に液体（水や飲料水、ペットの尿、汗など）を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

本端末に使用するオプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子、ヘッドホン接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けが、感電の原因となります。

指示

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながら動画、ゲーム、テレビ視聴などを長時間行うと本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2.本端末の取り扱いについて

■本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠ 危険

禁止

火の中に投下したり、熱を加えたりしないでください。

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠ 警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末内のドコモminiUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

通知音などが鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、バイブ（振動）や通知音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ内部には耐衝撃性の樹脂、カメラのレンズの表面にはアクリル部品を使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

⚠ 注意

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、内部物質が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。内部物質が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診療を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸などで洗い流してください。

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について → P.31「材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

3.アダプタの取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、上下左右に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、コンセントに触れないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、無理な力を加えず、水平に真っ直ぐ抜き差ししてください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

4.Bluetooth® キーボードの取り扱いについて

■ Bluetooth® キーボードの内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

⚠ 危険

禁止

火の中に投下したり、熱を加えたりしないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠ 警告

濡れ手禁止

濡れた手でBluetooth®キーボードに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

航空機へのご搭乗にあたり、Bluetooth®キーボードの電源を切ってください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、Bluetooth®キーボードの電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、Bluetooth® キーボードの電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部からBluetooth® キーボードを15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前にBluetooth®キーボードの電源を切ってください。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医療機関内におけるBluetooth®キーボードの使用については、各医療機関の指示に従ってください。

⚠ 注意

禁止

Bluetooth® キーボードが破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となったBluetooth® キーボードは、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について → P.31「材質一覧」

指示

内蔵電池内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

5. ドコモminiUIMカードの取り扱いについて

⚠ 注意

指示

ドコモminiUIMカードを取り扱う際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。

6.医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠ 警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源OFFなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

7.材質一覧

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース（側面）	PC	非導電（透明塗料）
外装ケース（背面）	PC	非導電（透明塗料）
スピーカー	SUS304	PVDコーティング
カメラレンズ、フラッシュ／ライトパネル周囲部分	アルミニウム	陽極酸化処理
カメラレンズパネル	ガラス	AFコーティング
フラッシュ／ライトパネル	アクリル	ー
電源／画面ロックキー、音量キー	アルミニウム	陽極酸化処理
ホームキー／指紋センサー（周囲部分）	アルミニウム	陽極酸化処理
ホームキー／指紋センサー（中央部分）	エポキシモールド化合物	UV塗装
ディスプレイ（タッチパネル）	強化ガラス	AFコーティング
赤外線ポート（IrLED）パネル	PC	ー

使用箇所		使用材質	表面処理
microSDカードスロット		PC	非導電（透明塗料）
ドコモminiUIMカードスロット		PC	非導電（透明塗料）
ヘッドホン接続端子（周囲部分）		PC	―
外部接続端子		ステンレス	―
押し込みクリップ		PC	UV塗装
外付けワンセグアンテナケーブルSC01	接続プラグ（先端部）	真鍮、ABS樹脂	金メッキ
	接続プラグ（外装）	ABS樹脂、熱可塑性エラストマー	―
	ケーブル	熱可塑性エラストマー	―

使用箇所		使用材質	表面処理
Tab S 8.4専用 Blue-tooth® キーボード SC01	外装ケース	PC	SFコーティング
	キーパッド	ABS樹脂	―
	ファスナークリップ	PC	PVDコーティング
	ロックボタン	PC	SFコーティング
	Bluetoothボタン	PC	SFコーティング
	緩衝部	POLY U/R	―
	側面部	PC	PVDコーティング
	リアケース	PC	SFコーティング
	外部接続端子	H/W	―
	電源スイッチ	PC	PVDコーティング
	底面すべり止め	シリコン	―

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ 水をかけないでください。

本端末、アダプタ、Bluetooth® キーボード、外付けワンセグアンテナケーブル、ドコモ miniUIM カードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ **本端末などに無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子やヘッドホン接続端子に差した状態の場合、破損、故障の原因となります。

■ **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。

■ **対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

本端末についてのお願い

■ **ディスプレイの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
ディスプレイが破損する原因となります。

■ **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～ 35℃、湿度は45% ～ 85%の範囲でご使用ください。

■ **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

■ **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **外部接続端子やヘッドホン接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ **通常はmicroSDカードスロットカバー、ドコモminiUIMカードスロットカバーを閉じた状態でご使用ください。**
ほこり、水などが入り故障の原因となります。

■ **指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。**
指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。

■ **指紋センサーは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で清掃してください。**
指紋センサーが汚れていたり表面に水分が付着していたりすると、指紋の読み取りができなくなり、認証性能の低下や誤動作の原因となります。

■ **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

■ **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■ **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**

強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

■ **内蔵電池は消耗品です。**

使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～ 35℃）の場所で行ってください。**

■ **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**

■ **本端末を保管される場合は、次の点にご注意ください。**

- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管

内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をおすすめします。

■ **本端末をデコレーションしたり、ペインティングしたりしないでください。**

誤動作の原因となります。

アダプタについてのお願い

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～ 35℃）の場所で行ってください。**

■ **次のような場所では、充電しないでください。**
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■ **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■ **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**

■ **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
故障の原因となります。

Bluetooth® キーボードについてのお願い

■ **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～ 35℃、湿度は35% ～ 85%の範囲でご使用ください。

■ **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

■ **Bluetooth® キーボードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **使用中、充電中、Bluetooth® キーボードは温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **磁気カードなどをBluetooth® キーボードに近づけないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■ **Bluetooth® キーボードに磁気を帯びたものを近づけないでください。**
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

■ **内蔵電池は消耗品です。**
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～ 35℃）の場所で行ってください。**

■ **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**

■ **Bluetooth® キーボードを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（Bluetooth® キーボードの電源が入らない程消費している状態）での保管

内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。保管に適した電池残量は、目安として通知ランプが黄色（P.93）の状態をおすすめします。

ドコモminiUIMカードについてのお願い

■ ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

■ 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■ IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■ お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

■ お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■ ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■ ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

■ ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

■ ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

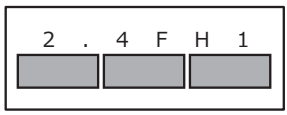
■ 本端末およびBluetooth®キーボードは、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

■ Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 周波数帯について
本端末およびBluetooth®キーボードのBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は、次のとおりです。

本端末

Bluetooth®キーボード



2.4	：	2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH/DS/OF/XX	：	変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDM、その他であることを示します。
1	：	想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
4	：	想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
8	：	想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。

：2400MHz ～ 2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

：2400MHz ～ 2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャネルは国により異なります。航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetoothデバイス使用上の注意事項

本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. **本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。**
2. **万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。**
3. **その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。**

無線LAN（WLAN）についてのお願い

■ 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

■ 無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 5GHz機器使用上の注意事項

本端末は、5GHzの周波数帯において、5.2GHz帯（W52）、5.3GHz帯（W53）、5.6GHz帯（W56）の３種類の帯域を使用できます。

- 5.2GHz帯（W52 ／ 36、40、44、48ch）
- 5.3GHz帯（W53 ／ 52、56、60、64ch）
- 5.6GHz帯（W56 ／ 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch）

本端末に内蔵の無線ＬＡＮを5.2GHz ／ 5.3GHz帯でご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。

注意

■改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク 〒 」が本端末の電子銘板に表示されております。

電子銘板は、本端末で以下の操作を行うとご確認いただけます。

ホーム画面で ⊞ →「設定」→「一般」タブ →「端末情報」→「認証情報」

本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。

技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■自動車などを運転中の使用にはご注意ください。

運転中に携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

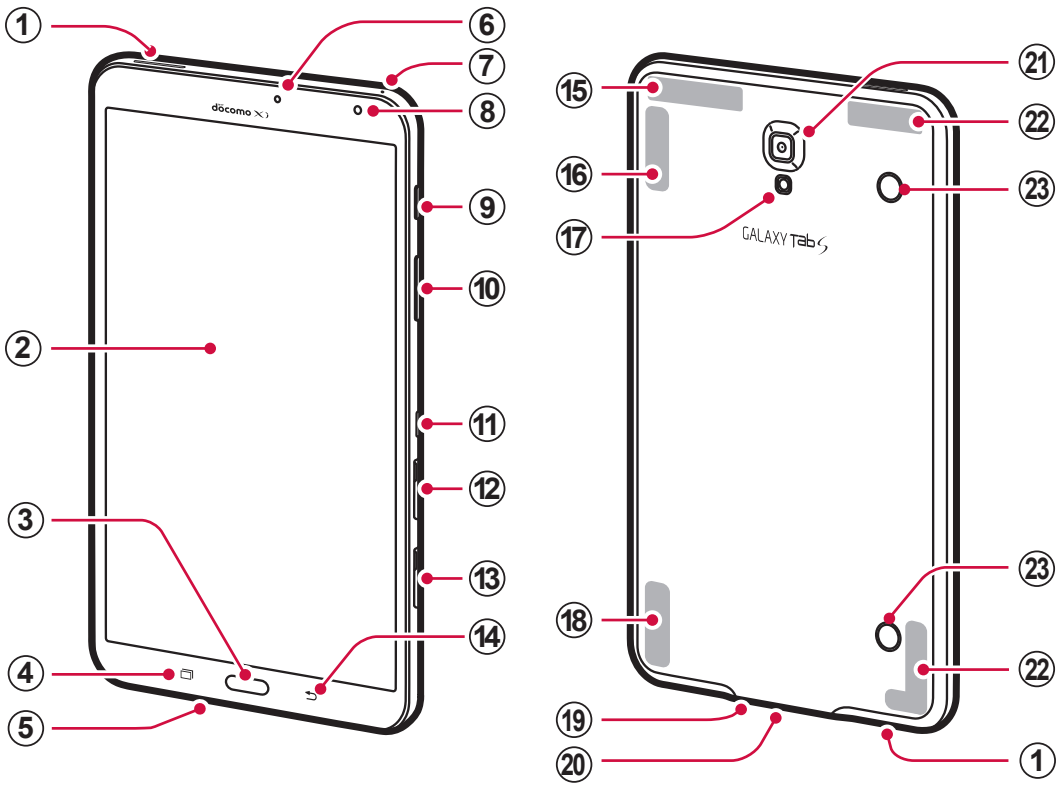
■基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

■データ通信中は、本端末を身体から15mm以上離してご使用ください。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



① スピーカー

② ディスプレイ（タッチスクリーン）→ P.61

③ ホームキー／指紋センサー
- 操作中の画面をホーム画面に戻します。また、指紋認証に使用します（P.70）。

④ 履歴キー
- 最近使用したアプリの一覧が表示されます。
- ロングタッチするとメニューが表示されます。

⑤ ヘッドホン接続端子
- 付属の外付けワンセグアンテナケーブル SC01 やヘッドセット（市販品）などを接続する直径3.5mmの接続端子です。

⑥ **近接・照度センサー**
- 顔などの接近や周囲の明るさを検知しディスプレイの表示を消したり、手や指の動きを検知し本端末を操作したりします。

⑦ **マイク（上部）**
- カメラでの音声コントロールによる撮影時、Sボイスや音声検索などでの音声入力時に動作します。

⑧ **内側カメラ**

⑨ **電源／画面ロックキー**
- 2秒以上押して、本端末の電源を入れます（P.57）。
- 手動で画面ロックを設定できます（P.58）。
- 1秒以上押すと、電源OFF、機内モードの有効／無効、再起動、マナーモードの設定ができます。

⑩ **音量キー → P.323**

⑪ **赤外線ポート**
- 「Smart Remote」アプリ（P.122）でテレビなど他の機器を操作する際に使用します。赤外線通信によるデータの送受信はできません。

⑫ **microSDカードスロット**

⑬ **ドコモminiUIMカードスロット**

⑭ **バックキー**
- メニュー表示などをキー操作の一段階前の状態に戻します。
- ロングタッチすると、マルチウィンドウトレイが表示されます。

⑮ **Wi-Fi ／ Bluetooth ／ GPSアンテナ**※1

⑯ **Wi-Fiアンテナ**※1

⑰ **フラッシュ／ライト**
- 静止画や動画撮影時に点灯します。

⑱ **FOMA ／ Xiアンテナ**※1

⑲ **マイク（下部）**
- カメラでの音声コントロールによる撮影時、Sボイスや音声検索などでの音声入力時に動作します。

⑳ **外部接続端子**

㉑ **外側カメラ**
- 静止画や動画を撮影します（P.233、P.234）。

㉒ **Xiアンテナ**※1

㉓ **押し込みクリップ**
- GALAXY Tab S Book Cover 8.4（市販品）などを固定します。

※1 アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

お知らせ

- 本端末のホームキーや外側カメラのレンズの周囲、および側面には端末保護のための透明な保護シートが付いています。ご使用の際は、必要に応じてお取り外しください。

ドコモminiUIMカード

ドコモminiUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。

- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、ドコモnanoUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードが取り付けられていないと、本端末でメールの送受信、データ通信などの機能が利用できません。
- ドコモminiUIMカードの詳しい取り扱いについては、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

ドコモminiUIMカードの暗証番号について

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号が設定されています（P.352）。

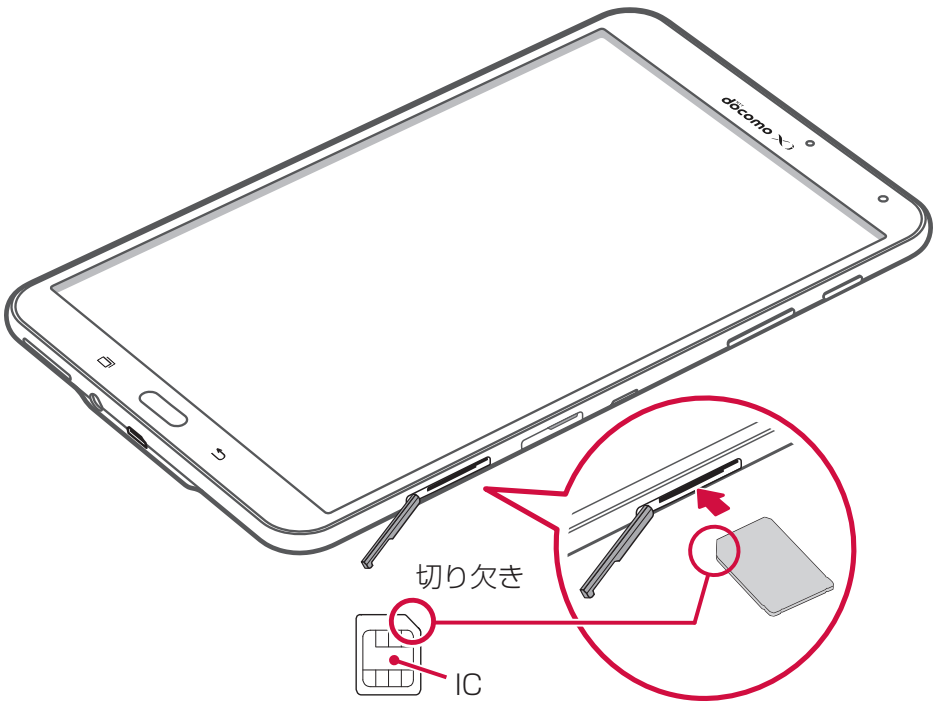
ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外し

- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しは、本端末の電源を切ってから行ってください。

ドコモminiUIMカードを取り付ける

1 ドコモminiUIMカードスロットカバーを開く
- ミゾに指先をかけて、開けてください。

2 ドコモminiUIMカードのIC面を下にして、矢印の向きにカチッと音がするまでドコモminiUIMカードスロットの奥に差し込む

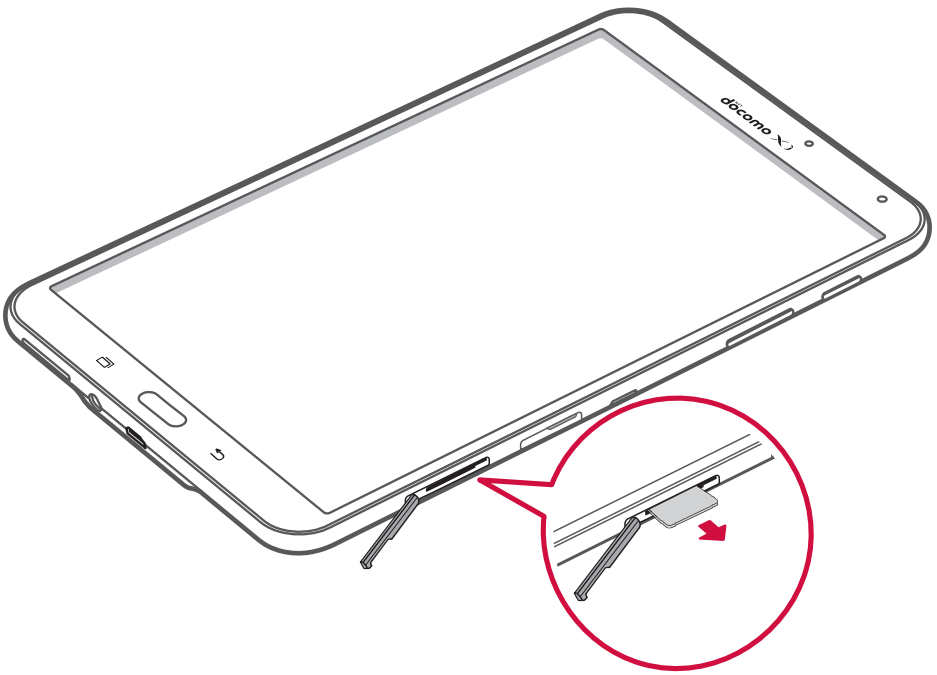


3 ドコモminiUIMカードスロットカバーを閉じ、本端末とすき間がないことを確認する

ドコモminiUIMカードを取り外す

1 ドコモminiUIMカードスロットカバーを開く
- ミゾに指先をかけて、開けてください。

2 ドコモminiUIMカードをカチッと音がするまで押し込んでから離し、矢印の向きにまっすぐ引き出す



3 ドコモminiUIM カードスロットカバーを閉じ、本端末とすき間がないことを確認する

お知らせ

- ドコモminiUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。
- ドコモminiUIMカードを無理に取り付けたり取り外したりしようとすると、ドコモminiUIMカードが破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外したドコモminiUIMカードはなくさないようご注意ください。

充電

■ 内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 充電しながらテレビ視聴などを長時間行うと、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。

Li-ion00

■ 充電について

- ACアダプタ 03 ／ 04 ／ 05（別売）、DCアダプタ 03 ／ 04（別売）について、詳しくは該当の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ 03 ／ 04 ／ 05はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電中でも本端末の電源を入れておけば、本端末を操作することができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電時間が長くなります。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。

■ 電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。

- 充電中に本端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わった後本端末は内蔵電池から電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れの警告が表示されてしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、本端末を一度ＡＣアダプタ、ＤＣアダプタから外して再度セットし直してください。

■ 内蔵電池の使用時間の目安

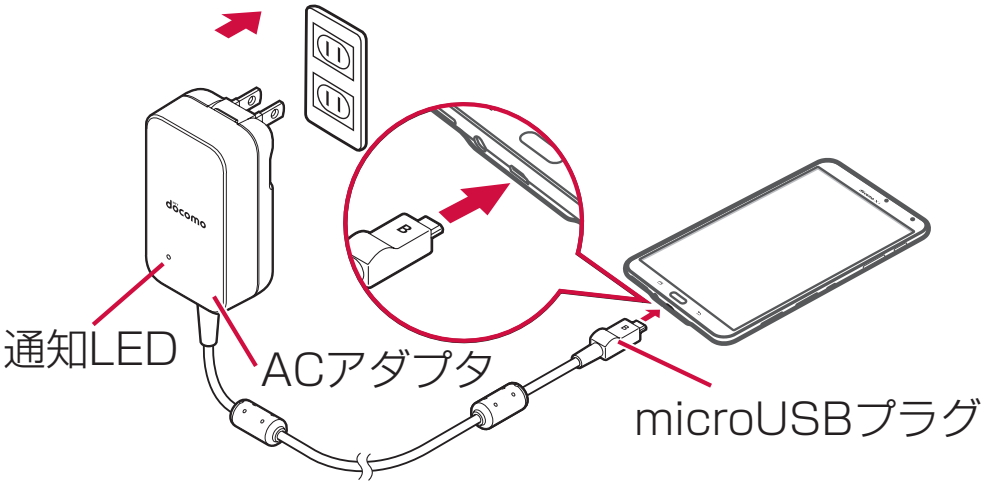
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の状態などで異なります。使用時間の目安については、「主な仕様」（P.422）をご参照ください。

■ 内蔵電池の充電時間の目安

- 充電時間の目安については、「主な仕様」（P.422）をご参照ください。

ACアダプタを使って充電する

ACアダプタ 05（別売）を使って充電する方法を説明します。



1 本端末の外部接続端子に、ACアダプタのmicroUSBプラグをBの刻印面を上にして水平に差し込む

2 ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む

- ACアダプタの通知LEDが緑色に点灯します。
- 充電が完了すると、ステータスバーに 100 が表示されます。

3 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

4 本端末からACアダプタのmicroUSBプラグを水平に引き抜く

microUSB接続ケーブルを使って充電する

microUSB接続ケーブル 01（別売）を使って本端末とパソコンを接続すると、本端末をパソコンで充電することができます。

- パソコンとの接続のしかたは、P.379をご覧ください。
- パソコンとUSB接続を行うと、パソコン上に「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面または「同期セットアップウィザード」画面が表示される場合があります。パソコンと同期せずに充電のみ行いたい場合は、「キャンセル」を選択してください。
- 電力供給側の電圧が低い場合、ステータスバーに が表示されます。充電は行われますが、時間がかかります。また、本端末の状態により充電できない場合があります。

電池が切れそうになると

通知音が鳴り、充電を促すメッセージが表示され、ディスプレイが暗くなります。電池残量がなくなると自動的に本端末の電源が切れます。充電を促すメッセージとともに表示される「省電力」をタップすると、省電力モード設定画面が表示されます（P.348）。機能やアプリによっては、起動しようとすると電池残量が少ない旨のメッセージが表示され、起動できないことがあります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 （電源／画面ロックキー）を2秒以上押す

- 起動画面が表示され、続いてロック画面が表示されます。

初めて電源を入れた場合

画面の指示に従って初期設定を行います（P.102）。

2 をタップ

- ホーム画面を「TouchWiz標準ホーム」に設定している場合は、画面ロックが解除されるまで、画面を上下左右のいずれかの方向にスワイプ（P.62）します。

■ 電波状態を確認する

ステータスバーに電波の受信状態を示すアイコンが表示されます（P.109）。
が表示されたときは、Xiサービスエリアおよび FOMAサービスエリア外や電波の届かない場所にいます。

電源を切る

1 （電源／画面ロックキー）を1秒以上押す

- 端末オプション画面が表示されます。

2 「電源OFF」→「電源OFF」

- 終了画面が表示され、電源が切れます。

画面ロックを設定／解除する

画面ロックを設定し、タッチスクリーンやキーの誤動作を防止できます。

- 「画面のタイムアウト」（P.314）の設定により画面の表示が消えると、約５秒後に自動的に画面ロックが設定されます。

画面ロックを設定する

1 （電源／画面ロックキー）を押す

- 画面の表示が消え、画面ロックが設定されます。

画面ロックを解除する

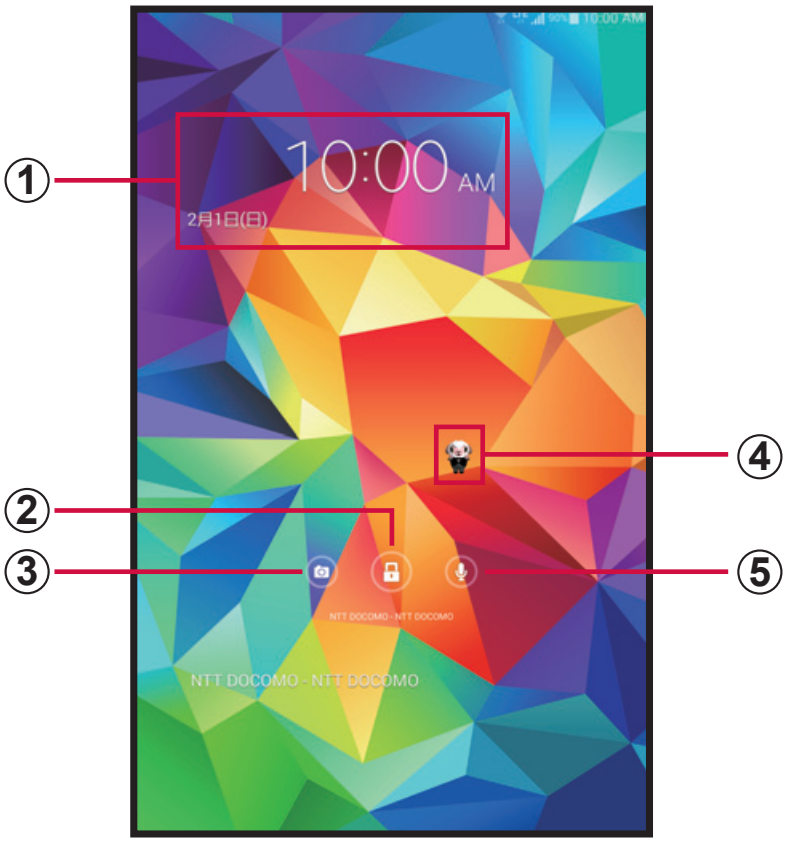
1 画面ロック中に （電源／画面ロックキー）／ （ホームキー）を押す

- ロック画面が表示されます。

2 をタップ

- ホーム画面を「TouchWiz標準ホーム」に設定している場合は、画面ロックが解除されるまで、画面を上下左右のいずれかの方向にスワイプ（P.62）します。

ロック画面について



ロック画面（表示例）
「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

① **時計ウィジェット**

② **ロック解除ボタン**※

③ **カメラ起動ボタン**※

④ **マチキャラ**※**（例：ひつじのしつじくん）**
- メール受信や通知などの情報をお知らせします。

⑤ **検索ボタン**※
- Google検索を起動し検索ができます。

※ ホーム画面を「docomo LIVE UX」に設定している場合のみ表示されます。

お知らせ

- 画面ロック中に新着メールなどの通知情報があると、ロック画面に通知情報が表示される場合があります。
- 画面ロックの解除に画面ロック解除方法が必要になるように設定できます（P.326）。

基本操作

タッチスクリーン、モーションを使って多様な操作ができます。

- タッチスクリーンに電気を帯びた物質や金属性の物質が触れないように注意してください。静電気により本端末がうまく動作しないことがあります。
- 充電中に本端末を使用すると、タッチスクリーンが動作しないことがあります。この場合は、本端末を充電機器から取り外してください。
- 本端末を持って操作する場合は、アンテナが組み込まれている部分を手で覆わないようにしてください。

タッチスクリーンの使いかた

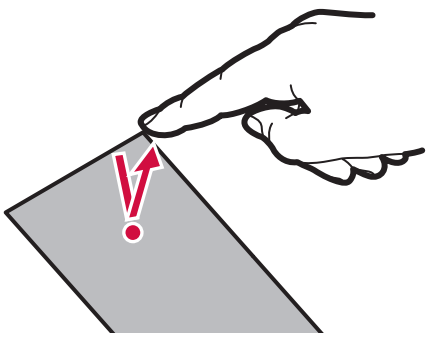
■ タッチスクリーン利用上のご注意

- タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作

本端末のタッチスクリーン（ディスプレイ）は、指で触れて操作できます。本書内では主な操作方法を次のように表記しています。

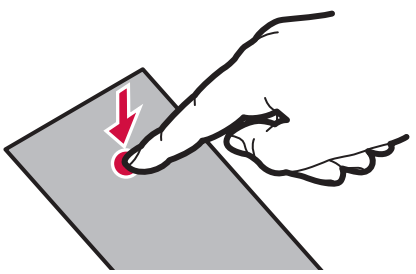
■ タップする／ダブルタップする

表示項目やアイコンなどを指で軽く触れて選択／実行します（タップ）。
また、表示されている画像やホームページなどをすばやく2回続けてタップして、表示内容を拡大／縮小します（ダブルタップ）。



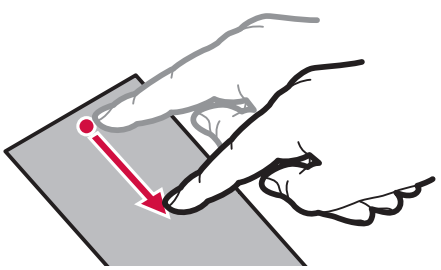
■ ロングタッチする

表示内容や表示項目などを指で1秒以上触れ続けて、メニューなどを表示します。



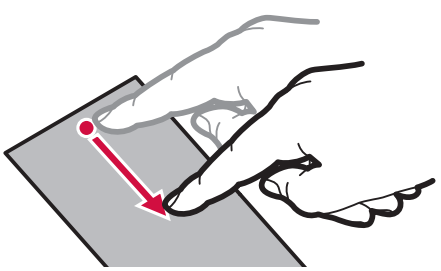
■ ドラッグする

表示項目やアイコンなどを指で触れたまま移動します。



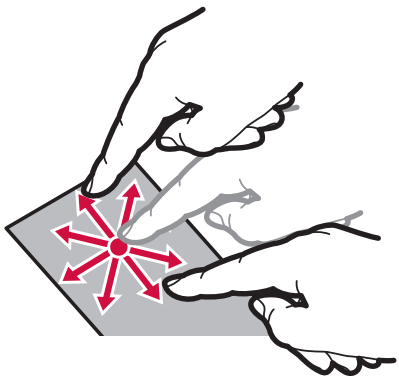
■ スワイプする

表示画面を指で軽くなぞる動作です。



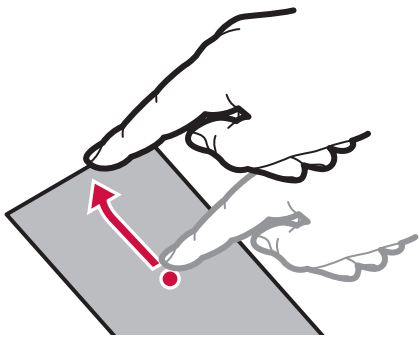
■ スクロールする

表示内容を指で触れながら上下左右に動かしたり、表示を切り替えたりします。



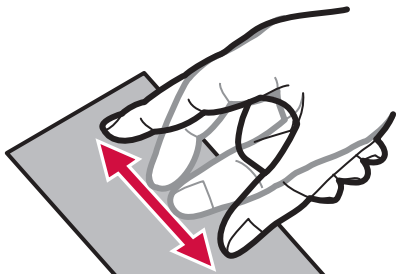
■ フリックする

表示内容を指で触れながら、すばやく上下左右に動かして離し、表示内容をスクロールします。



■ ピンチアウトする／ピンチインする

表示されている画像やホームページなどを2本の指で触れながら、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭めたり（ピンチイン）して表示内容の拡大／縮小ができます。



モーションの使いかた

簡単な動作を利用して、通知音または再生音の消音など多様な機能を実行できます。
※ ドコモが提供するアプリ、およびその他一部のアプリでは、本機能を利用できない場合があります。

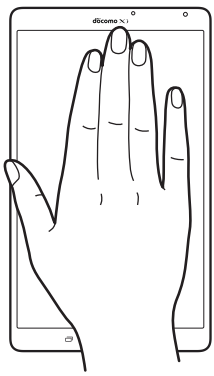
モーションの主な機能

本端末の近接・照度センサーの上で手を動かす、または本端末を動かすなどの動作で、次の操作ができます。

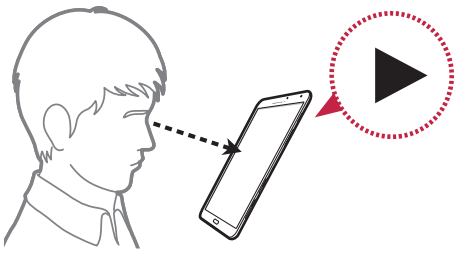
- モーションを利用する前に、ホーム画面で → 「設定」→「デバイス」タブ →「モーション」→ 利用するモーションをタップ → をタップしてONにする必要があります。

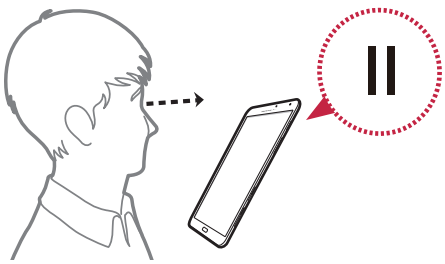
■消音／一時停止

画面に手のひらを置く
画面がONのときに手を画面の上に置くと、アラーム音などを消音したり、メディア再生を一時停止します。



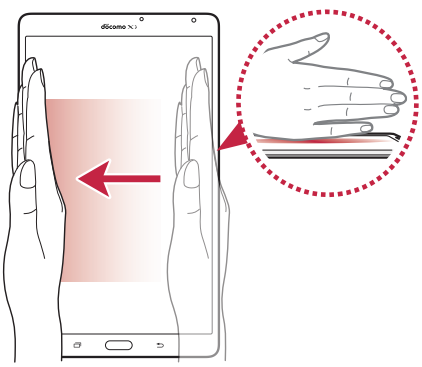
スマートポーズ
動画を再生中に画面から視線をそらすと、動画を一時停止します。





■手のひらでキャプチャ

手の側面で画面上を右から左、または左から右にスワイプすると、画面の表示内容を画像として保存できます。



お知らせ

- 本端末に過度な動き（揺れ、衝撃など）を与えた場合、センサーの特性によってモーション機能が正しく動作しない場合があります。

設定の切替

設定項目にチェックボックスが表示されているときは、チェックボックスをタップすることで設定のON／OFFや有効／無効を切り替えることができます。

- はON、 はOFFの状態です。
- は有効、 は無効の状態です。

ディスプレイの表示方向を自動的に切り替える

本端末の縦／横の向きや傾きなどを感知するモーションセンサーによって、ディスプレイの表示方向を自動的に切り替えることができます。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「デバイス」タブ →「ディスプレイ」

2 「画面回転」

3 をタップ

お知らせ

- 通知パネルでも画面の自動回転の設定ができます。
- ホーム画面や一部の機能など、表示方向が自動的に切り替わらない機能やアプリもあります。

画面の表示内容を画像として保存する

表示中の画面を画像として保存（画面キャプチャ）できます。

1 **画像として保存したい画面を表示**

2 **（ホームキー）と （電源／画面ロックキー）を同時に1秒以上押す**

お知らせ

- 一部のアプリでは画面キャプチャが動作しない場合があります。
- 画面キャプチャした画像はpng形式で保存され、「ギャラリー」／「写真」アプリで確認できます。
- モーション機能の「手のひらでキャプチャ」（P.65）の機能をONにすると、本端末の画面上を手の側面で右から左、または左から右にスワイプして画面キャプチャできます。

指紋認証機能を利用する

指紋認証機能は、指紋センサーに指をスライドして行う認証操作です。

■ 指紋認証利用時の注意事項

- 本機能は指紋の特徴情報を認証に利用するためのものです。このため、指紋の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証機能が利用できないことがあります。
- 指紋の登録には同じ指で複数回の読み取りが必要です。異なる指で登録を行わないでください。
- 認証性能（正しく指をスライドさせた際に指紋が認証される性能）は、お客様の使用状況により異なります。手が乾燥しているなど、指の状態によっては指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。その場合、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
- 指紋の登録や認証の際は、第１関節をセンサー中央に合わせ、指を押し当てながら指紋センサーの領域を通過するまで下方向へスライドさせます。登録時と認証時の指の位置の違いによる認証失敗を防ぐためには、端末と同じ方向に指を置いてスライドさせてください。
- 指を曲げたり、指先だけでセンサーに触れたりすると、正常に認識できないことがあります。
- スライドが速すぎたり遅すぎたりすると、正常に認識できないことがあります。できるだけ指紋の渦の中心が指紋センサーの中心を通過するようにスライドさせてください。

- （電源／画面ロックキー）／（ホームキー）を押してからロック画面が表示されるまでの間は、指紋センサーに触れないでください。指紋センサーが機能しなくなることがあります。
- 指紋センサーに指を置いたまま指紋の登録や認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離して操作をやり直してください。
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では本端末を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 指紋センサー利用時の注意事項

- 指紋センサー表面や操作する指先に汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。柔らかい布で汚れを取り除いてご使用ください。また、水分により指先がふやけた場合でも、誤動作の原因となる場合があります。
- ぶつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。また、センサー表面をひっかいたり、ペン先など先の尖ったものでつついたりしないでください。
- 爪やストラップの金具など硬いものを押し付けると、指紋センサー表面に傷が付くことがあります。
- 泥などで指紋センサー表面が汚れたり、表面に傷が付いたりすると、故障および破損の原因となることがあります。
- お買い上げ時に貼り付けられている保護フィルムをはがしてからご使用ください。保護フィルムを貼り付けたまま使用すると、正常に認識できないことがあります。

- 指紋センサー表面にシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- ほこりや皮脂などの汚れなどが付着すると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下することがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
- 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が解消されることがあります。
- 指紋センサーを清掃する際には、静電気の発生しにくい、乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。長期間の使用によりゴミがたまることがありますが、その場合でも先の尖ったもので取り除かないでください。
- 静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に、金属に手を触れるなどして静電気を取り除いてください。冬季など乾燥する時期は、特にご注意ください。

指紋認証機能を設定する

指紋を登録したり、利用する機能や代替パスワードを設定します。指紋登録は最大３件まで登録できます。

- 画面ロックの解除方法については、「画面ロックの解除方法を設定する」（P.326）をご参照ください。

■ 指紋を登録する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「デバイス」タブ →「指紋スキャナー」

2 「指紋管理」

3 免責条項を確認 →「OK」

4 以降、画面の指示に従って指紋を登録

■ 画面ロックの解除方法として設定する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「デバイス」タブ →「指紋スキャナー」

2 「画面ロック」

3 「指紋」

4 画面の指示に従って指紋を認証

■Samsungアカウントへの認証操作での利用を設定する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「デバイス」タブ →「指紋スキャナー」

2「Samsungアカウントを認証」

3 をタップ → 以降、画面の指示に従って設定

■PayPal決済での利用を設定する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「デバイス」タブ →「指紋スキャナー」

2「PayPalで決済」

3 以降、画面の指示に従って設定

■バックアップパスワードを変更する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「デバイス」タブ →「指紋スキャナー」

2「バックアップパスワードを変更」

3 指紋認証画面で、指紋センサーに指をスライド → 以降、画面の指示に従って新しいパスワードを設定

- 「バックアップパスワードを入力」をタップして、現在のバックアップパスワードを入力しても、新しいパスワードを設定できます。

■指紋を解除する

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「デバイス」タブ → 「指紋スキャナー」

2 「指紋管理」

3 指紋認証画面で、指紋センサーに指をスライド → → 「選択」

4 削除する指紋にチェックを付ける → → 「OK」

指紋認証を行う

1 指紋認証画面が表示されたら、指紋センサーに指をスライド

- 正しく認証されない場合は、指を指紋センサーから離し、もう一度認証操作を行ってください。

文字入力

文字を入力するには、文字入力欄をタップして文字入力用のキーボード（Samsung日本語キーパッド）を表示し、キーボードのキーをタップします。

お知らせ

- Google音声入力、ドコモ文字編集を利用すると、音声で文字を入力できます。
- 使用状態によって各キーボードの表示や動作が異なる場合や、利用するアプリや機能専用のキーボードが表示される場合があります。

キーボードの種類（入力方法）を切り替える

1 キーボード表示中に通知パネルを開く

2 「入力方法を選択」
- 「入力方法を選択」画面が表示されます。

3 利用したい入力方法をタップ

Samsung日本語キーパッドで入力する

Samsung日本語キーパッドは、「テンキー」と「QWERTYキーボード」の2種類のキーボードを利用できます。

- テンキー：携帯電話と同じ配列のキーボードです。1つのキーに複数の文字が割り当てられています。目的の文字が入力されるまでキーを数回タップするトグル入力またはキーをフリックして入力するフリック入力ができます。

・QWERTYキーボード：パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードです。日本語をローマ字で入力します。

テンキー

QWERTYキーボード

① 予測変換候補／通常変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。

・「日本語予測変換」（P.87）／「予測変換」（P.87）をOFFに設定している場合や、予測変換候補の表示中に 変換 をタップすると、通常変換候補が表示されます。

・ ∨ をタップすると、予測変換候補／通常変換候補の表示領域を広げます。 ∧ をタップすると、元の表示に戻ります。

② 確定前の文字を、キーをタップしたときと逆順に切り替えます（フリック入力時は切り替わりません）。
- 文字が入力されていない場合は、表示されているキーの操作を実行します。
  ロングタッチすると次のアイコンメニューが表示されます。
  選択したアイコンがキーボードに反映されます。

：音声入力に切り替え
：手書き入力キーボードに切り替え
：クリップボードを表示してテキストなどの貼り付け
：Samsung日本語キーパッドの設定メニューを表示
：画面下部に固定される標準キーボードまたは自由に移動できるフローティングキーボードに切り替え

③ カーソルを左または右に移動します。
- テンキーで同じキーに割り当てられている文字を続けて入力する場合は、 をタップします。
- 「日本語ワイルドカード予測」（P.87）／「ワイルドカード予測」（P.87）をONに設定している場合は、 をタップするとワイルドカード予測（P.81）を利用できます。

④ 英数カナの変換候補が表示されます。再度タップすると予測変換候補／通常変換候補が表示されます。
- 文字が入力されていない場合は、 が表示され、タップすると数字／記号入力モードに切り替わります。ロングタッチすると絵文字／顔文字／記号の一覧を表示します。タブをタップすると一覧表示が切り替わります。ロングタッチで絵文字／顔文字／記号の一覧を表示するとテンキーは非表示となります。 戻る をタップすると、キーパッド表示に戻ります。

⑤ ひらがな漢字／英字入力モードに切り替えます。

⑥ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。

⑦ 通常変換候補を表示します。
- 変換候補が表示されていない場合は、タップするとスペースを入力できます。英字入力モードや数字入力モードの場合は が表示されます。

⑧ 入力した文字を確定します。
- ↵ が表示されている場合は、タップすると改行します。
- 次へ が表示されている場合は、タップすると次の入力欄にカーソルを移動します。
- 完了、🔍、実行 が表示されている場合は、タップすると検索などの操作を行います。

⑨ 濁点や半濁点を付けたり、文字を大文字／小文字に切り替えたりします。
- 英字入力モードの場合は A/a と表示されます。
- 数字入力モードの場合は -/ と表示されます。

⑩ 音声入力に切り替えます。
- ロングタッチすると次のアイコンメニューが表示されます。選択したアイコンがキーボードに反映されます。

：音声入力に切り替え

：手書き入力キーボードに切り替え

：Samsung日本語キーパッドの設定メニューを表示

：画面下部に固定される標準キーボードまたは自由に移動できるフローティングキーボードに切り替え

⑪ 記号入力モードに切り替えます。
- ロングタッチすると絵文字／顔文字／記号の一覧を表示します。タブをタップすると一覧表示が切り替わります。戻る をタップすると、キーパッド表示に戻ります。

⑫ クリップボードを表示します。
- テキストなどの貼り付けを行います。

お知らせ

- ドコモ文字編集には、モバイルネットワークでの接続が必要です。Wi-Fi接続ではご利用になれない場合があります。

キーボードの種類を切り替える

1 キーボード表示中に
- 以外が表示されている場合は、表示されているキーをロングタッチ → をタップします。

2 「テンキー⇔QWERTYキーボード」

3 「テンキー」／「QWERTYキーボード」→「OK」

お知らせ

- 手順3で「カスタム設定」を選択した場合は、画面の向き、入力言語ごとにキーボードの種類を設定できます。

半角／全角を切り替える

1 キーボード表示中に をロングタッチ

2 「半角」／「全角」

ワイルドカード予測を利用する

ワイルドカード予測とは、単語などの読みの文字数を入力して、変換候補を絞り込む機能です。

- 「日本語予測変換」（P.87）と「日本語ワイルドカード予測」（P.87）をONに設定している場合に利用できます。
- 英文／ハングル入力時は、「予測変換」（P.87）と「ワイルドカード予測」（P.87）をONに設定している場合に利用できます。

例：「東京都」を入力する場合

1 キーボード表示中に「と」「う」「き」を入力

2 を3回タップ

- 「とうき○○○」が表示され、予測変換候補に「東京都」が表示されます。

読みの文字数を変更する場合

／ をタップします。

3 「東京都」

文字列を選択／コピー／切り取り／貼り付ける

1 キーボード表示中に入力した文字列をロングタッチ

- ／ や ／ などが表示されます。／ または ／ などをドラッグすると、カーソルを移動できます。

2 利用するアイコンをタップ

アイコン	説明
／	入力したすべての文字を選択します。
／	選択した文字列を切り取ります。
／	選択した文字列をコピーします。
／	コピーした／切り取った文字列を貼り付けます。
	「クリップボード」をタップすると、クリップボードを表示します。

お知らせ

- 画面を横向きにした場合は、表示が異なる場合があります。
- アプリによっては、本機能を利用できない場合や、利用できない機能がある場合があります。また、アイコンの表示が異なる場合や、手順2以外のアイコンが表示される場合があります。
- 文字入力欄で文字が入力されていないエリアをロングタッチするとメニューが表示され、「貼り付け」「クリップボード」を利用できます（アプリによっては利用できない場合があります）。

文字入力／変換機能を設定する

Samsung日本語キーパッドの設定を行う

Samsung日本語キーパッドを利用して文字を入力する際の入力動作の設定や、ユーザー辞書の登録などができます。

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「一般」 タブ → 「言語と文字入力」 → 「Samsung日本語キーパッド」 の

2 設定したい項目をタップ

項目	説明
入力言語	システム言語、日本語、英語、韓国語の組み合わせから選択します。
テンキー⇔QWERTYキーボード	キーボードの種類を切り替えます。

項目	説明
フリック入力	フリック入力のOn／Off、フリックタイプの選択、フリック感度やトグル入力、記号フリック入力を設定します。 「標準フリック」または「8フリック」に設定すると、キーに触れたとき、入力できる文字が表示されたキーポップアップが表示され、入力したい文字が表示された方向にフリックすると文字を入力できます(「8フリック」は入力モードがひらがな漢字の場合に使用できます)。 • 「8フリック」に設定すると、斜め方向へのフリックで入力できる文字を変更できます。

項目		説明
表示／操作補助	キーサイズ	画面の向きごとにキーボードの高さを設定します。
	候補表示行数	候補表示の行数を設定します。
	キー操作音	キーをタップしたとき、タップ音を鳴らすかどうかを設定します。
	キー操作バイブ	キーをタップしたとき、本端末を振動させるかどうかを設定します。
	キーポップアップ	キーをタップしたとき、入力する文字をポップアップ表示させるかどうかを設定します。
	自動カーソル移動	自動カーソル移動の速度を設定します。
	左右キーを表示	QWERTYキーボードで左右キーを表示させるかどうかを設定します。
	カーソル操作	キーボード上で指をスライドさせてカーソルを移動させるかどうかを設定します。
	韓国語キーボードタイプ	韓国語のテンキーのキーボードタイプを設定します。

項目		説明
予測／変換	日本語候補学習	日本語変換で確定した語句を学習辞書に保存させるかどうかを設定します。
	日本語予測変換	日本語文字入力時に変換候補を表示するかどうかを設定します。
	日本語ワイルドカード予測※1	日本語文字入力時にワイルドカード予測（P.81）を利用するかどうかを設定します。
	候補学習	英文／ハングル入力時に変換で確定した語句を学習辞書に保存させるかどうかを設定します。
	予測変換	英文／ハングル入力時に変換候補を表示するかどうかを設定します。
	ワイルドカード予測※2	英文／ハングル入力時にワイルドカード予測（P.81）を利用するかどうかを設定します。
	入力ミス補正※2	入力を間違えたとき、変換候補に修正候補を表示させるかどうかを設定します。
	自動スペース入力	英文／ハングル入力時に候補を選択すると、スペースを自動的に入力するかどうかを設定します。

項目		説明
予測／変換	自動大文字変換	英字を入力したとき、文頭の文字を自動的に大文字にするかどうかを設定します。
	数字予測変換※2	数字キーボードで数字入力時に変換候補を表示するかどうかを設定します。
音声入力／手書き入力	音声入力	音声での文字入力を「ドコモ音声入力」「Google音声入力」「使用しない」から選択します。
	On／Off設定	手書き入力を使用するかどうかを設定します。
	候補タイプ	手書き入力された文字の表示を予測候補（予測変換候補）／認識候補（入力文字候補）から選択します。
	認識時間	手書き入力の候補を表示するまでの時間を「速い」／「普通」／「遅い」から選択します。
	ペンの太さ	手書き入力した文字の太さを設定します。
	ペンの色	手書き入力した文字の色を設定します。
	手書き入力について	手書き入力アプリのバージョンを確認します。

項目		説明
辞書登録	日本語	日本語ユーザー辞書に単語などを登録／編集します。
	韓国語	韓国語ユーザー辞書に単語などを登録／編集します。
	英語	英語ユーザー辞書に単語などを登録／編集します。
外部アプリ連携	マッシュルーム拡張	マッシュルームの拡張を使用するかどうかを設定します。
リセット	学習辞書リセット	学習辞書の内容をすべて削除します。
	設定リセット	設定内容をすべて初期化します。
iWnn IME for Samsung		Samsung 日本語キーパッドのバージョンを確認します。

※1 「日本語予測変換」がOFFの場合は設定できません。
※2 「予測変換」がOFFの場合は設定できません。

ドコモ文字編集の情報

1 ホーム画面で → 「設定」→「一般」タブ →「言語と文字入力」→「ドコモ文字編集」の

2 「アプリ情報」

- ドコモ文字編集の詳細情報を確認できます。

Google音声入力の設定を行う

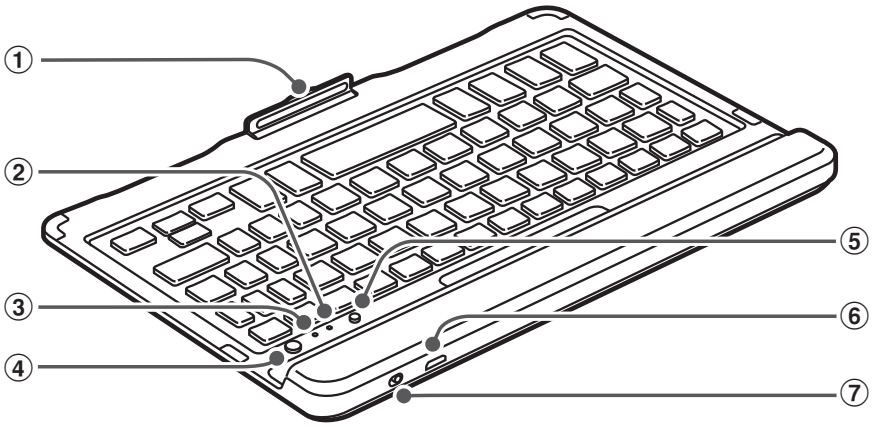
1 ホーム画面で → 「設定」→「一般」タブ →「言語と文字入力」→「Google音声入力」の

2 設定したい項目をタップ

項目	説明
言語	音声で入力する言語を選択します。
音声出力	音声出力を有効にするかどうかを設定します。
「OK Google」の検出	「OK Google」と発生してGoogleアプリから音声検索するかどうかを設定します。
オフラインの音声認識	オフライン時に音声入力を利用できるようにダウンロードします。
不適切な語句をブロック	音声入力で認識した不適切なテキストを表示しないようにするかどうかを設定します。
Bluetoothヘッドセット	Bluetoothヘッドセットで音声を録音するかどうかを設定します。

Bluetooth® キーボード

各部の名称と機能



① **ファスナークリップ**
- 本端末を収納するときに固定します。

② **Caps Lock ランプ**
- Caps Lock キーがオンのときに青色に点灯します。

③ **通知ランプ**
- 点灯／点滅して Bluetooth® キーボードの状態をお知らせします。

動作	説明
赤色で点灯	充電中
緑色で点灯	充電完了
青色で点滅※	接続要求中
赤緑青色の順に点灯	登録待ち状態
青赤色の順に 1 回点滅	電源 OFF 時

※ 接続されると早く点滅した後消灯します。

④ **Bluetooth ボタン**
- 3 秒以上押すと登録待ち状態になります。

⑤ **ロックボタン**
- 本端末を収納すると押されます。3秒以上押されると、接続している本端末の画面がオフになるか、またはロック状態になります。また、Bluetooth接続が無効となります。ロックボタンが押されなくなるとBluetooth接続が自動的に回復します。

⑥ **外部接続端子**

⑦ **電源スイッチ**

お知らせ

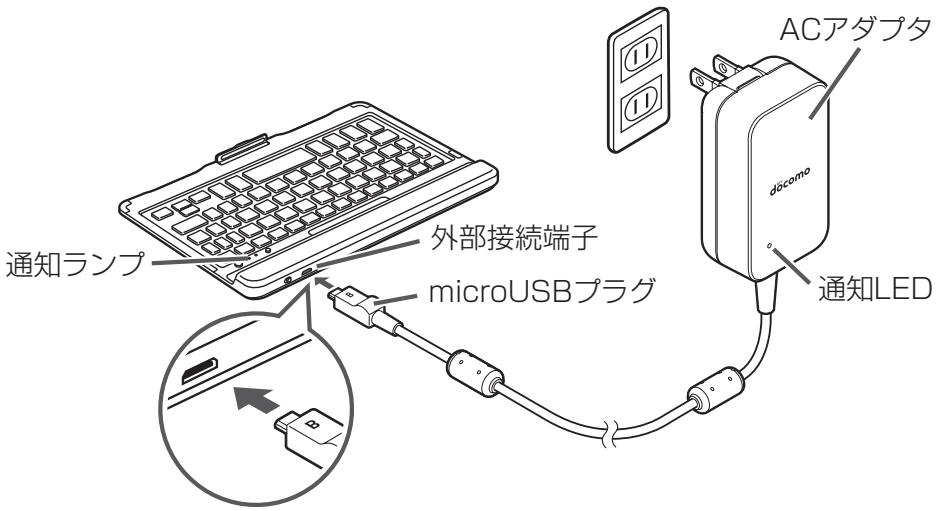
- Bluetooth®キーボードの電池残量を確認するには、電源を入れた状態でCtrlキーを3秒以上押してください。通知ランプが3回点滅します。通知ランプの色で、Bluetooth®キーボードの電池残量が示されます。
  - 緑色：電池残量60%以上
  - 黄色：電池残量30%以上60%未満
  - 赤色：電池残量30%未満

充電する

- 充電にあたっては「充電」（P.53）の記載事項をご覧ください。
- Bluetooth®キーボードから本端末の充電はできません。

■ ACアダプタを使って充電する

ACアダプタ 05（別売）を使って充電する方法を説明します。



1 Bluetooth® キーボードの外部接続端子に、ACアダプタのmicroUSBプラグをBの刻印面を上にして水平に差し込む

2 ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む

- Bluetooth® キーボードの通知ランプが赤色に点灯し、ACアダプタの通知LEDが緑色に点灯します。
- 充電が完了すると、通知ランプが緑色に点灯します。

3 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

4 Bluetooth® キーボードからACアダプタのmicroUSBプラグを水平に引き抜く

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

1 電源スイッチをON側にスライドする

■ 電源を切る

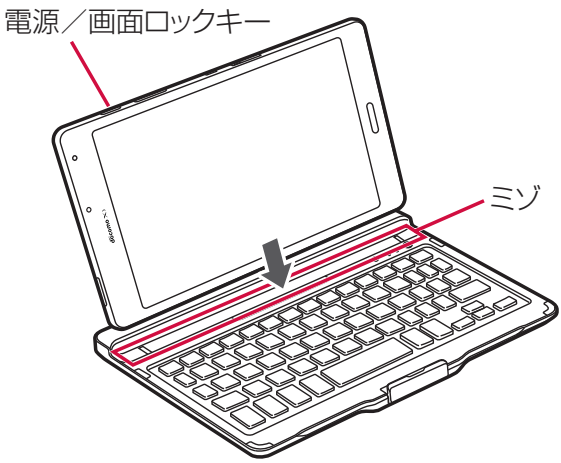
1 電源スイッチをOFF側にスライドする

本端末を使用する

■ 本端末を取り付ける

1 **本端末の電源／画面ロックキーを上にして、Bluetooth® キーボードのミゾに合わせて矢印の方向に取り付ける**

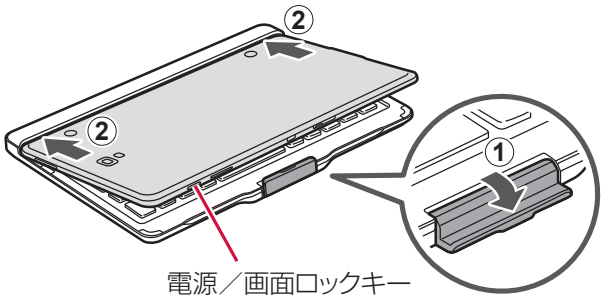
- 正しく取り付けられていないと転倒する恐れがあります。



■ 本端末を取り外す

1 **本端末をBluetooth® キーボードから持ち上げる**

■ 本端末を収納する



1 ファスナークリップを①の方向に止まるまで開く

2 本端末のタッチスクリーンを下に向けて②の方向に取り付ける

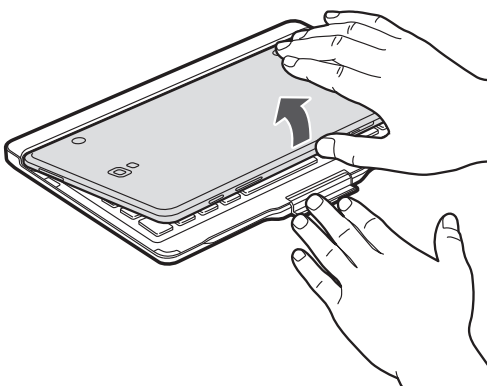
- 本端末の電源／画面ロックキーを手前にして取り付けてください。

3 ファスナークリップを閉じる

■ 収納した本端末を開く

1 ファスナークリップを止まるまで開く

2 ファスナークリップを軽く押さえながら、本端末の手前側を持って矢印の方向に持ち上げる



本端末とペアリングする

Bluetooth®キーボードをご利用いただくために、本端末とペアリング（接続設定）を行って本端末に登録し、接続します。

1 Bluetooth®キーボードの電源を入れる

- 通知ランプが赤緑青色の順に点灯します。
- 通知ランプが青色で点滅している場合は、Bluetooth®キーボードのBluetoothボタンを3秒以上押してください。

2 本端末のホーム画面で → 「設定」→「接続」タブ →「Bluetooth」

3 をタップ

- 検出されたBluetoothデバイスが一覧表示されます。
- 表示されない場合は、「スキャン」をタップして再度検索します。

4 検出結果から、Bluetooth®キーボードを選択する

- 接続可能デバイスに「Samsung Bluetooth Keyboard EJ-CT700」と表示されます。

5 本端末の画面に表示される6桁の数字（パスコード）をBluetooth®キーボードから入力してEnterキーを押す

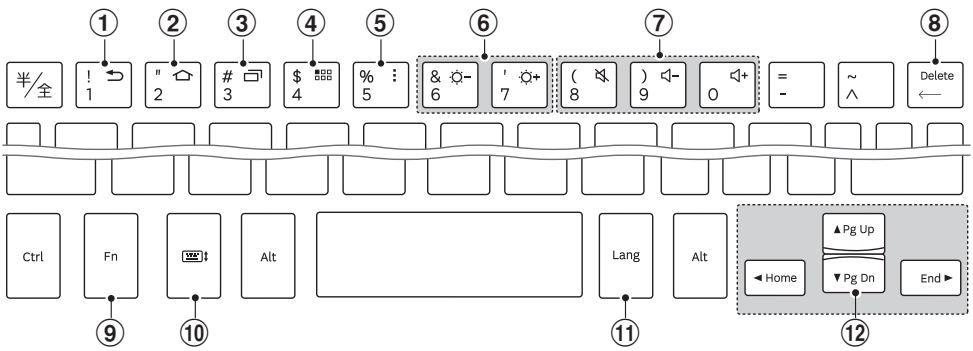
- ペアリングが完了すると、ペアリング済みデバイスにBluetooth®キーボード名が表示されます。

お知らせ

- 一度ペアリングを行うと、次回の接続時にはパスコードの入力は不要になります。
- Bluetooth® キーボードと接続している間は、本端末のキーボードは表示されません。

Bluetooth® キーボードを使用する

- 表示言語を変更する場合は、本端末のホーム画面で → 「設定」→「一般」タブ →「言語と文字入力」→「言語」→ 表示する言語を選択してください。
- Bluetooth® キーボードは本端末専用ですが、Android 4.4 OS以降を搭載するSamsung製モバイルデバイスと互換性があります。デバイスソフトウェアのアップグレードの詳細については、それぞれのデバイスのユーザーマニュアルを参照してください。本端末以外では一部のキー機能が正しく機能しないことがあります。



①
- Fn + : 前の画面に戻ります。

②
- Fn + : ホーム画面に戻ります。
- Fn + + : Sボイスを起動します。

③
- Fn + : 最近使用したアプリの一覧を開きます。

④
- Fn + : アプリ画面を開きます。

⑤ ⋮

- Fn + ⋮：現在の画面で使用できるオプションのリストを開きます。

⑥ 🔅- / 🔅+

- Fn + 🔅- / 🔅+：明るさを調節します。

⑦ 🔇 / 🔉- / 🔉+

- Fn + 🔇 / 🔉- / 🔉+：音量を調節します。

⑧ Delete

- Fn + Delete：カーソルの後ろにある文字を削除します。

⑨ Fn

- 他のキーと一緒に押すことにより追加機能を実行します。

⑩ ⌨↕

- ステータスバーにキーボードアイコンを表示／非表示します。キーボードアイコンを表示すると、通知パネルから入力方法を選択できます。

⑪ Lang

- 入力言語を変更します。

⑫ ▲ / ▼ / ◀ / ▶

- ページまたはカーソルを移動します。

  Fn + ▲：ページアップ
  Fn + ▼：ページダウン
  Fn + ◀：カーソルを始点に移動
  Fn + ▶：カーソルを終点に移動

初期設定

お買い上げ後、初めて本端末の電源を入れた場合は、画面の指示に従って、使用する言語やGoogle／Samsungアカウントなどの設定、およびドコモサービスの初期設定を行います。
ネットワークとの接続や設定の省略などによっては手順が異なる場合があります。

1 「スタート」
- 言語を変更する場合は、「日本語」→ 使用する言語をタップします。
- ユーザー補助設定を変更する場合は、「ユーザー補助」→ ユーザー補助を設定します。

2 Wi-Fiを設定 →「次へ」

3 ライセンス契約などの内容を確認し、チェックを付ける →「次へ」

4 「はい」／「いいえ」→ Googleアカウントを設定
- すでにGoogleアカウントを持っている場合は「はい」を、Googleアカウントを持っていない場合は「いいえ」をタップします。

5 Googleアカウントを使用して、バックアップや復元、位置情報についての設定、Google Playからの最新情報の受信について利用するかどうかを設定 → ▶

- アカウントを完了画面で、利用規約やプライバシーポリシーを確認してください。「同意する」→表示されているテキストを入力するとアカウントが作成されます。
- Googleアカウントを設定しない場合は、位置情報の利用許可についての設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

6 Google+へアップグレードするかどうかを設定

- 「今は設定しない」をタップすると、後でGoogle+のセットアップをすることができます。

7 お支払い情報を設定

- お支払い方法を選択し、画面の指示に従って操作してください。
- 「スキップ」をタップすると、後でお支払い方法を設定することができます。

8 携帯端末の所有者の入力画面で姓と名を入力 → ▶

9 Samsungアカウントを設定

- 「スキップ」をタップすると、後でアカウントをセットアップすることができます。

10 ホーム切替画面で「docomo LIVE UX」→「次へ」

- 「TouchWiz標準ホーム」を選択すると、Samsungが提供するホームを利用できます。

11 「完了」

- 続けてドコモサービスの初期設定を行います。

12 注意事項や利用規約などの内容を確認し、チェックを付ける →「設定をはじめる」

- docomo ID設定の画面が表示されます。

13 docomo IDを設定するかどうかを選択 →「進む」

- 「IDをこの端末に設定する」を選択した場合は、「進む」をタップした後、画面の指示に従って操作してください。

14 ドコモクラウドを有効にするかどうかを選択 →「進む」

- 「クラウドを有効にする」を選択した場合は、「進む」をタップした後、画面の指示に従って操作してください。

15 ドコモアプリパスワードを設定するかどうかを選択 →「進む」

- 「パスワードを設定する」／「今は設定しない」のいずれかを選択して、「進む」をタップした後、画面の指示に従って操作してください。

16 ドコモのサービスで位置情報を提供するかどうかを選択 →「進む」

- 「電話帳登録先にのみ提供」にチェックを付けると電話帳に登録していない相手には居場所は送信されません。

17 遠隔初期化を設定するかどうかを選択 →「進む」

- 手順15でドコモアプリパスワードを設定していない場合は表示されません。手順18へ進んでください。

18 アプリを一括インストールするかどうかを選択 →「進む」

- 「今すぐインストールする」を選択すると、すでにご契約されているサービスのアプリのインストールを行います。今すぐインストールしない場合は、「後で自動インストールする」を選択します。

19「使いはじめる」

画面表示とアイコン

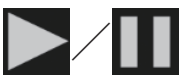
ディスプレイ上部のステータスバーには、本端末の状態や通知情報などを示すアイコンが表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側にステータスアイコンが表示されます。

ステータスバー

主な通知アイコン

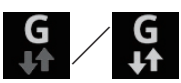
- 通知アイコンには、複数件の通知があったことを示す、アイコンが重なったデザインで表示されるものもあります。

通知アイコン	
	新着Gmailあり
	新着Eメールあり
	新着SMSあり
	SMSの送達通知あり
	SMSの配信に問題あり
	新着エリアメールあり
	新着ハングアウトメッセージあり
	データダウンロード中／完了
	データアップロード中／完了

通知アイコン	
	アラームあり
	スケジュールなどのアラームあり
	充電完了
	バックグラウンドで音楽再生中／一時停止中
	microSDカードのスキャン中
	microSDカードのマウント解除中
	USB接続中
	エラーメッセージあり
	GPS機能現在地測位中（点滅）
	USBテザリング機能ON
	Wi-Fiテザリング機能ON
	Bluetoothテザリング機能ON
	テザリング機能を２つ以上同時にON
	ドコモminiUIMカード未挿入状態
	GALAXY Appsのアプリがインストール完了／インストール済みアプリのアップデートあり
	ステレオヘッドセット接続中

通知アイコン	
	ソフトウェア更新の設定／確認中
	dマーケットに更新可能なアプリあり
	Google Playに更新可能なアプリあり
	Google Playのアプリのインストール完了
	非表示の通知情報あり
	VPN接続中
	画面キャプチャで保存した画像あり
	使用可能なWi-Fiオープンネットワークあり
	キーボード表示中
	本端末のメモリの空き容量低下
	フルセグ／ワンセグ視聴中／録画中
	おまかせロック設定中
	docomo ID設定の認証失敗
	ドコモバックアップアプリの通知あり
	ドコモアプリの位置情報機能ON

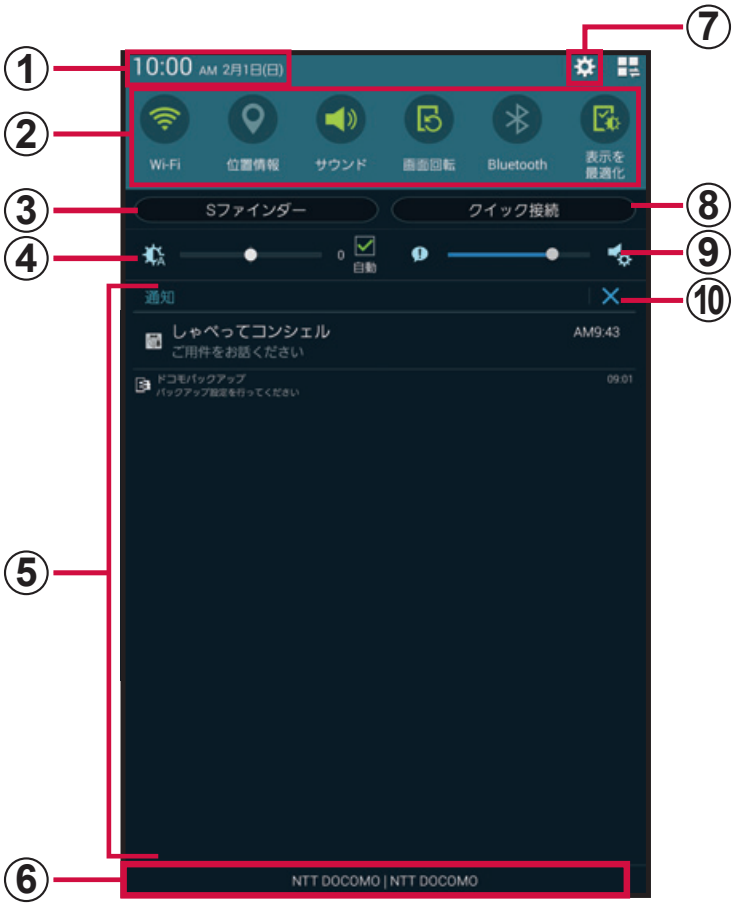
主なステータスアイコン

ステータスアイコン	
 （弱⇔強）	電波状態
 （弱⇔強）	電波状態（国際ローミング中）
	圏外
	機内モード設定中
	LTEネットワーク使用可能／通信中 （待機中は矢印が濃いグレー、受送信中は矢印が薄いグレー）
	3Gネットワーク使用可能／通信中 （待機中は矢印が濃いグレー、受送信中は矢印が薄いグレー）
	FOMAハイスピード／HSDPAネットワーク使用可能／通信中 （待機中は矢印が濃いグレー、受送信中は矢印が薄いグレー）
	GPRSネットワーク使用可能／通信中 （待機中は矢印が濃いグレー、受送信中は矢印が薄いグレー）
	Wi-Fiネットワーク使用可能／通信中 （待機中は矢印が濃いグレー、受送信中は矢印が薄いグレー）

ステータスアイコン	
	Bluetooth機能ON
	Bluetoothデバイスと接続中
	マナーモード（バイブ）設定中
	マナーモード（サイレント）設定中
	アラーム設定中
 （低⇔高）	電池レベル
	充電中
	充電中（低電圧）
	Wi-Fi Direct接続中
	ハイブリッドダウンロード機能ON
	スマートステイ機能ON
	通信制限モード設定中

通知パネルについて

ステータスバーを下方向にスクロールすると通知パネルが表示され、通知情報などを確認したり、アイコンをタップして機能を設定したりすることができます。



通知パネルの表示内容（表示例）

① タップすると日付と時刻の設定画面（P.337）が表示されます。

② 各種機能のON／OFFを切り替えます（クイック設定ボタン）。左右にスクロールしたり、右上の をタップしたりすると、表示されていないアイコンを表示できます。ロングタッチすると、各機能の設定メニュー画面が表示されます。

- Wi-Fi：→ P.294
- 位置情報：→ P.269

- サウンド：→ P.323
- 画面回転：→ P.68
- Bluetooth：→ P.376
- 表示を最適化：写真や映像などに応じて画面表示を最適化します。
- モバイルデータ：データ通信のON／OFFを切り替えます。OFFにすると、モバイルネットワークによるデータ通信ができなくなります。
- ハイブリッドダウンロード：→ P.307
- ウルトラ省電力モード：→ P.348
- マルチウィンドウ：→ P.116
- 機内モード：→ P.306
- ツールボックス：→ P.319
- Wi-Fiテザリング：→ P.301
- Screen Mirroring：→ P.291
- 同期：→ P.344
- 読書モード：→ P.315
- スマートステイ：→ P.314
- スマートポーズ：→ P.65
- 省電力モード：→ P.348
- ブロックモード：→ P.334
- 通信制限モード：→ P.306
- プライベートモード：→ P.321
- 高感度タッチ操作：→ P.316

③ Sファインダーが表示されます（P.137）。

④ ディスプレイの明るさを調整します（P.324）。

⑤ 進行中情報や通知情報が表示されます。

⑥ 接続中のネットワークの通信事業者名とドコモminiUIMカードから読み取った事業者名が表示されます。上方向にスクロールすると通知パネルを閉じます。

⑦ タップすると、設定メニューが表示されます（P.289）。

⑧ クイック接続画面が表示されます。※1

⑨ 音量を調整します（P.323）。

⑩ タップすると通知情報とステータスバーの通知アイコンの表示を消去できます。
- 通知情報の種類によっては、消去できない場合もあります。

※1 他のクイック接続対応機器と接続してデータを共有したり、「SmartRemote」アプリ（P.122）と連携してテレビのリモコンとして使用したりすることができます。クイック接続の詳細については、⋮ →「ヘルプ」をタップしてヘルプをご覧ください。

お知らせ

- クイック設定ボタンは、ONに設定されている場合は緑色で表示されます。

通知パネルを編集する

クイック設定ボタンを並べ替えたり、ディスプレイの明るさを調整する項目を表示／非表示したりします。

1 通知パネルの ⊞ → ✎

2 クイック設定ボタンをロングタッチ → 移動したい位置までドラッグして離す
- クイック設定ボタンのレイアウトをリセットするには、「使用しているボタン」の右側に表示される ↻ をタップ →「リセット」をタップします。

ホーム画面

（ホームキー）を押して表示される画面（ホーム画面）には「docomo LIVE UX」「TouchWiz標準ホーム」の２種類の画面があります。

- 「docomo LIVE UX」については、P.140をご覧ください。

TouchWiz標準ホーム

ホーム画面の表示内容（表示例）
「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

① **ウィジェット（例：天気予報、Google検索）**
- ウィジェット（ホーム画面に配置するアプリ）の起動や操作を行います。

② **マチキャラ（例：ひつじのしつじくん）**
- メール受信や通知などの情報をお知らせします。

③ **ホーム画面の現在の位置**
- ホーム画面を左右にスクロール／フリックして切り替えられます。

④ **マイファイルボタン**
- タップするとマイファイルが起動します。

⑤ **ショートカット、ウィジェットの配置領域**
- アプリのショートカット、ウィジェット、ショートカットをまとめたフォルダを配置できます。

⑥ **アプリボタン**
- アプリ画面を表示します。

お知らせ

- ホーム画面で画面を右にフリックすると、「Flipboard」が起動します。

マルチウィンドウで表示する

2つの画面を表示したり、ポップアップで異なるアプリを同時に使用することができます。

[⮌] をロングタッチすると、マルチウィンドウトレイが開きます。

※ 一部のアプリケーションでは、本機能を利用できない場合があります。

- あらかじめ、「マルチウィンドウ」（P.319）をONにする必要があります。

マルチウィンドウ

① **分割バー**
- 中央のハンドル（◯）をドラッグして表示領域を調整します。

② **ウィンドウ選択ボタン**※
- 表示するウィンドウを選択します。

③ **ウィンドウ切り替えボタン**※
- 2つの画面の上下（横画面の場合は左右）を切り替えます。

④ **コンテンツを移動ボタン**※
- ウィンドウ間をまたがってテキストや画像をドラッグ＆ドロップしてペーストできます（対応しているアプリのみ）。

⑤ **ウィンドウ最大化ボタン**※
- 選択中のウィンドウに表示されているアプリを全画面表示し、マルチウィンドウを終了します。

⑥ **閉じるボタン**※
- 選択されているウィンドウを閉じます。

⑦ **マルチウィンドウトレイ**
- アプリをマルチウィンドウトレイから表示したい位置へドラッグします。アイコンの左横に が表示されるアプリは２つの画面の両方で同時に使用できます。
- マルチウィンドウトレイのアプリをタップすると、アプリがポップアップ表示されます。

※ 分割バーの中央のハンドルをタップすると表示されます。

お知らせ

- Ｅメールの添付ファイルや、マイファイルなどから画像を開くと自動的にマルチウィンドウで画像などが表示されるよう設定できます。→ P.319
- ２つのアプリケーションを表示している状態で、マルチウィンドウトレイから［ ］→［作成］をタップすると、グループとして登録できます。
- 登録したグループは［ ］→［編集］→ グループを選択 →［OK］をタップすると削除できます。

ショートカットやウィジェットを追加する

1 ホーム画面でショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチ

- アプリのショートカットを追加する場合は、ホーム画面で ⋮⋮⋮ をタップし、手順3へ進みます。

2 「ウィジェット」

3 ホーム画面に追加したい項目をロングタッチ → 追加したい位置までドラッグして離す

フォルダを追加する

1 ホーム画面でフォルダにしたいアイコンをロングタッチ →「フォルダ作成」までドラッグして指を離す

2 フォルダ名を入力 →「完了」

壁紙の変更

1 ホーム画面でショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチ →「壁紙」

2 「ホーム画面」／「ロック画面」／「ホーム画面とロック画面」

3 壁紙を選択 →「壁紙を設定」／「壁紙に設定」

- 壁紙以外の画像を選択する場合は、「他の画像」をタップし、画像を選択します。

お知らせ

- ショートカット、ウィジェット、フォルダなどを削除するには、ショートカットやウィジェット、フォルダをロングタッチ → そのまま画面上部の「削除」までドラッグして離します。
- ネットワークに接続するウィジェットの場合、パケット通信料が発生する場合があります。

アプリ画面

ホーム画面が「TouchWiz標準ホーム」のアプリ画面について説明します。

1 ホーム画面で

- アプリ画面が表示されます。

アプリ画面の表示内容（表示例）
「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

① **アプリ**

② **アプリ画面の現在の位置**
- アプリ画面を左右にスクロール／フリックして切り替えられます。

③ **メニュー**
- アプリ画面を編集したり、フォルダを作成したりできます。

④ **マチキャラ（例：ひつじのしつじくん）**
- メール受信や通知などの情報をお知らせします。

アプリ一覧

一部のアプリの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがあります。

アイコン	アプリ	説明
	連絡先	連絡先の管理や設定ができます。
	マイファイル	画像や動画、オーディオなどのデータを表示・管理できます。 → P.366
	ブラウザ	ウェブブラウザアプリです。 → P.187
	Sプランナー	スケジュールを管理できます。 → P.277
	SMS	SMSの送受信ができます。 → P.157
	Eメール	Eメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。 → P.168
	ミュージック	音楽を再生できます。 → P.263
	ビデオ	動画を再生できます。 → P.257
	電卓	計算ができます。→ P.278
	カメラ	静止画や動画を撮影できます。 → P.229

アイコン	アプリ	説明
	ギャラリー	静止画や動画を閲覧・整理できます。→ P.245
	設定	本端末の各種設定ができます。→ P.289
	時計	アラーム、世界時計を利用できます。→ P.274
	Sボイス	音声で本端末の操作ができます。→ P.286
	GALAXY Apps	アプリのダウンロードや、インストールしたアプリのアップデートができます。→ P.207
	SideSync 3.0	本端末にスマートフォンの仮想画面を表示し、実際のスマートフォンと同様に操作できます。→ P.287
	Remote PC	Wi-Fiやローカルエリアネットワークで本端末とパソコンを接続して、本端末上でパソコン画面を見たり操作したりすることができます。また、本端末とパソコンとの間で簡単にファイルを見たり、転送したりすることができます。
	Smart Remote	本端末でテレビなどの機器を操作できます。
	WebEx	ビデオ会議や共有コンテンツの表示などができます。

アイコン	アプリ	説明
	テレビ	フルセグ／ワンセグの視聴などができます。→ P.210
	辞書	辞書を利用して単語などを調べることができます。→ P.285
	取扱説明書	本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。
	Google	クイック検索ボックスで各種情報を検索できます。
	音声検索	音声で検索できます。
	Gmail	Googleアカウントを設定して、メールの送受信ができます。→ P.182
	Google+	GoogleのSNSが利用できます。
	Playムービー＆TV	Google Playから映画を購入できます。
	Playブックス	Google Playから書籍を購入できます。
	Play ゲーム	Google Playからゲームを購入できます。
	ハングアウト	Googleハングアウトでチャットができます。
	Chrome	Googleのウェブブラウザアプリです。

アイコン	アプリ	説明
	写真	写真や動画を閲覧できます。Googleフォトに同期してバックアップしたり、他人と共有したりすることもできます。
	マップ	Googleマップで現在地の確認や目的地の検索などができます。→ P.272
	YouTube	動画の再生・投稿ができます。→ P.285
	Playストア	Google Play からアプリをダウンロードできます。→ P.205
	ドライブ	画像や動画などをGoogleドライブに保存したり、共有したりすることができます。
	Google設定	Googleアプリに関する設定ができます。
	Dropbox	写真や動画、ドキュメントをクラウドにアップロードして管理・閲覧できます。
	Evernote	クラウドにアップロードした写真やドキュメントなどを同期して管理・閲覧できます。
	Flipboard	ブログやニュースを表示します。
	Hancom Office Viewer	スプレッドシートやプレゼンテーション用など各種フォーマットの資料を閲覧できます。

アイコン	アプリ	説明
	dメニュー	「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューでは、iモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探すことができます。→ P.204
	dマーケット	音楽、書籍などさまざまな商品を取り扱っており、お客様のニーズに合った商品を購入することができます。→ P.205
	ドコモ電話帳	ドコモが提供する電話帳アプリを利用して、連絡先の管理を行います。
	ドコモメール	ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができるアプリです。送受信したメールはクラウドに保存されるので、複数のデバイスで同じメールを閲覧したり、機種変更時のメールデータ移行が簡単に行えます。また、絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。→ P.156

アイコン	アプリ	説明
	ｉコンシェル	ｉコンシェルを利用するためのアプリです。ｉコンシェルは、ケータイがまるで「執事」や「コンシェルジュ」のように、あなたの生活をサポートしてくれるサービスです。
	しゃべってコンシェル	やりたいこと、知りたいことなどを端末に話しかけると、その言葉を読み取り、最適な回答を表示するアプリです。
	はなして翻訳	お互いの言葉を相手の言語に翻訳するアプリです。言語の異なる相手とのコミュニケーションを楽しむことができます。
	スケジュール	スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています。ｉコンシェルに対応しています。
	メモ	メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています。ｉコンシェルに対応しています。
	ICタグ・バーコードリーダー	ICタグやバーコードに書き込まれた情報を読み取ることができるアプリです。

アイコン	アプリ	説明
	マイマガジン	マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。→ P.154
	トルカ	お気に入りのお店のお得なクーポン・便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。→ P.208
	フォトコレクション	写真や動画を無料で5GBまでクラウドにバックアップし、スマートフォン、タブレット、パソコンなどからアクセスできるサービスです。
	データ保管BOX	データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOX は、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。
	ドコモバックアップ	「データ保管BOX」もしくは「microSDカード」への保存・復元を行うためのアプリです。 • データ保管BOXへ保存・復元 → P.283 • microSDカードへ保存・復元 → P.279

アイコン	アプリ	説明
	災害用キット	災害用伝言板と災害用音声お届けサービス、緊急速報「エリアメール」をご利用いただくためのアプリです。→ P.184
	メディアプレイヤー	音楽や動画を再生することができるアプリです。→ P.254
	遠隔サポート	「あんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「あんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの端末の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。→ P.413
	あんしんスキャン	ウイルス検知、個人データを利用するアプリの確認支援、危険サイトアクセス時の注意喚起などにより、スマートフォンを安心してご利用いただくためのアプリです。
	Twitter	Twitterの公式クライアントアプリです。サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。

お知らせ

- このアプリ一覧は、お買い上げ時にプリインストールされているものです。プリインストールされているアプリには一部アンインストールできるアプリがあります。一度アンインストールしても「Playストア」（P.205）などで再度ダウンロードできる場合があります。
- 通知情報があるアプリのアイコンに、数字（通知情報の件数）が表示される場合があります。

ショートカットのホーム画面への追加

1 アプリ画面で、ホーム画面に追加したいアプリをロングタッチ

2 追加したい位置までドラッグして離す

アプリのアンインストール／無効化

1 アプリ画面で ⋮ →「アプリのアンインストール／無効化」

2 アンインストール／無効にしたいアプリをタップ
- アンインストール／無効にできるアプリには、アイコンの右上に ⊖ が表示されます。

3 「OK」／「アプリを無効にする」

お知らせ

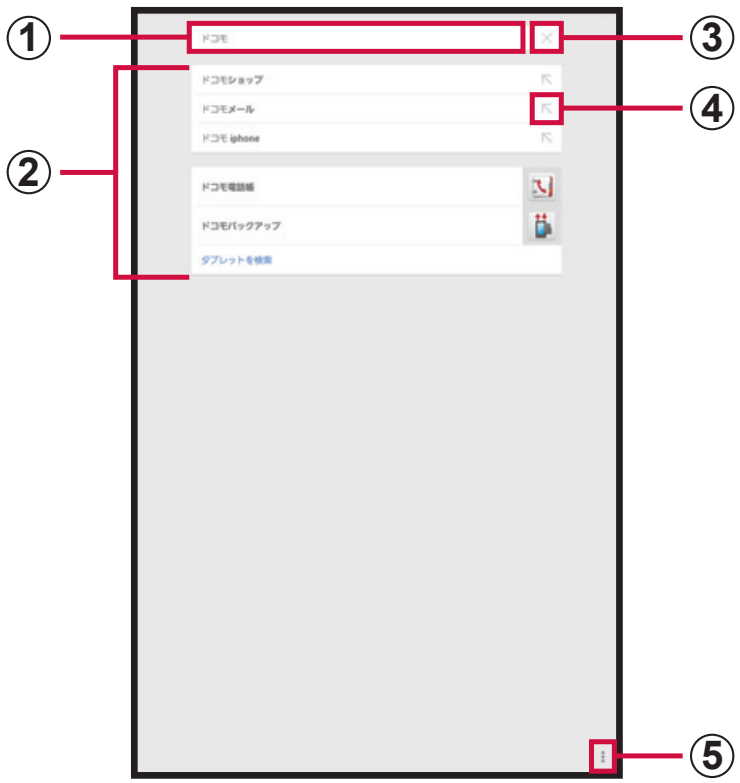
- 無効にしたアプリを有効にしたい場合は、アプリ画面で ⋮ →「無効なアプリを表示」→ 有効にしたいアプリにチェックを付ける →「完了」をタップします。

クイック検索ボックスを使用する

入力した文字が含まれる情報を本端末内やインターネットから検索できます。

1 ホーム画面でGoogle検索ウィジェットをタップ

- クイック検索ボックスが表示されます。
- 「Google Nowを使ってみる」画面が表示された場合は、画面の指示に従ってGoogle Nowを利用するかどうかを設定します（P.136）。



クイック検索ボックス

① 入力した文字が表示されます。

② 入力中の文字を含む本端末内の情報や検索候補が表示されます。

③ 文字入力前に をタップすると、音声で検索したい語句を入力できます（ウェブ検索のみ）。
文字を入力すると × が表示されます。タップすると、入力した文字をすべて消去できます。

④ タップすると、タップした検索候補が①に入力されます。

⑤ Google検索のメニューが表示されます。

お知らせ

- （ホームキー）を1秒以上押したり、ホーム画面で →「Google」をタップしても起動できます。

Googleのメニュー

Google画面で をタップすると以下の項目が表示されます。
Google NowのON／OFFによって表示される項目は異なります。

項目			説明
設定	Google Now		→ P.136
	タブレット内検索		端末内で検索する情報の対象を選択します。
	音声	言語	音声で入力する言語を選択します。
		音声出力	音声出力を利用するタイミングを設定します。
		「OK Google」の検出	「OK Google」と発声すると、Googleアプリから音声検索をできます。

項目			説明
設定	音声	オフラインの音声認識	オフライン時に音声入力を利用できるようにダウンロードした言語を管理します。
		不適切な語句をブロック	音声入力で認識した不適切なテキストを表示しないようにするかどうかを設定します。
		音声履歴※1	音声履歴を保存するかどうかを設定します。
		音声履歴の管理※1	音声履歴を管理します。
		Bluetoothヘッドセット	Bluetoothヘッドセットを利用して音声を使用できるようにするかどうかを設定します。
	アカウントとプライバシー	Googleアカウント	Google検索などで使用するアカウントを設定します。
		通勤経路の共有※2	Google Nowで気になるユーザーと通勤情報を共有できます。
		Googleの位置情報設定	位置情報へのアクセスを許可するかどうかを設定します。

項目			説明
設定	アカウントとプライバシー	ウェブ履歴※1	ウェブ検索履歴などを保存するかどうかを設定します。
		ウェブ履歴の管理※1	ウェブ検索履歴などを管理します。
		アプリ履歴の管理	アプリの使用履歴をGoogleに提供するかどうかを設定します。また、アプリの使用履歴を消去します。 アプリによっては使用履歴を提供しないものがあります。
		google.comで検索	ローカルドメイン（www.google.co.jp）を使用して検索するかどうかを設定します。
		セーフサーチフィルタ	画像やテキストのアダルトフィルタを設定します。
		連絡先の認識	Googleに連絡先の使用と保存を許可するかどうかを設定します。
		検索エンジンの容量	検索エンジンのストレージ使用量を管理します。

項目			説明
設定	アカウントとプライバシー	法的事項	利用規約、プライバシーポリシー、法的通知、オープンソースライセンスを表示します。
	通知※2		Google Nowカードに更新情報がある場合に通知するかどうかを設定します。
ヘルプとフィードバック			ヘルプが表示されます。フィードバックを送信するには、ヘルプ画面の下部に表示される「フィードバックを送信」をタップします。

※1　Googleアカウントを設定している場合に表示されます。
※2　Google Nowを設定している場合に表示されます。

Google Nowを設定する

Google Nowを利用するかどうかを設定します。選択したカードの情報をクイック検索画面に表示したり、通知を音やバイブレーションでお知らせすることもできます。

- Google Nowを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です（P.344）。

1 ホーム画面で、Google検索ウィジェットをタップ

- 「Google Nowを使ってみる」画面が表示されます。
- ⋮ →「設定」→「Google Now」の「OFF」をタップして「ON」にしても、「Google Nowを使ってみる」画面が表示されます。

2 「次へ」→「使ってみる」

- 各カードをタップすると詳細情報を確認できます。
- カードを左右にスワイプすると消去できます。

お知らせ

- Google Nowの詳細については、⋮ →「ヘルプとフィードバック」をタップしてご覧ください。

Sファインダーで検索する

Sファインダーを利用して端末内検索／Web検索を行うことができます。

1 ステータスバーを下方向にスクロール →「Sファインダー」

- Sファインダーが起動します。

2 検索したいキーワードを入力 →

- カテゴリ別に検索結果が表示されます。
- Web検索を行うには、「Web検索」カテゴリから使用する検索サービスのアイコンをタップします。
- Sファインダーの詳細については、Sファインダー画面で →「ヘルプ」をタップしてご覧ください。

最近使用したアプリの一覧

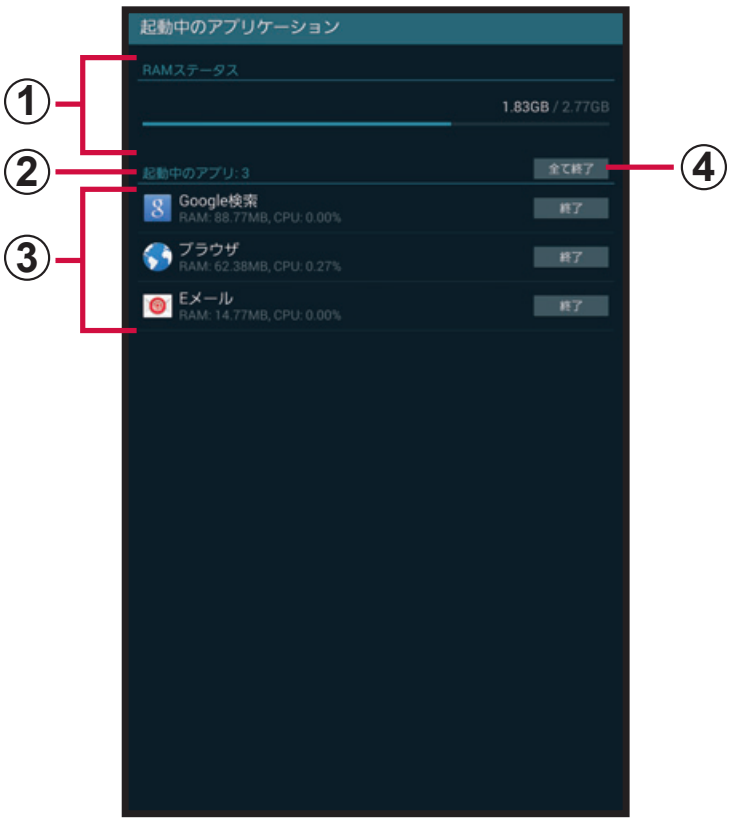
1 をタップ

- 画面下部に最近使用したアプリの一覧が表示されます。
- アプリのサムネイルをタップすると、アプリを起動できます。
- をタップすると、タスクマネージャー（P.138）を起動できます。
- をタップすると、一覧をすべて削除できます。
- サムネイルを上下にスクロール／フリックすると、一覧から削除できます。

タスクマネージャー

起動中のアプリを確認／終了します。

1 →



タスクマネージャー画面

① **RAMステータス**
RAMの使用状況を確認します。

② **起動中のアプリの件数**

③ **起動中のアプリ一覧**
「終了」→「OK」をタップすると、アプリを終了します。

④ **全て終了**
「全て終了」→「OK」をタップすると、起動中のアプリをすべて終了します。

お知らせ

- 複数のアプリが起動されていると、電池の消費量が増えて使用時間が短くなることがあります。このため使用しないアプリは終了することをおすすめします。

ホームアプリの切り替えかた

（ホームキー）を押して表示されるホーム画面を変更します。

1 ホーム画面で → 「設定」
- 「TouchWiz標準ホーム」に設定している場合は、ホーム画面で → 「設定」をタップします。

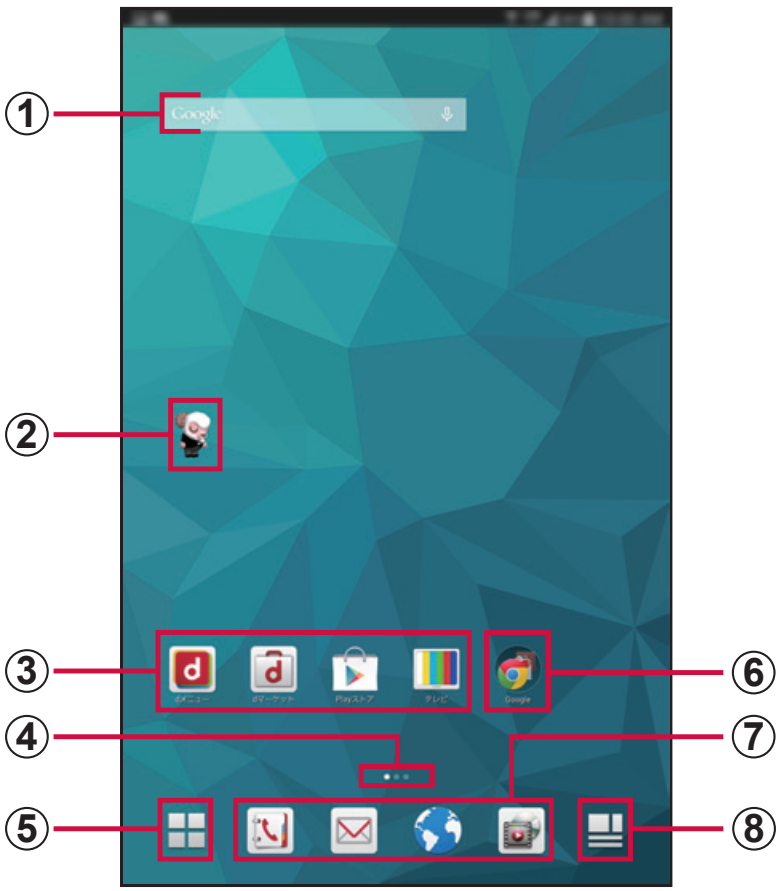
2 「デバイス」タブ → 「ホーム切替」

3 「docomo LIVE UX」／「TouchWiz標準ホーム」

4 「OK」

docomo LIVE UX

ホーム画面の見かた



ホーム画面の表示内容（表示例）
「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

① **ウィジェット（例：Google検索）**
- ウィジェットの起動や操作を行います。

② **マチキャラ（例：ひつじのしつじくん）**
- メール受信などの情報をお知らせします。

③ **アプリ**
- アプリを起動できます。

④ **ホーム画面の現在の位置**
- ホーム画面を左右にスクロール／フリックして切り替えられます。

⑤ **アプリボタン**
- アプリ画面が表示されます。→P.149
- ホーム画面を切り替えても常に表示されます。
- ホーム画面を下にスクロール／フリックしてもアプリ画面が表示されます。

⑥ **フォルダ**
- 複数のアプリをフォルダにまとめることができます。

⑦ **アプリ**
- ホーム画面を切り替えても常に表示されます。
- ショートカットやフォルダも配置できます。

⑧ **マイマガジンボタン**
- マイマガジンが表示されます。→ P.154
- ホーム画面を切り替えても常に表示されます。

ホーム画面の管理

ホーム画面に追加できるもの

ホーム画面にアプリを移動したり、ウィジェットやフォルダなどのショートカットを追加したりできます。

アプリを移動する

1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ

2 「アプリを表示」→ 移動したいアプリをロングタッチ

3 画面下部のホーム画面までドラッグして移動したい位置で離す

ウィジェットを追加する

1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ

2 「ウィジェットを表示」→ 追加したいウィジェットをロングタッチ

3 画面下部のホーム画面までドラッグして追加したい位置で離す

お知らせ

- ホーム画面を「TouchWiz標準ホーム」に設定している場合は、利用できるウィジェットが異なります。また、ウィジェットのアイコンが異なる場合があります。
- ネットワークに接続するウィジェットの場合、パケット通信料が発生する場合があります。

フォルダを追加する

1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ →「フォルダを作成」

お知らせ

- フォルダ名を変更するには、変更したいフォルダをタップ → フォルダ名をタップ → フォルダ名を入力 →「完了」をタップします。

アプリなどの移動

1 ホーム画面で、移動したいアプリやウィジェットなどをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグして離す

アプリをホーム画面からアプリ画面に戻す

1 ホーム画面で、アプリ画面に戻したいアプリをロングタッチ

2 「アプリ一覧に戻す」までドラッグして離す

ウィジェットなどをホーム画面から削除

1 ホーム画面で、削除したいウィジェットやショートカットをロングタッチ

2 「ホーム画面から削除」までドラッグして離す

アプリやウィジェットのアンインストール

1 ホーム画面で、アンインストールしたいアプリやウィジェットをロングタッチ

2 「アンインストール」までドラッグして離す →「削除」

- アンインストール完了のメッセージが表示されます。

お知らせ

- アンインストールできない一部のアプリやウィジェットの場合は、手順2で「アプリ無効化」までドラッグして離す →「無効」→「OK」をタップすると、無効化（P.359）することができます。

きせかえの変更

壁紙やアプリ画面を一括設定できる機能です。

1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ →「きせかえを変更」

- きせかえ設定画面が表示されます。

2 設定するテーマを選択 →「設定」

壁紙の変更

ホーム画面の壁紙を自分好みに変更できます。

1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ →「壁紙を変更」

2 壁紙を選択

- 「他の壁紙を見る」をタップすると、「ギャラリー」／「写真」／「ライブ壁紙」／「壁紙」から選択できます。
  「ギャラリー」／「写真」の場合、画像を選択します。
  「ライブ壁紙」／「壁紙」の場合、壁紙を選択して「壁紙に設定」／「壁紙を設定」をタップします。
- どの画面に設定するかを選択するポップアップが表示された場合は、「すべての画面」／「この画面のみ」を選択 →「OK」をタップします。選択した壁紙によっては、「現在のきせかえ形状を適用」にチェックを付けるとプレートセットと選択した画像の合成が行われます。また、「位置調整」をタップするとサイズを調整できます。

ホーム画面の追加

1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ →「ホーム画面一覧」

- ホーム画面でピンチインしてもホーム画面一覧が表示されます。

2 「ホーム画面を追加する」

- 最大７枚までページを追加できます。

ホーム画面の並べ替え

1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ →「ホーム画面一覧」

- ホーム画面でピンチインしてもホーム画面一覧が表示されます。

2 ホーム画面のサムネイルをロングタッチ

3 移動したい位置までドラッグして離す

ホーム画面の削除

1 **ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ →「ホーム画面一覧」**

- ホーム画面でピンチインしてもホーム画面一覧が表示されます。

2 **削除したいホーム画面のサムネイルの ⊗ をタップ**

お知らせ

- ホーム画面にアプリやウィジェットなどが配置されているの場合はポップアップが表示されます。「削除する」をタップすると、削除することできます。

マチキャラを表示する

ホーム画面上を自由に動き回るキャラクターを設定し、「調べたいこと」や「やりたいこと」などを端末に話しかけると、その言葉の意図を読み取り、最適な回答を表示します。

1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ →「マチキャラ表示設定」

2「マチキャラ設定」タブ →「キャラ表示」の「表示する」

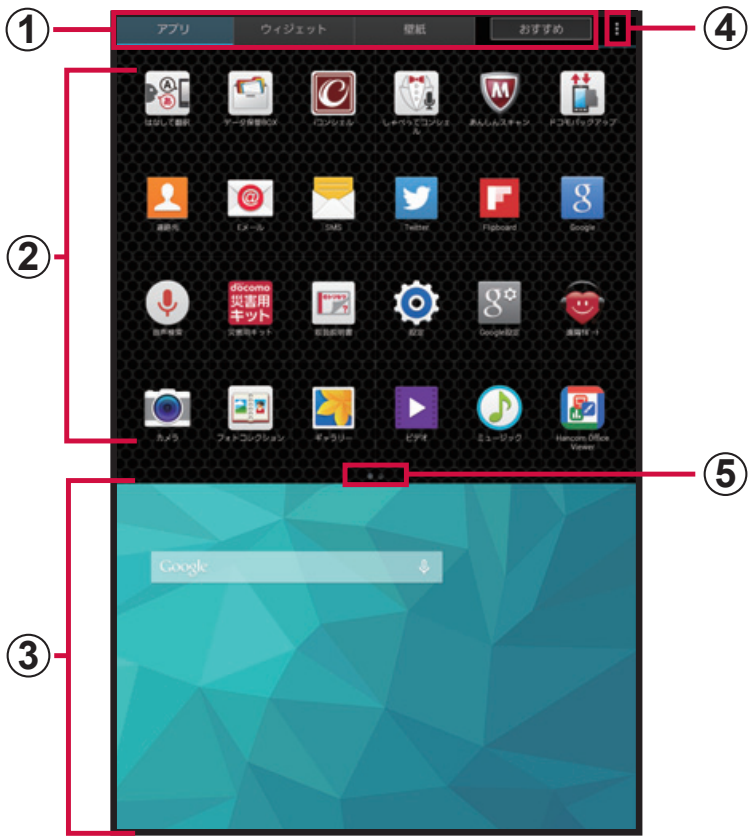
お知らせ

- 表示されているキャラクターをロングタッチしても設定画面が表示されます。

アプリ画面の見かた

1 ホーム画面で

- アプリ画面が表示されます。
- ホーム画面を下にスクロール／フリックしても、アプリ画面を表示できます。



アプリ画面の表示内容（表示例）

① 「アプリ」タブ／「ウィジェット」タブ／「壁紙」タブ／「おすすめ」ボタン

- アプリ／ウィジェット／壁紙画面を表示します。
- 「おすすめ」ボタンでは、ドコモのおすすめアプリが表示されます。

② アプリ

- ホーム画面に貼り付けられていないアプリが表示されます。アイコンをタップして、アプリを起動することができます。
- 左右にスクロール／フリックして切り替えられます。

③ **ホーム画面**
- 左右にスクロール／フリックして切り替えられます。
- 上にスクロール／フリックするとホーム画面を表示できます。

④ **メニュー**
- 検索や各種設定、ヘルプなどのメニューを表示します。

⑤ **アプリ画面の現在の位置**

アプリの管理

アプリのホーム画面への移動

1 アプリ画面で、ホーム画面に移動したいアプリをロングタッチ

2 画面下部のホーム画面までドラッグして移動したい位置で離す

アプリやウィジェットのアンインストール

1 アプリ／ウィジェット画面で、アンインストールしたいアプリ／ウィジェットをロングタッチ

2 「アンインストール」までドラッグして離す →「削除」

お知らせ

- アンインストールできない一部のアプリやウィジェットの場合は、手順2で「アプリ無効化」までドラッグして離す →「無効」→「OK」をタップすると、無効化（P.359）することができます。

アプリの移動

1 アプリ画面で、移動したいアプリをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグして離す

「おすすめ」アプリのインストール

「おすすめ」ボタンには、ドコモがおすすめするアプリが表示されます。アプリをダウンロードするには、画面の指示に従って操作します。

- 初回起動時には、説明のページが表示されます。「おすすめアプリを見る」をタップすると、アプリの一覧が表示されます。
- 「おすすめアプリをすべて見る」をタップすると、インターネットに接続し、すべてのおすすめアプリが一覧表示されます。

ホーム画面のバックアップと復元

ドコモクラウドにバックアップされたdocomo LIVE UXのデータを使って、ホーム画面のアプリやウィジェット等の配置を復元することができます。その際、ホーム画面の最後にドコモサービスのページが追加されます。

ホーム画面のバックアップ

1 ホーム画面で □ をロングタッチ →「配置のバックアップと復元」

- 初めて起動したときは、プライバシーポリシーと使用許諾規約などが表示されます。内容を確認し、「同意する」をタップします。
- ホーム画面の設定情報をバックアップ／復元するには、docomo IDの設定が必要です（P.319）。

2 ⚙ →「バックアップ」

ホーム画面の復元

1 ホーム画面で □ をロングタッチ →「配置のバックアップと復元」

2「最新のバックアップデータを復元」→「復元する」

- バックアップデータが複数ある場合は、「バックアップデーター覧から復元」→ バックアップデータを選択 →「復元」→「復元する」をタップします。

マイマガジンの利用

マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって検索ワードの設定をお手伝いし、お客様の好みに近づいていきます。

1 ホーム画面で

- 初めて利用するときは、マイマガジンに表示するジャンルを選択して「OK」をタップします。
- 「Twitter連携」画面が表示された場合に「設定を確認する」をタップすると、マイマガジンとTwitterを連携させることができます。
- ホーム画面で上にフリックしてもマイマガジンの記事一覧画面を表示できます。
- ジャンル別の記事一覧画面を左右にフリックしてジャンルを切り替えます。
- 「もっと見る」をタップして、表示されている記事以外の一覧を表示できます。

ジャンルを設定する

記事一覧画面に表示するジャンルの追加や削除、並べ替えができます。

1 ホーム画面で → → 「表示ジャンル設定」

2 ジャンルにチェックを付ける／チェックを外す

- チェックの付いたジャンルが表示されます。
- 「並べ替え」をタップして表示順を変更できます。 を上下にドラッグして位置を変更して「OK」をタップします。

3 「OK」

マイマガジンの利用設定

1 ホーム画面で → → 「マイマガジン設定」→「マイマガジン利用設定」

2 「利用する」／「利用しない」→「OK」
- アプリ画面で →「マイマガジン利用設定」をタップしてもマイマガジンを利用するかどうかを設定できます。

ホームアプリの情報

バージョン情報

docomo LIVE UXの提供者やバージョン情報などが確認できます。

1 ホーム画面で をロングタッチ →「アプリケーション情報」

ヘルプ

docomo LIVE UXについての詳細説明や操作方法などが確認できます。

1 ホーム画面で をロングタッチ →「ヘルプ」

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール

ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。
絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しております。
送受信したメールがドコモメールサーバに保存されるため、端末紛失や機種変更時にも簡単にメールが移行できます。さらにdocomo IDを利用すれば、パソコンやタブレットなどでメールが利用できます。
ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- 「ドコモバックアップ」（P.279）を利用すると、ドコモメール(ローカル)のデータをmicroSDカードにバックアップできます。

SMS

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。

※ 送受信できる文字数などの詳細については、ドコモのホームページの「ショートメッセージサービス（SMS）」をご覧ください。

SMSを作成して送信する

1 ホーム画面で → 「SMS」

- スレッド（SMSを送受信した相手）一覧画面が表示されます。

2 をタップ

- メッセージ作成画面が表示されます。

3 宛先に送信先の携帯電話番号を入力

- 複数の相手に送信する場合は、携帯電話番号に続けてカンマ（,）を入力するか、 をタップします。
- → 「グループ」／「お気に入り」／「連絡先」をタップすると、電話帳のグループ、お気に入り、連絡先から宛先を選択して入力できます。

4 「メッセージを入力」欄にメッセージを入力

顔文字を入力する場合

→ 「顔文字を挿入」→ 入力したい顔文字をタップします。

登録済みの定型文を挿入する場合

→ 「テキストを追加」→ 「クイック返信」→ 挿入するメッセージをタップします。

5 をタップ

日時を指定してSMSを送信する場合

→「送信メッセージ予約」→ 送信したい日時を設定 →「OK」→ をタップします。

作成中のSMSを下書き保存する場合

宛先と本文が入力され、キーボードが表示された状態で を2回タップします（予測変換候補表示時は を3回タップします）。

お知らせ

- 標準メッセージアプリ（P.161）をハングアウトに切り替えることができます。
- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「＋」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。
- 宛先に“#”または“*”がある場合、SMSを送信できません。
- 送信予約したSMSの予約日時に本端末の電源が入っていない場合、SMSは送信されません。
- 送信予約したSMSは、本端末に設定した日付と時刻で送信されます。ネットワーク状況や電波状態などによっては、設定した予約日時と送信日時が異なる場合があります。

受信したSMSを確認する

1 ホーム画面で → 「SMS」

- スレッド（SMSを送受信した相手）一覧画面が表示されます。

2 読みたいスレッドをタップ

- SMS一覧画面が表示されます。
- 受信SMSは黄色、送信SMSは青色、送信予約SMSは灰色の吹き出しで表示されます。吹き出しの色や形は変更できます（P.162）。

お知らせ

- 「お知らせ」（P.163）にチェックが付いている場合は、SMSを受信すると、ステータスバーに が表示されます。

スレッド／SMS一覧画面のメニュー

スレッド／SMS一覧画面で ⋮ をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
連絡先を表示／連絡先に追加	連絡先を表示／連絡先に追加します。
テキストを追加※1	イベント、場所、連絡先、定型文などを挿入します。
宛先を追加	他の宛先を入力してSMSを作成します。
顔文字を挿入※1	顔文字を入力します。
送信メッセージ予約	送信予約の日時を設定します。
優先送信元に追加	相手の携帯電話番号を優先送信元に登録します。
優先送信元から削除	相手の携帯電話番号を優先送信元の登録から削除します。
迷惑メッセージ番号に追加※2	相手の携帯電話番号を迷惑SMSに登録します。
迷惑メッセージ解除（番号）※3	相手の携帯電話番号を迷惑SMSの登録から解除します。

項目			説明
破棄			作成中のSMSを破棄します。
選択※4			スレッドを選択して迷惑SMS設定や削除などの操作をします。
保護メッセージ※4※5			保護したSMSを表示します。
迷惑メッセージ※4※5			迷惑SMSを表示します。
文字サイズ※4※5			文字サイズを設定します。
設定※4※5	基本設定	標準メッセージアプリ	標準メッセージアプリとして「SMS」／「ハングアウト」のどちらを使用するかを設定します。
		自動削除	最大保存件数に達したときに自動で古いSMSから削除するかどうかを設定します。
		最大SMS件数	スレッドごとの最大SMS件数を設定します。
		優先送信元	スレッド一覧画面に優先送信元を表示します。

項目			説明
設定 ※4※5	基本設定	クイック返信	定型文を追加・編集します。
		全てのリンクへのアクセスを許可	SMSに含まれているリンクへのアクセスを許可するかどうかを設定します。
	画面	吹き出し	吹き出しのスタイルを設定します。
		背景スタイル	背景のスタイルを設定します。
	署名設定	署名	SMSに署名を付与するかどうかを設定します。
		署名を編集	署名を編集します。
	SMS設定	配信確認通知	送信ごとに配信確認通知を要求するかどうかを設定します。
		SIMカード保存メッセージ管理	ドコモminiUIMカードにコピーしたSMSを確認・削除・本端末にコピーします。
		メッセージセンター	SMSセンターを設定します。 • 通常は設定を行う必要はありません。
		有効期限	送信するSMSの有効期限を設定します。

項目			説明
設定 ※4※5	通知設定	お知らせ	SMSを受信したときに、通知音とステータスバーのアイコンでお知らせするかどうかを設定します。
		通知音	SMSを受信したときに鳴らす通知音を設定します。
		バイブ	SMSを受信したときに、振動してお知らせするかどうかを設定します。
		メッセージ通知の繰り返し	SMS受信通知の繰り返し間隔を設定します。
		ポップアップを表示	SMSを受信したときに、ポップアップ画面でお知らせするかどうかを設定します。
		ロック画面	受信メッセージのプレビューをロック画面に表示するかどうかを設定します。
		ステータスバー	受信メッセージのプレビューをステータスバーに表示するかどうかを設定します。

項目			説明
設定※4※5	迷惑メッセージ設定	迷惑メッセージフィルター	迷惑SMSを受信拒否するかどうかを設定します。
		迷惑メッセージ番号に追加	受信拒否する携帯電話番号を登録します。
		迷惑メッセージフレーズに追加	受信拒否するフレーズを登録します。
ヘルプ※4※5			メッセージの使い方に関する説明を表示します。

※1 「メッセージを入力」欄に入力中の場合のみ表示されます。
※2 迷惑メッセージ番号に登録されていない相手とのSMS一覧画面で表示されます。
※3 迷惑メッセージ番号に登録されている相手とのSMS一覧画面で表示されます。
※4 スレッドが選択されていない場合にも表示されます。
※5 スレッドが1件も登録されていない場合にも表示されます。

スレッドオプション

スレッドをロングタッチすると、スレッドの選択画面になります。スレッドを選択すると、以下の項目が表示されます。

項目	説明
※1	相手の携帯電話番号を迷惑メッセージ番号に登録します。
※2	相手の携帯電話番号を迷惑メッセージ番号の登録から解除します。
	スレッドを削除します。

※1　迷惑メッセージ番号に登録されていない相手とのSMS一覧画面で表示されます。
※2　迷惑メッセージ番号に登録されている相手とのSMS一覧画面で表示されます。

SMSオプション

送受信や送信予約したSMSをロングタッチすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
再送信※1	送信に失敗したSMSを再送信します。
削除※1※2	SMSを削除します。
すぐに送信※3	送信予約したSMSをすぐに送信します。
メッセージをキャンセル※3	送信予約したSMSを削除します。
テキストをコピー	SMSの本文をコピーします。
転送	SMSを転送します。
保護／保護解除	誤って削除しないようにSMSを保護／保護解除します。
メッセージを編集※1※3	送信に失敗した／送信予約したSMSを編集します。
SIMにコピー※2	SMSをドコモminiUIMカードにコピーします。
共有	SMSをBluetooth機能やメールなどで送信します。
メッセージの詳細を表示	タイプ、発信者／宛先、送受信日時、送信予約日時、配信確認結果、ステータスを表示します。

※1　送信に失敗したSMSで表示されます。
※2　送受信したSMSで表示されます。
※3　送信予約したSMSで表示されます。

お知らせ

- 送信予約したSMSをすぐに送信する場合は、送信予約したSMSの → 「OK」をタップしても、すぐに送信することができます。
- SMSはドコモminiUIMカードに20件までコピーできます。

Eメール

一般のプロバイダが提供するPOP3やIMAPなどに対応したEメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。

Eメールアカウントを設定する

Eメールアドレスとパスワードを入力すると、Eメールアカウントの設定を自動的に取得して設定が行われます。

- 自動で設定できない場合や、手動で設定する場合は、受信設定や送信設定を入力する必要があります。あらかじめ必要なEメールアカウント設定の情報をご用意ください。

1 ホーム画面で → 「Eメール」

2件目以降のEメールアカウントを設定する場合

ホーム画面で → 「Eメール」 → → 「設定」 → 「アカウント追加」をタップします。

2 Eメールアドレス、パスワードを入力 → 「次へ」

- Eメールアカウントの設定が自動的に取得されます。
- 自動的に設定を取得できず、アカウントタイプの選択画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定を行ってください。

・２件目のEメールアカウントの設定からは、「常にこのアカウントからＥメールを送信」のチェックボックスが表示されます。チェックを付けると、設定するアカウントをメインアカウントとして設定できます。
Eメール一覧画面で ⋮ →「設定」→ メインアカウントとして設定したいアカウントを選択 →「メインアカウント」にチェックを付けるとメインアカウントを変更することができます。

手動で設定する場合

Ｅメールアドレス、パスワードを入力 →「手動設定」→ 画面の指示に従って設定します。

3 アカウントオプションを設定 →「次へ」

4 アカウント名、ユーザー名を入力 →「完了」

Eメールの設定を変更する

アカウント設定

1 **ホーム画面で → 「Eメール」**
- Eメール一覧画面が表示されます。

2 **→「設定」→ 設定したいアカウントをタップ**

3 **設定したい項目をタップ**

項目		説明
同期設定	Eメールを同期	Eメールのサーバーと同期を行うかどうかを設定します。
	同期スケジュール	Eメールを同期するタイミングを設定します。
	同期するEメールの期間※1	Eメールを同期する期間を設定します。

項目		説明
同期設定	Eメール受信サイズ	受信するEメールのサイズを設定します。また、ローミング中に受信するEメールのサイズを設定します。 • 「全て」／「添付ファイルを含む全て」を選択しても、Eメールのサイズが大きすぎるとメール本文が一部省略されることがあります。その場合は、本文画面で「詳細を読み込む」をタップするとメール本文を表示できます。
署名		Eメールの本文に署名を入れるかどうかを設定します。また署名を編集します。
メインアカウント		メインアカウントとして使用するかどうかを設定します。チェックを付けると、アカウント管理画面の設定したアカウントに「(標準)」が表示されます。
パスワード		サーバー側でアカウントのパスワードが変更になった場合に、端末側に登録されているアカウントのパスワードを再設定します。

項目		説明
Eメール通知		Eメールを受信したときに、通知音と通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。
通知音		Eメールを受信したときに鳴らす通知音を設定します。
バイブ		Eメールを受信したときに、振動してお知らせするかどうかを設定します。
その他の設定	アカウント名	アカウント名を変更します。
	ユーザー名	ユーザー名を変更します。
	常にCc/Bccに自分を追加	自分のメールアドレスをCc/Bccに追加します。
	画像を表示	画像を表示するかどうかを設定します。 • 「Eメール受信サイズ」で設定したサイズを超えるEメールを受信した場合は、チェックを付けても画像が表示されないことがあります。その場合は、本文画面で「画像を表示」または「X件の添付」タブ →「プレビュー」をタップすると画像を確認できます。

項目		説明
その他の設定	最近のメッセージ※2	表示するEメールの数を設定します。
	添付の自動ダウンロード※1	Wi-Fi接続時に添付ファイルを自動でダウンロードするかどうかを設定します。
	セキュリティオプション	暗号化、署名などのセキュリティオプションを設定します。
	受信設定	受信サーバーの設定を変更します。
	送信設定	送信サーバーの設定を変更します。

※1　POP3アカウントの場合は表示されません。
※2　IMAPアカウントの場合は表示されません。

お知らせ

- 複数のEメールアカウントを設定している場合は、Eメール一覧画面でアカウント名をタップ → 統合表示の「統合受信トレイ」をタップすると、登録したすべてのEメールアカウントの受信メールを一覧で確認できます。
- Eメールアカウントを削除する場合は、Eメール一覧画面で ⋮ →「設定」→ 削除したいEメールアカウントをタップ →「アカウント削除」→「削除」をタップします。
- Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントの場合は、設定項目が異なります。

基本設定

1 ホーム画面で → 「Eメール」

2 → 「設定」 → 「基本設定」

3 設定したい項目をタップ

項目		説明
表示	内容の自動サイズ調整	Eメールの内容を画面に合わせて調整します。
	本文のプレビュー行数	Eメールのプレビューの行数を設定します。
	リスト内のタイトル行	Eメールのタイトルを「件名」または「送信元」のどちらを表示するかを設定します。
	チェックボックスを非表示	Eメール一覧画面でチェックボックスを非表示にします。
作成と送信	標準画像サイズ	添付画像の標準サイズを設定します。
	Eメールの送信待機	指定した待機時間後に送信するかどうかを設定します。 • 「Eメールの送信待機」にチェックを付けると、待機時間を設定できます。
標準画面		Eメールの移動や削除をした後に表示する画面を設定します。

項目		説明
削除時に確認		Eメール削除前に確認画面を表示するかどうかを設定します。
優先送信元	優先送信元	優先送信元として登録した送信元アドレスのリストを編集します。
	標準フォルダとして設定	Eメールを開くときに優先送信元受信トレイを表示するように設定します。
	Eメール通知	優先送信元からEメールを受信したときに、通知音と通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。
	通知音	優先送信元からEメールを受信したときに鳴らす通知音を設定します。
	バイブ	優先送信元からEメールを受信したときに、振動してお知らせするかどうかを設定します。
迷惑メールアドレス		迷惑メールとして登録した送信元アドレスとドメインのリストを編集します。

お知らせ

- Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントを設定している場合は、設定項目が異なります。

Eメールを作成して送信する

1 ホーム画面で → 「Eメール」

2 をタップ

- Eメール作成画面が表示されます。

3 「宛先」欄に送信先のメールアドレスを入力

- Cc/Bccを追加する場合は、 をタップしてCc欄またはBcc欄にアドレスを入力します。
- → 「グループ」／「お気に入り」／「連絡先」をタップすると、電話帳のグループ、お気に入り、連絡先から宛先を選択して入力できます。
- 複数のEメールアカウントを設定している場合は、 → 送信元の をタップして、Eメールアカウントを切り替えられます。

4 「件名」欄に件名を入力

5 本文欄に本文を入力

ファイル／データを添付する場合

→ 添付したいファイル／データの種類をタップ → 画面に従って添付操作を行います。

ファイル／データを挿入する場合

→ → 挿入したいファイル／データの種類をタップ → 画面に従って挿入操作を行います。

送信するEメールの優先度を設定する場合

→ 「優先度」 → 優先度を選択します。

送信するEメールの暗号化や署名を設定する場合

→ 「セキュリティオプション」 → 「暗号化」／「署名」にチェックを付ける → 「OK」をタップします。

6 をタップ

宛先に自分を追加する場合

「自分を追加」

- 複数のEメールアカウントを設定している場合は、追加するアカウントをタップします。

日時を指定してEメールを送信する場合

→「送信予約」→「送信予約」にチェックを付ける→送信したい日時を設定→「完了」→ をタップします。

作成中のEメールを下書き保存する場合

をタップするか、／ →「保存」をタップします。

作成中のEメールを削除する場合

／ →「破棄」をタップします。

お知らせ

- 送信予約したEメールの予約日時に本端末の電源が入っていない場合、Eメールは送信されません。
- 送信予約したEメールは、本端末に設定した日付と時間で送信されます。ネットワーク状況や電波状態などによっては、設定した予約日時と送信日時が異なる場合があります。
- パソコンや他の端末とEメールを送受信した場合、利用環境によっては絵文字やHTMLメールなどの内容が正しく表示されない場合があります。

受信したEメールを確認する

1 ホーム画面で → 「Eメール」

- Eメール一覧画面が表示されます。
- 複数のEメールアカウントが登録されている場合は、アカウント名をタップして表示したいアカウントのフォルダをタップし、Eメール一覧画面を表示します。

2 をタップ

3 確認したいEメールをタップ

- 本文画面が表示されます。

お知らせ

- 「Eメール通知」（P.172）にチェックを付けている場合は、Eメールを受信すると、ステータスバーに などが表示されます。
- Eメール一覧画面で をタップすると、Eメールを検索できます。
- Eメール一覧画面で をタップすると、フォルダを切り替えられます。
- 本文画面で送信元の画像欄をタップすると、メールアドレスを電話帳に登録できます。メールアドレスを電話帳に登録している場合は、連絡先を表示したりEメールを送信したりできます。
- データが添付されている場合はEメール一覧画面に が表示されます。
  - 「X件の添付」タブ →「プレビュー」をタップすると、添付データを確認できます。
  - 「保存」をタップすると、添付データを本端末に保存できます。

Eメール一覧画面のメニュー

Eメール一覧画面で ⋮ をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
フィルター	並べ替えの条件を選択してEメールを並び替えます。
表示形式	Eメール一覧画面の表示方法を切り替えます。
フォルダ作成※	フォルダを作成します。
文字サイズ	文字サイズを設定します。
全て削除	すべてのEメールを削除します。
設定	Eメールアカウントの設定を変更します。→ P.170
ヘルプ	端末ヘルプを表示します。

※ POP3アカウントの場合は表示されません。

本文選択時のメニュー

Eメール一覧画面で送受信したEメールをロングタッチすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
	Eメールを他のフォルダに移動します。
※	Eメールの送信元のメールアドレスやドメインを迷惑メールアドレスとして登録／解除します。 • 迷惑メールアドレスに登録されたメールは「ジャンク」フォルダに振り分けられます。
	Eメールをお気に入りに追加／解除します。
	Eメールを未読／既読を切り替えます。
	Eメールを削除します。

※ POP3アカウントの場合は表示されません。

本文画面のメニュー

本文画面で ⋮ をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
未読にする	Eメールを既読から未読にします。
迷惑メールアドレスとして登録／迷惑メール解除※	送信元のメールアドレスやドメインを迷惑メールアドレスとして登録します。 • 迷惑メールアドレスに登録されたメールは「ジャンク」フォルダに振り分けられます。
移動	Eメールを他のフォルダに移動します。
Eメールを保存	Eメールを本端末に保存します。
優先送信元として設定／優先送信元から削除	送信元のメールアドレスを優先送信元として設定／解除します。
印刷	対応のプリンターを利用して、Eメールを印刷します。→ P.383
文字サイズ	文字サイズを設定します。
設定	Eメールの基本設定を変更します。→ P.174
ヘルプ	端末ヘルプを表示します。

※ POP3 アカウントの場合は表示されません。

Gmail

Gmailを利用して、Eメールの送受信ができます。

- Gmailを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です（P.344）。Googleアカウントの設定画面が表示された場合、画面の指示に従って設定を行ってから操作してください。

Gmailを開く

1 ホーム画面で「Google」→「Gmail」

2 読みたいメールをタップ

- 選択したメールの内容が表示されます。

Gmailを作成して送信する

1 ホーム画面で「Google」→「Gmail」

2 をタップ

- メール作成画面が表示されます。

3 宛先に送信先のメールアドレスを入力

- 複数の相手に送信する場合は、カンマ（,）で区切ります。
- Cc/Bccを追加する場合は、「CC/BCCを追加」をタップします。

4 「件名」欄に件名を入力

5 「メールを作成します」欄に本文を入力

6 をタップ

作成中のメールを下書き保存する場合

→「下書きを保存」をタップします。

下書き保存したメールを編集する場合

受信トレイ画面で「下書き」→ 編集する下書きをタップ → をタップします。

アカウントを切り替える

複数のGmailアカウントを登録している場合は、Gmailアカウントを切り替えることができます。

1 ホーム画面で「Google」→「Gmail」

2 切り替えるアカウントをタップ

- 選択したアカウントの受信トレイが表示されます。

お知らせ

- Gmailの詳細については、Gmailの画面で → 「ヘルプ」をタップしてご覧ください。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていない、機内モード中、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中などは受信できません。また、本端末のメモリ容量が少ないときは受信に失敗することがあります。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。

緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴りステータスバーに通知アイコンが表示され、受信画面が表示されます。

- ブザー音・着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- お買い上げ時は、マナーモード（サイレント、バイブ）設定中でもブザー音・着信音が鳴ります。鳴動しないように設定できます。→ P.186

受信したエリアメールを表示する

1 ホーム画面で ⊞ →「災害用キット」

- 初めて起動したときは機能概要や注意事項、使用許諾規約などが表示されるので、内容をよく読み、「同意して利用する」をタップします。

2 「緊急速報「エリアメール」」→ 確認したいエリアメールをタップ

エリアメールを削除する場合

「緊急速報「エリアメール」」→ 削除したいエリアメールにチェックを付ける →「削除」→「OK」をタップします。

- 1つ以上のエリアメールにチェックを付けた後に「すべて選択」をタップすると、すべてのエリアメールにチェックが付きます。

緊急速報「エリアメール」を設定する

受信設定や着信音設定をします。また、受信時の動作確認もできます。

1 ホーム画面で → 「災害用キット」

2 「緊急速報「エリアメール」」 → → 「設定」

3 項目を設定

項目	説明
受信設定	エリアメールを受信するかどうかを設定します。
着信音	ブザー音・着信音の鳴動時間、マナーモード（サイレント、バイブ）設定時もブザー音・着信音を鳴らすかどうかを設定します。
受信画面および着信音確認	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報の受信画面とブザー音・着信音を確認します。

ウェブブラウザ

ウェブブラウザを使用する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。
本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でブラウザを利用できます。

- ウェブページによっては、表示できない場合や、正しく表示されない場合があります。

ウェブブラウザを起動する

1 ホーム画面で

- ウェブブラウザが起動し、ホームページに設定されているウェブページ（お買い上げ時はdメニュー（http://smt.docomo.ne.jp/?home））が表示されます。

ブラウザ画面

① **タブ**
タブを切り替えたり、閉じたり、新しいタブを開いたりします。

② **戻る／進む**

③ **ホームページに戻る**
ホームページに設定されているウェブページに戻ります。

④ **アドレスバー**
ウェブページのURLや検索したいキーワードを入力します。

⑤ **再読み込み**

⑥ **メニュー**
メニューを表示します（P.193）。

⑦ **ブックマーク／保存したページ／履歴**
ブックマーク／保存したページ／履歴の一覧を表示します（P.195）。

ウェブブラウザを終了する

1 □ → **ブラウザのサムネイルを上下にスワイプ／フリック**

- ブラウザ画面で ○（ホームキー）を押したり ↩ をタップしてホーム画面に戻っても、ブラウザは終了しません。

お知らせ

- ブラウザ画面で次の操作ができます（表示中のウェブページにより操作できない場合があります）。
  - 拡大／縮小：拡大／縮小したい位置でピンチアウト／ピンチイン
  - フレームで区切られた箇所を拡大／縮小：拡大／縮小したい位置でダブルタップ
  - スクロール：画面をスワイプ／フリック
  - 前の画面に戻る：[⮌] をタップ
  - 拡大鏡の使用：画面をロングタッチ
  - テキストのコピー：画面のリンクが貼られていないテキストをロングタッチ → を上下左右にドラッグして、コピーしたいテキスト範囲を選択 →「コピー」
  - テキストの検索：画面のリンクが貼られていないテキストをロングタッチ → を上下左右にドラッグして、検索したいテキスト範囲を選択 →「検索」／「Web 検索」
  - テキストの共有：画面のリンクが貼られていないテキストをロングタッチ → を上下左右にドラッグして、共有したいテキスト範囲を選択 →「共有」→ 共有する方法をタップ

新しいタブを開く

1 ブラウザ画面で ＋

- 新しいタブが表示されます。

2 画面上部のアドレスバーにURLまたは検索したいキーワードを入力する

タブを閉じる場合

閉じたいタブの ✕ をタップします。

お知らせ

- ブラウザ画面で ⋮ →「新規タブ」をタップしても、新規タブを表示できます。

シークレットモードでタブを開く

ブラウザの履歴や検索履歴を残さずに、ブラウザの閲覧ができます。

1 ブラウザ画面で ⋮ →「新規シークレットタブ」→「OK」

- シークレットモードで閲覧中のタブは、画面上部のタブに 🕵 が表示されます。

シークレットモードのタブを閉じる場合

🕵 が表示されているタブの ✕ をタップします。

お知らせ

- シークレットモードで閲覧したウェブページの履歴は残りません。シークレットモードで閲覧したウェブページを閉じると、Cookieなどの記録も消去されます。ただし、シークレットモードで閲覧中にダウンロードしたファイルや、ブックマークしたウェブページは保存されます。

ウェブページのリンクを操作する

1 ブラウザ画面でリンクをロングタッチ

2 利用したい項目をタップ

項目	説明
開く	ウェブページを開きます。
新規タブで開く	ウェブページを新しいウィンドウで開きます。
リンクを保存	ウェブページを本端末／ microSDカードに保存します。
リンクをコピー	URLをコピーします。
テキストを選択※1	テキストを選択します。
画像を保存※2	画像を本端末／ microSDカードに保存します。
画像をコピー※2	画像をクリップボードにコピーします。
画像を表示※2	画像を表示します。

※1 リンクされているテキストでのみ表示されます。
※2 リンクされている画像でのみ表示されます。

お知らせ

- 表示中のウェブページにより、リンク操作のメニューが表示されない場合や、表示される項目が異なる場合があります。

ブラウザ画面のメニュー

ブラウザ画面で ⋮ をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
新規タブ	新しいウィンドウを開きます。
新規シークレットタブ	シークレットモードで履歴を残さずにウェブページを表示します。→ P.191
ショートカットを追加	ウェブページのショートカットをホーム画面に追加します。
Webページを保存	ウェブページを保存します。
共有	ウェブページのURLをオンラインサービスで共有したり、Bluetooth機能やメールなどで送信します。
ページ内検索	ウェブページ内に表示されている内容を検索します。
開いているページを同期	同じSamsungアカウントでサインインしている他の端末で開いたページにアクセスします。
PC版を表示	PC版のウェブページを開くかどうかを設定します。
明るさ	ディスプレイの明るさを調整します。
印刷	対応のプリンターを利用して、ブラウザ画面を印刷します。→ P.383

項目	説明
全て閉じる	すべてのタブを閉じます。
設定	→ P.199
ヘルプ	ヘルプを表示します。

ブックマーク、保存したページ、履歴を管理する

ウェブページをブックマークに追加する

1 ホーム画面で

2 ブックマークに追加するウェブページを表示 → → 「ブックマーク」 → 「追加」

3 「マイデバイス」またはアカウント表示をタップ → 登録したいフォルダをタップ

4 ブックマークのタイトルを確認／変更 → 「保存」

ブックマークからウェブページを表示する

1 ホーム画面で

2 → 「ブックマーク」
- ブックマークの一覧が表示されます。

3 表示したいウェブページをタップ

お知らせ

- ブックマークの一覧で「編集」→ ⋮ をタップすると、次の項目が表示されます。
  - 「選択」：複数のブックマークを選択して、削除や移動などができます。
  - 「リスト表示」／「グリッド表示」：一覧の表示方法を変更します。
  - 「フォルダ作成」：フォルダを作成します。
  - 「並べ替え」：ブックマークの一覧の表示順を変更します。

保存したページを表示する

1 ホーム画面で 🌐

2 ☆ →「保存したページ」

- 保存したページの一覧が表示されます。

3 表示したい保存したページをタップ

お知らせ

- 保存したページの一覧で「編集」→ ⋮ をタップすると、次の項目が表示されます。
  - 「選択」：複数の保存したページを選択して、削除やブックマークを追加などができます。
  - 「並べ替え」：保存したページの一覧の表示順を変更します。

履歴からウェブページを表示する

1 ホーム画面で

2 →「履歴」

- 履歴の一覧が表示されます。
- 閲覧日時の新しい順に履歴が表示されます。
- ブックマークに追加済みの履歴には ★（黄色）が表示されます。

3 表示したいウェブページをタップ

お知らせ

- 履歴の一覧で「編集」→ → 「OK」をタップすると、履歴をすべて消去できます。

ブックマーク／保存したページ／履歴のメニュー

ブックマーク／保存したページ／履歴をロングタッチすると選択画面が表示され、以下の操作ができます。

項目	説明
新規タブで開く／新規ウィンドウで開く	新しいタブでウェブページを開きます。
削除	ブックマーク／保存したページ／履歴を削除します。
編集※1	ブックマークの名前／URLを編集したり、保存先フォルダを変更できます。
コピー※2	ウェブページのURLをコピーします。
共有	ウェブページのURLをオンラインサービスで共有したり、Bluetooth機能やメールなどで送信します。
ショートカットを追加※1	ブックマークのショートカットをホーム画面に追加します。
ブックマークを追加※3	ブックマークに追加します。
ホームページに設定	ウェブページをホームページとして設定します。

※1　ブックマークの一覧で表示されます。
※2　履歴の一覧で表示されます。
※3　保存したページ／履歴の一覧で表示されます。

ウェブブラウザを設定する

1 ホーム画面で

2 ⋮ →「設定」

3 設定したい項目をタップ

項目	説明
アカウント	Samsung アカウントを設定します。
ホームページを設定	ホームページを設定します。
自動入力フォーム	ウェブフォームの入力欄に自動入力するテキストを設定します。

項目		説明
プライバシー	検索ワード/URLの候補表示	アドレスバーに入力する際、関連のあるキーワードなどを表示するかどうかを設定します。
	閲覧前にリンクをプリロード	ブラウザがページをバックグラウンドでプリロードできるように設定します。
	文字入力履歴を保存	ウェブフォームに入力した文字情報を保存するかどうかを設定します。
	パスワードを保存	ウェブページに入力したユーザー名・パスワードを保存するかどうかを設定します。
	個人データを削除	閲覧履歴やキャッシュ、Cookieとサイトデータ、パスワード、オートフィルデータなどの個人データを削除します。

項目		説明
画面とテキスト	テキストの表示倍率	プレビューを見ながら、文字の表示倍率を設定します。
	拡大／縮小設定を制御	ウェブページの設定とは無関係に、拡大／縮小できるようにするかどうかを設定します。
	文字コード	表示するウェブページの文字コードを設定します。適切な文字コードを自動的に選択するように設定できます。
	全画面表示	新しく開いたウェブページを全体表示します。ステータスバーは非表示になります。
コンテンツ設定	Cookieを許可	Cookieの保存・読み取りを許可するかどうかを設定します。
	位置情報を有効にする	本端末の位置情報へのアクセスを許可するかどうかを設定します。
	JavaScriptを有効化	JavaScriptを有効にするかどうかを設定します。
	ポップアップをブロック	ポップアップウィンドウをブロックするかどうかを設定します。

項目		説明
コンテンツ設定	保存先	ダウンロードしたデータの保存先を設定します。
	Webサイト設定	位置情報にアクセスしたウェブページなどの詳細情報（URLや使用帯域幅など）を表示します。保存されたデータを消去できます。
	通知を有効にする	通知機能を有効にするかどうかを設定します。
	通知を消去	保存された全てのアクセス通知を消去します。
	設定をリセット	データ消去とコンテンツ設定のリセットを行い、ブラウザの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

項目		説明
帯域幅の管理	Webページをプリロード	ブラウザがページをバックグラウンドでプリロードできるように設定します。
	画像の読み込み	画像表示の有無を設定します。
	ページを全体表示で開く	新しく開いたウェブページを全体表示します。

アプリ

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で「dメニュー」

- 使用するブラウザを選択し、「常時」（次回以降も適用）もしくは「1回のみ」を選択します。
- ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

お知らせ

- dメニューのご利用には、パケット通信（LTE/3G/GPRS）もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

音楽、書籍などさまざまな商品を取り扱っており、お客様のニーズに合った商品を購入することができます。

- dマーケットの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で「dマーケット」

Playストア

- Google Playのご利用には、Googleアカウントの設定が必要です（P.344）。

アプリをインストールする

1 ホーム画面で「Playストア」

2 ダウンロードしたいアプリを検索し、タップ → 詳細を確認

3 無料アプリの場合は「インストール」、有料アプリの場合は金額欄をタップ → 画面の指示に従って操作

- インストールが完了すると、ステータスバーに が表示されます。
- 多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。ダウンロードの操作を行うと、本端末でのこのアプリの使用に関する責任を負うことになります。

お知らせ

- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。
- 購入したアプリに満足しない場合、規定の時間内であれば返金要求ができます。なお、返金要求は各アプリに対して最初の一度のみとなります。
- Google Playの詳細については、Playストアの画面で「Playストア」→「ヘルプ」をタップしてご覧ください。
- アプリのアンインストールについては、「アプリやウィジェットのアンインストール」（P.151）をご参照ください。

GALAXY Apps

GALAXY Appsを利用して、Samsungのおすすめする豊富なアプリを簡単にダウンロードすることができます。

GALAXY Appsに接続する

1 ホーム画面で → 「GALAXY Apps」

- 免責条項が表示された場合は、内容をよく読み、「同意する」をタップします。

2 利用したいアプリを検索してダウンロード

お知らせ

- GALAXY Appsは国や地域によってはご利用になれない場合があります。詳細については、パソコンからGALAXY Appsサイト内のサポートページをご覧ください。

トルカ

トルカとは、お気に入りのお店のお得なクーポンや便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。サイトから取得できます。取得したトルカは簡単に最新の情報に更新できます。

- トルカの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 初めてトルカを起動したときはソフトウェア使用許諾規約が表示されますので、内容をよく読み、「同意する」をタップします。

1 ホーム画面で → 「トルカ」

お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- コンテンツ提供者の設定によっては、以下の機能がご利用になれない場合があります。
  更新、トルカの共有、地図表示※
  ※ トルカ（詳細）からの地図表示ができるトルカでも、トルカ一覧からの地図表示ができない場合があります。
- 「重複チェック設定」がONとなっている場合、同じトルカを重複して取得することができません。同じトルカを重複して取得したいときは、OFFにしてください。ただし、サイトからの取得は除きます。

- メールを利用してトルカを共有する際は、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。
- ご利用のメールアプリによっては、メールで受信したトルカを保存できない場合があります。
- ご利用のブラウザによっては、トルカを取得できない場合があります。

テレビ（フルセグ／ワンセグ）

テレビは、放送波の受信状況に応じてフルセグ／ワンセグを切り替えて視聴できるアプリです。また、映像・音声と共にデータ放送を受信することができ、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。
フルセグは、地上デジタルテレビ放送サービスをハイビジョン画質で視聴できます。
ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスを視聴できます。
「フルセグ／ワンセグ」サービスの詳細については、以下のホームページでご確認ください。
一般社団法人　デジタル放送推進協会：
http://www.dpa.or.jp/

フルセグ／ワンセグのご利用にあたって

フルセグ／ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の２種類があります。
「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。
「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。
サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

放送波について

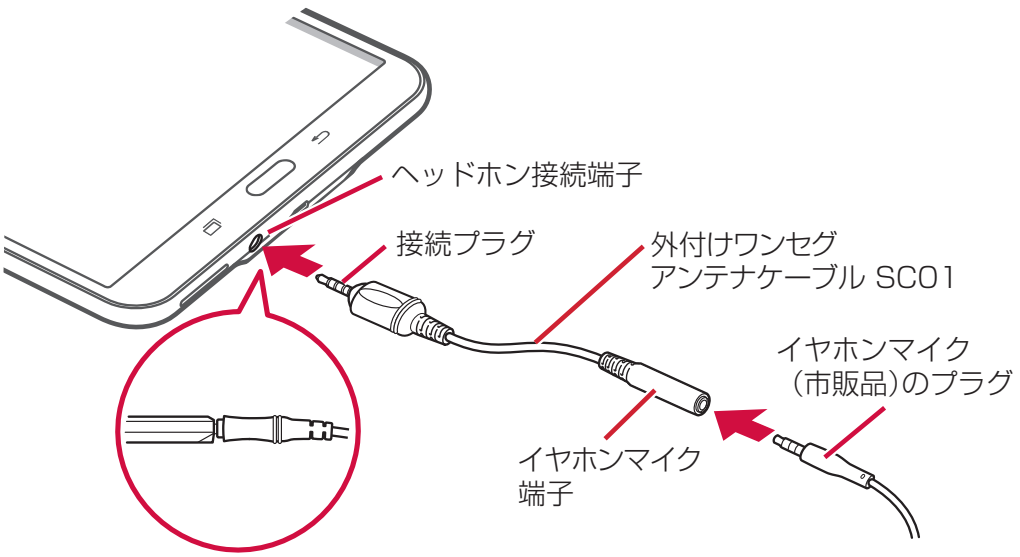
フルセグ／ワンセグは、放送サービスの１つであり、Xiサービスおよび FOMA サービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、Xiサービスおよび FOMA サービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、以下のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

付属の外付けワンセグアンテナケーブル ＳＣ01の向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

外付けワンセグアンテナケーブル SC01について

テレビ（フルセグ／ワンセグ）を視聴するときは、付属の外付けワンセグアンテナケーブル SC01 を本端末に接続してください。



1 外付けワンセグアンテナケーブル SC01 の接続プラグを、本端末のヘッドホン接続端子に図の向きで差し込む

お知らせ

- 外付けワンセグアンテナケーブル SC01 を図の向きで接続しない場合、接触不良などの原因となります。

フルセグ／ワンセグを視聴する

1 ホーム画面で「テレビ」

- 視聴画面の「テレビ」タブ（P.216）が表示されます。
- 初めて起動したときやチャンネルエリアが登録されていない場合は、「OK」をタップし、チャンネルエリアの設定を行います（P.224）。

お知らせ

- 電波状態によっては、映像や音声が途切れたり、止まったりすることがあります。
- マナーモード（サイレント、バイブ）に設定していても、音量（P.323）の設定によっては音声が再生されることがありますので、音量キーで音量を調節してください。

Bluetoothヘッドセットに転送する

1 視聴画面で ⋮ →「BTヘッドセットに転送」

- Bluetooth機能がOFFの状態では、ONに設定するようメッセージが表示されます。「ON」をタップして、Bluetooth機能をONにします。

2 接続するデバイスをタップ

- デバイスが検出されない場合は「スキャン」→接続するデバイスをタップします。

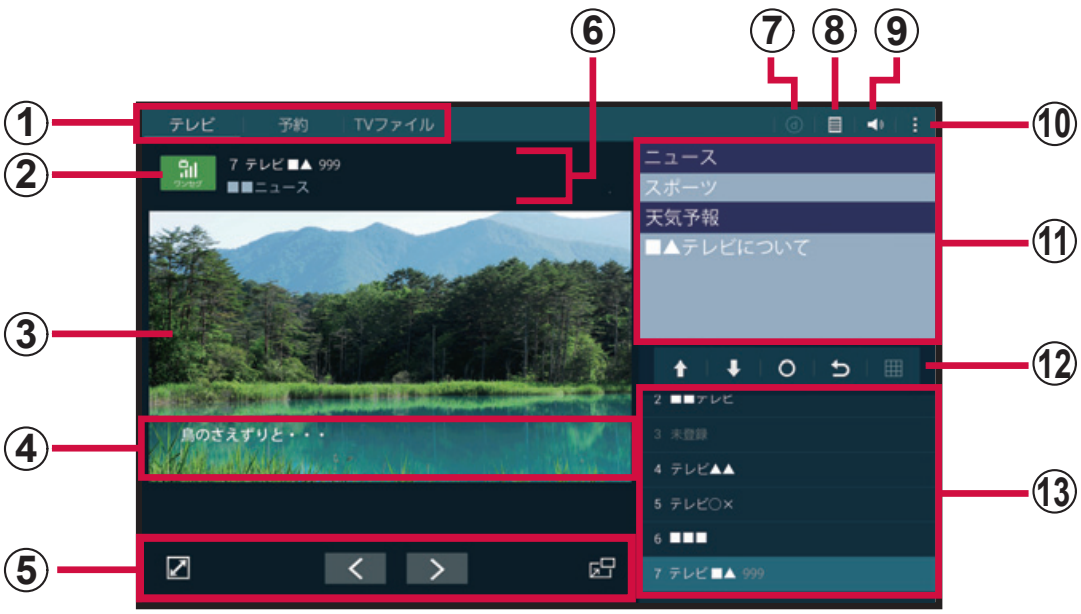
3 必要な場合は、ペアリングのためのパスコード（PIN）を入力 →「OK」

お知らせ

- SCMS-T対応のBluetoothヘッドセットでのみ、動作します。

視聴画面について

「テレビ」タブ



視聴画面（ワンセグ横画面）

① **タブ**
- タップすると、各タブに切り替わります。

② **電波状態／モード選択**
- 「フルセグ」／「ワンセグ」／「自動切替」を切り替えます。

③ **テレビ映像**
- ロングタッチすると番組の詳細情報を表示します。

④ **字幕**

⑤ **テレビ操作パネル**
- をタップすると視聴画面が最大になります。
- ／ でチャンネルを切り替えます。
- をタップするとポップアップＴＶ画面になります。他のアプリを操作しながらテレビ（フルセグ／ワンセグ）を視聴できます。

⑥ **チャンネル／番組名**

⑦ **dボタン（フルセグ）**
- データ放送画面を表示します。

⑧ **番組表**
- タップすると、視聴中チャンネルの番組一覧を表示します。

⑨ **音量調節**

⑩ **メニュー**

⑪ **データ放送**

⑫ **データ放送操作パネル**
- ／ で項目にカーソルを合わせ、 をタップして項目を選択します。リンク先のデータ放送が表示されます。
- をタップすると、リンクの履歴に戻ります。
- をタップすると、テンキーを表示します。

⑬ **チャンネルリスト**
- チャンネルをタップすると、チャンネルを切り替えます。
- チャンネルをロングタッチ →「削除」→「OK」をタップすると、チャンネルリストから削除できます。

■「テレビ」タブでのキー操作
- （電源／画面ロックキー）→「OK」をタップすると、画面をロック／解除します。画面ロック中は が表示されます。
- 音量キーで、音量を調節します。

■ ポップアップTV画面での操作
- ポップアップTV画面をドラッグすると、お好みの場所に移動できます。
- ポップアップTV画面上でピンチアウト／ピンチインすると、画面サイズを変更できます。
- ポップアップTV画面をダブルタップすると、視聴画面に戻ります。
- ポップアップTV画面をタップ → をタップすると、テレビ（フルセグ／ワンセグ）を終了します。

「予約」タブ

予約画面

① **タブ**
- タップすると、各タブに切り替わります。

② **予約一覧**

：録画予約（成功した予約を含む）
：視聴予約（成功した予約を含む）
：失敗した録画予約
：失敗した視聴予約
FHD：フルセグ
- 未実行の予約をタップすると、予約内容を変更できます。
- 実行済みの予約をタップすると、結果の確認と一覧からの削除ができます。

③ **新規予約**

④ **番組表**

⑤ **音量**

⑥ **メニュー**

「TVファイル」タブ

TVファイル画面

TVファイル再生画面

① **タブ**
- タップすると、各タブに切り替わります。

② **チャンネル／番組名**

③ **映像**
- 左右にフリックすると、TVファイルを切り替えます。
- タッチするとTVファイル操作パネルを表示／非表示します。

④ **字幕**

⑤ **TVファイル操作パネル**
- 再生時間エリアをドラッグして録画ファイルの再生位置を任意の時間まで操作できます。
  をタップすると視聴画面が最大になります。
  ／ でTVファイルを切り替えます。
- ／ でTVファイルを再生／一時停止します。
- をタップするとポップアップTV画面になります。他のアプリを操作しながらTVファイルを再生できます。

⑥ **dボタン（フルセグ）**
- データ放送画面を表示します。

⑦ **音量調節**

⑧ **メニュー**

⑨ **データ放送**

⑩ **データ放送操作パネル**
- ／ で項目にカーソルを合わせ、 をタップして項目を選択します。リンク先のデータ放送が表示されます。
- をタップすると、リンクの履歴に戻ります。
- をタップすると、テンキーを表示します。

⑪ **TVファイルリスト**
- TVファイルをタップすると、再生します。
- →「削除」→ 削除したいTVファイルにチェックを付ける →「完了」→「OK」をタップすると、TVファイルを削除できます。
- フルセグの録画ファイルには FHD が表示されます。

■TVファイル再生画面でのキー操作

- （電源／画面ロックキー）→「OK」をタップすると、画面をロック／解除します。画面ロック中は が表示されます。
- 音量キーで、音量を調節します。

■ポップアップTV画面での操作

ポップアップＴＶ画面の操作については、Ｐ.217をご覧ください。

テレビ（フルセグ／ワンセグ）を録画する

1 視聴画面で ⋮ →「録画」

- 録画中は番組名の右に ● REC が表示されます。
- 録画を停止するには、「停止」をタップします。

お知らせ

- 電波状態によっては、映像や音声が途切れたり、止まったりすることがあります。
- 録画中はチャンネル切替はできません。
- 録画中に他のアプリを起動すると、正常に録画できない場合があります。

録画した番組を再生する

1 視聴画面で「TVファイル」

2 再生する番組をタップ

テレビ（フルセグ／ワンセグ）の録画や視聴を予約する

番組表から予約する

1 視聴画面で
- 番組一覧のポップアップが表示されます。

2 予約する番組をタップ
- 番組をタップすると、番組の詳細情報を確認できます。

3 「予約」→「録画予約（フルセグ）」／「録画予約（ワンセグ）」／「視聴予約」

手動で予約する

1 視聴画面で「予約」
- 予約画面が表示されます。

2 をタップ

3 予約画面で各項目を入力

4 「予約」をタップ

予約を削除する

1 視聴画面で「予約」
- 予約画面が表示されます。

2 削除する予約をロングタッチ

3 「削除」→「OK」

チャンネルを設定する

エリア情報を設定する

1 視聴画面で →「設定」

2 「エリア情報設定」→ 登録する地域を選択

3 地域を選択 → 都道府県を選択 → ローカルエリアを選択
- チャンネルが検索され、選択した地域にチャンネルリストが登録されます。

4 「OK」

エリア情報を切り替える

1 視聴画面で ⋮ →「設定」

2 「エリア切替」→ 切り替える地域を選択
- 切替先の地域にチャンネルリストが登録されていない場合は、エリア情報の設定を行います(P.224)。

エリア情報を削除する

1 視聴画面で ⋮ →「設定」

2 「エリア情報設定」→ 削除する地域をロングタッチ

3 「設定リセット」

チャンネルを更新する

1 視聴画面で ⋮ →「情報／チャンネルリストを更新」
- 視聴しているエリアのエリア情報およびチャンネルが更新されます。

TVリンクを利用する

TVリンクを登録する

1 データ放送を操作して、TVリンク登録可能な項目を選択

- TVリンクの登録方法は、番組によって異なります。

お知らせ

- リンク先によっては、TVリンクを登録できないことがあります。

TVリンクを表示する

1 視聴画面で ⋮ →「TVリンク」

2 TVリンクを選択 →「OK」

- 登録したサイトに接続します。

TVリンクを削除する

1 視聴画面で ⋮ →「TVリンク」

2 削除するTVリンクをロングタッチ

3 「削除」→「OK」

テレビ（フルセグ／ワンセグ）を設定する

1 視聴画面で ⋮ →「設定」

2 項目を設定

項目		説明
字幕／音声	字幕	字幕を表示するかどうかを設定します。
	文字スーパー	文字スーパーを表示するかどうかを設定します。 気象情報や地震、津波などの緊急速報、ニュース速報などの情報が表示されます。 視聴している番組が多重言語に対応している場合、「言語2」を選択すると英語で表示されます。
	音声	複数の音声（言語）を放送している番組で聞く音声（言語）を設定します。
	音声多重	複数の音声を放送している番組で聞く音声を設定します。
	SoundAlive	オーディオ効果を4種類から選択します。
保存先設定		録画したデータの保存先を設定します。
TVオフタイマー		自動的にテレビ（フルセグ／ワンセグ）を終了するまでの時間を設定します。

項目		説明
エリア切替		→ P.225
エリア情報設定		→ P.224
データ放送	録画設定	映像とテキストの両方を録画するか、映像のみを録画するかを設定します。
	通信接続確認	通信接続確認を行うかどうかを設定します。
	位置情報確認	位置情報確認を行うかどうかを設定します。
	製造番号通知	製造番号の通知を行うかどうかを設定します。
	郵便番号	データ放送に表示する地域を設定します。
	放送局データ削除	放送局のデータを削除します。
RMPメーカーID※		RMP方式における受信機のメーカーを識別するIDを表示します。
CAS情報の初期化※		CAS情報を再受信します。

※ フルセグの場合のみ表示されます。

カメラ

著作権・肖像権について
本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。
お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。
カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラをご利用になる前に

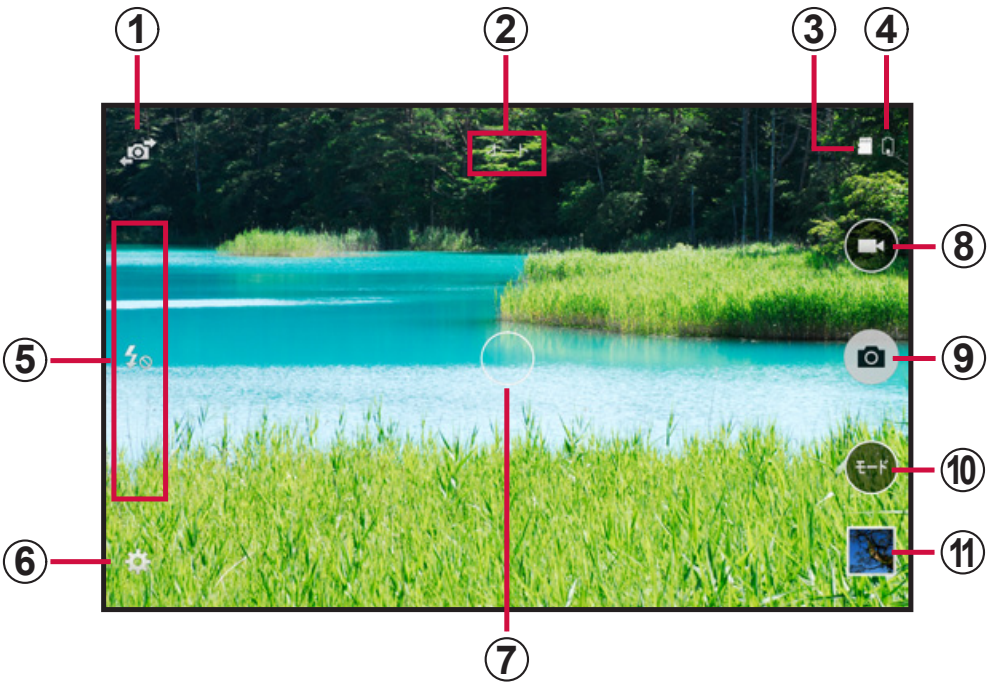
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見えたり、暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が不足している場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が出ることがありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- カメラで撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとすると、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影するときは、本端末が動かないようにしっかり手に持って撮影してください。撮影時に本端末が動くと、撮影画像がぶれる原因になります。
- 撮影するときは、レンズに指や髪などがかからないようにしてください。
- カメラ利用時は電池の消費が多くなります。電池残量が少ない状態で撮影を行った場合、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- 静止画の連続撮影や動画の長時間撮影など、カメラを長時間起動していると本端末が温かくなり、カメラが自動的に終了することがありますが、故障ではありません。しばらく時間をおいてからご使用ください。
- 撮影した直後などは、microSDカードを強制的に取り外さないでください。正常に保存されなかったり、撮影したデータが破損する可能性があります。microSDカードを取り外す場合はあらかじめ「外部SDカードのマウント解除」（P.350）を行ってください。
- マナーモード（サイレント、バイブ）設定中でも静止画撮影のシャッター音、動画撮影の開始音や終了音は鳴りますのでご注意ください。

撮影画面の見かた

1 ホーム画面で ⊞ →「カメラ」

- 初めて起動したときに、microSDカードが取り付けられていると保存場所の確認画面が表示されます。内容を確認し、「キャンセル」／「OK」をタップしてください。



静止画／動画撮影画面

① 外側カメラと内側カメラの切替

② 現在の撮影モード

- 設定中のモードが表示されます。

③ 保存先（microSDカード）、撮影可能枚数

- 保存先をmicroSDカードに設定しているときに表示されます。
- 撮影可能枚数は、撮影可能枚数が300枚以下の場合に表示されます。
- 撮影可能枚数は目安です。撮影をしても表示が変わらない場合があります。
- 設定の状況によっては、保存先アイコンの左側に設定をお知らせする各種アイコンが表示されます。

④ **バッテリー残量**
- バッテリー残量が29%未満のときには が、充電中のときには が表示されます。

⑤ **設定項目のショートカットエリア**

⑥ **設定**
- タップすると、設定メニューが表示されます。→ P.235

⑦ **フォーカス**

⑧ **シャッター（動画撮影）**

⑨ **シャッター（静止画撮影）**

⑩ **撮影モードメニュー → P.238**

⑪ **サムネイル**
- タップすると、ギャラリーが起動します。

お知らせ

- カメラを起動した状態で約２分間何も操作をしないと、カメラは終了します。
- 撮影モードメニューの「美肌モード」や、ショット&エフェクト（P.239）の「ベストフォト」「ベストフェイス」は顔検出機能に対応しています。

静止画を撮影する

1 ホーム画面で → 「カメラ」

- 静止画／動画撮影画面が表示されます。

2 被写体にカメラを向ける

- ディスプレイ上でピンチアウト／ピンチインするとズーム調節できます。

3 をタップ

- シャッター音が鳴り、撮影されます。
- 撮影した静止画は自動的に保存されます。
- 撮影時に をロングタッチすると、最大で20枚の写真を撮影します。ただし、「連写」（P.235）を「OFF」に設定している場合、オートフォーカス枠にある被写体にピントが固定され、指を離すと撮影されます。

お知らせ

- 撮影した静止画はJPEG形式で保存されます。
- 設定メニューの「音量キー」で「写真を撮影」を選択した場合、音量キーを押しても静止画を撮影できます（P.238）。

動画を撮影する

1 ホーム画面で → 「カメラ」

- 静止画／動画撮影画面が表示されます。

2 被写体にカメラを向ける →

- 開始音が鳴り、動画撮影が始まります。
- ディスプレイ上でピンチアウト／ピンチインするとズーム調節できます。
- をタップすると、動画撮影中に静止画も撮影できます。
- 撮影を一時停止するには をタップします。一時停止中に をタップすると、撮影を再開できます。

3 撮影を停止するときは、

- 終了音が鳴り、撮影した動画が自動的に保存されます。

お知らせ

- 動画を撮影する前に、メモリに十分な空きがあることを確認してください。
- 設定メニューの「音量キー」で「動画を撮影」を選択した場合、音量キーを押しても動画を撮影／停止できます。なお、「音量キー」で「写真を撮影」を選択した場合、音量キーを押すと、動画撮影中に静止画も撮影できます（P.238）。

カメラの設定をする

1 ホーム画面で → 「カメラ」

2 撮影画面で

- 撮影モードにより設定できない項目があります。
- 撮影画面の設定項目のショートカットエリアにドラッグして、3つまでのショートカットを表示できます。
- 項目によっては同時に設定できない場合があります。

項目	説明
画像サイズ	静止画の撮影サイズを設定します。
連写	静止画を連続して撮影します。 • 連写を「ON」にして設定してシャッターをロングタッチすると、最大で20枚の写真を撮影します。撮影した画像はすべて保存されます。
夜間オート検出	夜間でもフラッシュを使用せずに写真を撮影するかどうかを設定します。

項目	説明
顔検出	顔を検出するかどうかを設定します。 • 顔が検出されると、黄色の枠が表示され、フォーカスを合わせることができます。 • 被写体の顔の角度、大きさ、表情、光の当たりかた、アクセサリなどによっては、顔検出が正しく動作しない場合があります。
ISO	静止画撮影のISO感度を設定します。
測光モード	静止画撮影の測光方法を設定します。
タップして撮影	画面をタップすることで、静止画を撮影します。
保存設定	撮影モードを「HDR（リッチトーン）」に設定して撮影するときの画像の保存方法を設定します。
動画サイズ	動画の撮影サイズを設定します。
録画モード	→P.244
動画手振れ補正	動画撮影時の手振れ補正機能のON／OFFを設定します。
エフェクト	撮影効果を設定します。 • 設定できる撮影効果項目は、ダウンロードして追加することもできます。

項目	説明
フラッシュ	フラッシュをOFF／ON／オートに切り替えます。
タイマー	セルフタイマーを設定します。
表示モード	撮影画面の表示を全画面／標準に切り替えます。
位置情報タグ	位置情報を付加するかどうかを設定します。 • GPSの電波を正しく受信するため、受信しにくい場所での使用は避けてください。→ P.272 • 撮影した静止画をインターネットにアップロードすると、意図しない第三者からも付加された位置情報を確認される場合があります。位置情報が漏れるのを防ぐには、OFFに設定してください。
左右反転して保存	撮影した静止画／動画を左右反転して保存します。 • 内側カメラに切り替えると設定できます。
保存場所	撮影した静止画／動画の保存先を選択します。
写真／動画を確認	写真や動画を撮影した後、すぐに撮影結果を表示します。
ホワイトバランス	撮影時の光の状況を選択して、画像の色合いを補正します。

項目	説明
露出補正	露出補正を設定します。
グリッドライン	撮影位置を決めるためのグリッドを表示します。
音量キー	音量キーを押したときの操作を「写真を撮影」／「動画を撮影」／「ズーム」から選択します。
音声コントロール	音声でシャッターを切れるようにするかどうかを設定します。
ヘルプ	ヘルプを表示します。
設定をリセット	カメラの設定をリセットします。

3 設定が終了したら、ディスプレイの空き部分や ⮌ をタップ

撮影モードを切り替える

1 ホーム画面で ⊞ →「カメラ」

2 撮影画面で モード → 撮影モードを選択

- 「ショット＆エフェクト」を選択して撮影した場合、利用できるエフェクトだけが自動的に選択可能になります。利用できるモードをタップして編集・保存します。

項目	説明
オート	色合いや明るさを最適化するように露光を自動調整します。

項目		説明
美肌モード		人物を撮影する場合、肌がより美しく見えるように補正します。
ショット&エフェクト	ベストフォト	1回のシャッターで8枚の静止画を撮影します。撮影した静止画の中からもっとも鮮明な画像が表示されます。 • 画面を左右にフリックして保存したい画像を表示 → をタップして を表示→「保存」→「OK」をタップします。
	ベストフェイス	1回のシャッターで最大5枚の静止画を撮影します。検出した被写体ごとにベストフェイスを選択し、合成した画像を保存できます。 • 検出した被写体をタップ → サムネイルからベストフェイスの画像をタップして を表示 → すべての被写体でこの操作を繰り返す →「保存」→「OK」をタップします。

項目		説明
ショット&エフェクト	ドラマショット※	動いている被写体を多重露出で撮影して、1枚の静止画に合成して保存できます。 • 「保存」→「OK」をタップすると、静止画が保存されます。 • サムネイルでは、合成したい被写体をタップして選択できます。 • 編集画面で をタップすると、被写体を編集できます。 • カメラを1箇所に固定し、一方向に動いている1 つの被写体を対象にして、背景が動いていない所で撮影してください。 • 背景の色彩と似ている被写体は、撮影しにくい場合があります。 • 小さい／大きい被写体、および長い被写体（バス、汽車など）は撮影しにくい場合があります。

項目		説明
ショット&エフェクト	消しゴム※	撮影した静止画の中から不要な被写体を削除し、ベストな静止画を保存できます。 • 「保存」→「OK」をタップすると、静止画が保存されます。 • 編集画面で をタップすると、移動した被写体が削除され、 をタップすると復元できます。 • 撮影時は本端末が動かないように固定して撮影してください。 • 背景の色彩と似ている被写体は、被写体の動きが一部分のみ検出されたり、被写体を削除するときにエラーが発生する場合があります。 • 被写体の動きが小さすぎる／大きすぎる場合は、正しく削除できない場合があります。 • 動いている被写体が多い場合は、一部の被写体だけ検出される場合があります。

項目		説明
ショット&エフェクト	パンニング撮影※	被写体がすばやく動いて見えるように、背景をぼかします。 • 「保存」→「OK」をタップすると、静止画が保存されます。 • 編集画面で「オブジェクト」をタップすると、被写体を編集できます。 • 編集画面で「モーションブラー」をタップすると、背景のぼかしを調整できます。 「角度」をタップ → ダイヤルをドラッグすると、ぼかしの角度を変えることができます。 「モーションブラー」をタップ → スライダを左右にドラッグすると、ぼかしのレベルを調整することができます。
パノラマ※		水平または垂直方向に本端末を動かしてパノラマ写真を撮影します。 • カメラを一方向にゆっくりと動かし、白枠のガイドから青枠がずれないように、本端末を一方向にゆっくりと動かしてください。 • 被写体の背景が無地の壁や虚空などの場合は、正しく撮影できないことがあります。

項目	説明
HDR（リッチトーン）※	逆光などの場合にコントラストを調整して撮影します。
デュアルカメラ	外側カメラと内側カメラを使って、例えば風景（静止画／動画）の中に自分の顔写真を貼り付けた撮影などができます。 • 「動画サイズ」が「1920 × 1080（16：9）」の場合は最大5分、「1280×720（16:9）」「640×480（4：3）」の場合は最大10分間の動画を撮影できます。
モードを管理	カメラの撮影モードを追加または並べ替えることができます。
ダウンロード	GALAXY Appsから撮影モードをダウンロードして追加することができます。

※ 内側カメラに切り替えた場合は利用できません。

録画モードを切り替える

1 ホーム画面で ⊞ →「カメラ」

2 撮影画面で ⚙ →「録画モード」

3 利用したい項目をタップ

項目	説明
標準	標準の撮影を行います。
Eメール用制限	Eメールで共有できるように録画ファイルのサイズを制限します。
ファストモーション	ファストモーション再生用として録画します。

ギャラリー

本端末やmicroSDカードに保存されている静止画や動画を閲覧したり、整理したりできます。
対応しているファイル形式は以下のとおりです。ただし、静止画や動画によっては以下のファイル形式であっても表示／再生できない場合があります。

種類	ファイル形式※
静止画	JPEG、PNG、GIF、BMP、WBMP、AGIF
動画	MP4、M4V、3GP、3G2、WMV、ASF、AVI、FLV、MKV、ISMV、WEBM、TS

※ DivXには対応していません。
DivX形式のファイルを再生するには、対応している他のアプリをインストールしてください。

1 ホーム画面で → 「ギャラリー」

- 撮影日別に並んだデータ一覧画面またはアルバム一覧画面が表示されます。アルバム一覧画面が表示された場合はアルバムをタップしてデータ一覧画面を表示します。
- をタップするとカメラが起動します。
- 新しいアルバムを作成するには、 → 「アルバムを作成」→ アルバム名を入力 →「作成」をタップします。

2 データをタップ

- アイコンが表示されていない場合は、画面をタップすると表示されます。表示されるアイコンは、表示中のデータによって異なります。

項目	説明
	メディアファイル共有機能対応機器と接続して静止画を表示します。→ P.384
	データをオンラインサービスで共有、Bluetooth機能やメールなどで送信、他のアプリで使用します。
	静止画データの編集（回転、トリミング、色、効果、シール、スケッチ、フレーム）を行います。
	動画データの編集（トリミング）を行います。
	データを削除します。
	選択したデータ種別ごとの機能メニューを表示します。

静止画を表示する

1 データの一覧画面で表示する静止画をタップ

- 静止画が表示されます。
- 静止画を切り替えるには画面を左右にスクロールします。

動画を再生する

1 データの一覧画面で再生する動画をタップ

2 → アプリを選択 →「毎回」／「今回のみ」

- 再生が開始されます。
- 「メディアプレイヤー」を選択した場合、画面に表示されるアイコンや操作説明については、「メディアプレイヤーを利用する」（P.254）をご参照ください。
- 「動画」を選択した場合、画面に表示されるアイコンや操作説明については、「動画を再生する」（P.257）をご参照ください。

お知らせ

- 「写真」を選択した場合、画面に表示されるアイコンや操作説明については、ホーム画面で「Google」→「写真」→ 対象の動画を選択 → ⋮ →「ヘルプ」をタップしてご覧ください。

ギャラリーのメニュー

アルバムの一覧画面／データの一覧画面／データの表示画面で ⋮ ／ ⋮ をタップすると以下の項目が表示されます。

アルバムの一覧画面

項目	説明
選択	アルバムをタップして複数選択し、まとめて操作します。 • 「XX件選択」→「全て選択」をタップすると、すべてのアルバムを選択できます。 • をタップすると、アルバムをオンラインサービスで共有、Bluetooth機能やメールなどで送信、他のアプリで使用します。 • をタップすると、アルバムを削除します。 • ⋮ をタップすると、イベントへの追加、スライドショーの開始やスタジオの起動などができます。
削除	選択したデータを削除します。
アルバムを作成	アルバムを作成します。

項目			説明
表示するコンテンツ			ギャラリーに表示するコンテンツの保存先を選択します。
スライドショー			スライドショーを開始したり、スライドショーの設定を行います。
スタジオ			写真や動画をさまざまに加工することができます。
設定	アカウント		本端末に登録されているアカウントを表示します。
	SNSデータ管理	Wi-Fi接続時のみ同期	Wi-Fiネットワークの接続時のみコンテンツを同期させるようにするかどうかを設定します。
	タグ情報	タグバディ	静止画・動画にカテゴリのタグ付けをします。
		フェイスタグ	電話帳に登録した人物情報（フェイスタグ）を表示するかどうかを設定します。 • フェイスタグは静止画のみに対応しています。
ヘルプ			ギャラリーのヘルプを表示します。

お知らせ

- 本端末にオンラインアカウントやクラウドのアカウントを設定している場合は、「設定」をタップするとアカウント名などが表示され、同期の設定などを行うことができます。

データの一覧画面

項目	説明
選択	データをタップして複数選択し、まとめて操作します。 • 「XX件選択」→「全て選択」をタップすると、すべてのデータを選択できます。 • をタップすると、データをオンラインサービスで共有、Bluetooth機能やメールなどで送信、他のアプリで使用します。 • をタップすると、データを削除します。 • データを選択して をタップすると、アルバムにコピー、イベントに追加、スライドショー、スタジオの起動、詳細などの機能が利用できます。
削除	選択したデータを削除します。
古い順に並び替え／新しい順に並び替え	データを日時の古い順／新しい順に並び替えます。
表示するコンテンツ※	ギャラリーに表示するコンテンツの保存先を選択します。
スライドショー	スライドショーを開始したり、スライドショーの設定を行います。
スタジオ	→ P.253
設定	→ P.249

項目	説明
ヘルプ※	ギャラリーのヘルプを表示します。

※ 撮影日別に並んだ一覧画面の場合のみ表示されます。

ロ データの表示画面

項目	説明
その他の情報	データの詳細情報を表示します。
クリップボードにコピー※	静止画をクリップボードにコピーします。
スタジオ	→ P.253
左に回転※	静止画を反時計回りに90度回転します。
右に回転※	静止画を時計回りに90度回転します。
トリミング※	静止画のトリミングを行います。
名前を変更	ファイル名を変更できます。
スライドショー	スライドショーを開始したり、スライドショーの設定を行います。
登録※	静止画を電話帳や壁紙などに登録できます。
印刷※	対応のプリンターを利用して、静止画を印刷します。→P.383
設定	→ P.249

※ 静止画の表示時のみ表示されます。

スタジオ

項目	説明
フォトスタジオ	静止画データの編集（回転、トリミング、色、効果など）を行います。
コラージュスタジオ	静止画を選択してコラージュを作成します。
ショット&エフェクト	「ショット&エフェクト」モードで撮影した静止画を編集します。→P.239
ビデオエディター	静止画や動画を選択してビデオアルバムを作成します。
動画トリミング	動画データの編集（トリミング）を行います。

プレイヤー

メディアプレイヤーを利用する

本端末やmicroSDカードに保存してある音楽や動画を再生できます。
再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、音楽や動画によっては以下のファイル形式であっても再生できない場合があります。

種類	ファイル形式※
音楽	MP3、M4A、3GA、AAC、OGG、OGA、WAV、WMA、AMR、AWB、FLAC、ISMA、MID、MIDI、XMF、MXMF、IMY、RTTTL、RTX、OTA
動画	MP4、M4V、3GP、3G2、WMV、ASF、AVI、FLV、MKV、ISMV、WEBM、TS

※ DivXとAC3には対応していません。
DivX形式とAC3形式のファイルを再生するには、対応している他のアプリをインストールしてください。

1 ホーム画面で

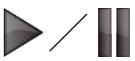
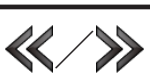
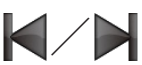
- 初めて起動したときはアプリケーション・プライバシーポリシーとソフトウェア使用許諾規約が表示されるので内容をよく読み、同意する旨の項目にチェックを付けて「利用開始」をタップします。続いて、メディアプレイヤーの紹介画面が表示されます。「使い方の説明を読む」をタップして、使いかたを確認してください。説明を確認しない場合は、「説明を読まず利用する」をタップします。

2 画面左側のカテゴリを選択

- タップしたカテゴリに応じた結果が表示されます。
- 「dマーケット」→「dミュージックで探す」／「dビデオで探す」／「dアニメストアで探す」をタップすると、音楽や動画などのコンテンツを購入することができます。

3 再生したい音楽または動画をタップ

- 音楽や動画の再生が開始されます。

項目	説明
	現在の再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
※1 ／ ※2	データの一覧画面を表示します。
※1 ／ ※1	Miracast設定画面を表示します。
※1 ／ ※1	本端末の向きに合わせて縦横表示を自動的に切り替えるかどうかを設定します（自動的に切り替えない／自動的に切り替える）。
	再生／一時停止します。
	タップすると早戻し／早送りします。
	タップするとデータの先頭または前のデータ／次のデータにスキップします。
※2 ／ ※2 ／ ※2	リピートモードを設定します（リピートなし／全曲リピート／１曲リピート）。

項目	説明
※2 ／ ※2	シャッフル機能を設定します（シャッフルしない／シャッフルする）。
	音量の大きさを表示します。左右にドラッグすると音量を調節できます。

※1　動画再生画面でのみ表示されます。
※2　音楽再生画面でのみ表示されます。

お知らせ

- 本端末と外部機器をHDMI接続する場合は、メディアプレイヤーのオーディオエフェクト設定内容が適用されません。

動画を再生する

本端末やmicroSDカードに保存してある動画を再生できます。
再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、動画によっては以下のファイル形式であっても再生できない場合があります。

ファイル形式※
MP4、M4V、3GP、3G2、WMV、ASF、AVI、FLV、MKV、ISMV、WEBM、TS

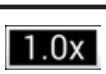
※ DivXには対応していません。
DivX形式のファイルを再生するには、対応している他のアプリをインストールしてください。

1 ホーム画面で → 「ビデオ」

- 本端末／ microSDカードに保存されている動画一覧画面が表示されます。
- 動画一覧画面で ／ ／ をタップして、表示形式を切り替えられます。

2 動画をタップ

- 動画再生画面が表示され、再生が開始されます。

項目	説明
	縦横表示を切り替えます。 • 「画面回転」（P.68）がOFFに設定されている場合に表示されます。
	再生画面を小さくします。他のアプリを操作しながら動画を再生できます。 • 小さい再生画面をドラッグすると、お好みの場所に移動できます。 • 小さい再生画面上でピンチアウト／ピンチインすると、画面サイズを変更できます。 • 小さい再生画面をタップすると、動画を一時停止／再生できます。 • 小さい再生画面をダブルタップすると、再生画面に戻ります。 • 小さい再生画面をタップ → をタップすると、再生を終了します。
	メディアファイル共有機能対応機器と接続して動画を再生します。→ P.384
	音量を調節します。 • をタップすると、SoundAliveを設定できます。
	動画の再生スピードを調節します。 • 再生画面で →「設定」をタップし、「再生スピード」にチェックを付けた場合に表示されます。

項目	説明
／	前のフレーム／次のフレームに移動します。 • 再生画面で → 「設定」をタップし、「キャプチャ」にチェックを付けて、動画を一時停止した場合に表示されます。
	動画から静止画をキャプチャします。キャプチャした画像は、ホーム画面で → 「ギャラリー」アプリで確認できます。 • 再生画面で → 「設定」をタップし、「キャプチャ」にチェックを付けた場合に表示されます。
	現在の再生位置を青いバーで表示します。ドラッグすると再生位置を変更できます。
	動画の再生リストを表示します。
／	タップするとデータの先頭または前のデータ／次のデータにスキップします。ロングタッチすると早戻し／早送りします。
／	再生／一時停止します。
／／／	動画の表示サイズを切り替えます。
	画面をタップしても本端末が動作しないロック状態であることを示します。 • 再生画面で （電源／画面ロックキー）を押すとロック状態のON／OFFを切り替えることができます。

お知らせ

- 再生画面で ⮌ をタップすると「前画面に戻るには、戻るキーをもう一度押してください。」と表示されます。メッセージが表示された状態で ⮌ をタップすると動画一覧画面に戻ります。
- 再生画面で画面左側部分を上下にスクロールすると画面の明るさを調整できます。
- 再生画面で画面右側部分を上下にスクロールすると音量を調整できます。

ビデオのメニュー

動画一覧画面／再生画面で ⋮ ／ ⋮ をタップすると以下の項目が表示されます。

□ 動画一覧画面

項目	説明
選択	チェックを付けてデータを選択し、共有や削除を行います。⋮ をタップすると、編集や詳細の確認などができます。
削除	動画を削除します。
並べ替え	一覧表示の順番を変更します。
次の動画を自動再生	すべての動画を自動的に再生するかどうかを設定します。
近くのデバイスをスキャン※	メディアファイル共有機能対応機器を検出します。

※ Wi-Fi接続しているときに表示されます。

□ 再生画面

項目	説明
スタジオ	スタジオを利用して動画を編集します。
共有	動画をオンラインサービスで共有したり、Bluetooth機能やメールなどで送信します。
削除	再生中のデータを削除します。

項目	説明
Bluetooth経由で聴く	Bluetoothデバイスへ音声を出力します。
字幕（CC）	字幕の選択や設定を行います。
設定	再生スピードやSoundAliveなどの設定を行います。
詳細	データの詳細を表示します。

音楽を再生する

本端末やmicroSDカードに保存してある音楽を再生できます。
再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、楽曲によっては以下のファイル形式であっても再生できない場合があります。

ファイル形式※
MP3、M4A、3GA、AAC、OGG、OGA、WAV、WMA、AMR、AWB、FLAC、ISMA、MID、MIDI、XMF、MXMF、IMY、RTTTL、RTX、OTA

※ AC3には対応していません。
AC3形式のファイルを再生するには、対応している他のアプリをインストールしてください。

1 ホーム画面で → 「ミュージック」

- 初めて起動したときは「プレイリスト」タブが表示されます。

2 画面上部のタブをタップ → 再生したいデータをタップ

- アルバムやアーティストなどが表示された場合は、選択するとデータ一覧画面が表示され、データをタップすると再生が開始されます。
- 音楽の再生中にデータ一覧画面の左下に表示されるジャケット写真をタップすると、再生画面が表示され、以下の操作ができます。

種類	説明
	メディアファイル共有機能対応機器と接続して音楽を再生します。→P.384
	音量を調節します。 • をタップすると、各種音響効果を設定できます。
	シャッフル機能を設定します（シャッフルする／シャッフルしない）。
	プレイリストの「お気に入り」に追加します。
	リピートモードを設定します（全曲リピート／１曲リピート／リピートなし）。
	現在の再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
	データ一覧を表示します。
	再生／一時停止します。
	タップするとデータの先頭または前のデータ／次のデータにスキップします。ロングタッチすると早戻し／早送りします。
	プレイリストに追加します。

お知らせ

- 音楽の再生中に画面ロックを設定しても再生は継続されます。操作する場合は、（ホームキー）／（電源／画面ロックキー）を押してロック画面を表示し、「ミュージック」ウィジェットを利用してください。
- バックグラウンドで音楽を再生している場合は、通知パネルから音楽の再生／一時停止／前後スキップを操作できます。

プレイリストを作成する

1 ホーム画面で → 「ミュージック」→「プレイリスト」タブ

2 「プレイリストを作成」

3 プレイリスト名を入力 →「OK」

4

- 楽曲の一覧が表示されます。

5 追加したい楽曲にチェックを付ける →「完了」

- 作成したプレイリストに楽曲が追加されます。

プレイリストを編集する

1 ホーム画面で → 「ミュージック」→「プレイリスト」タブ

2 編集したいプレイリストをタップ

- プレイリストの内容が表示されます。

3 編集操作を行う

- をタップ→追加したい楽曲にチェックを付ける →「完了」をタップすると、プレイリストに楽曲を追加できます。
- → 「タイトルを編集」をタップすると、プレイリスト名を変更できます。
- 楽曲をロングタッチ → をタップすると、プレイリストから楽曲を削除できます。

ミュージックのメニュー

データー覧画面／再生画面で ／ をタップすると以下の項目が表示されます。

データー覧画面

項目	説明
選択	複数のデータを選択して、プレイリストに追加したり削除したりできます。
削除	楽曲を削除します。
プレイリストを作成	プレイリストを新規作成します。
Bluetooth経由で聴く	Bluetoothデバイスと接続して再生します。
サムネイル表示／リスト表示	楽曲の表示形式を切り替えます。
水平軸を変更	水平軸を変更します。
設定	SoundAliveや再生スピードなどの設定を行います。 • 「スマートボリューム」にチェックを付けた場合、調節された音量より大きく聴こえる場合があります。難聴の原因となるため、大音量で長時間音楽を聴かないようにご注意ください。

※ 利用できる機能は、選択したタブの画面によって異なります。

再生画面

項目	説明
Bluetooth経由で聴く	Bluetoothデバイスと接続して再生します。
着信音に設定	楽曲を「アラーム音」に設定します。設定する楽曲の範囲を「最初から」「自動ピックアップ」から選択します。
設定	SoundAliveや再生スピードなどの設定を行います。 • 「スマートボリューム」をONにした場合、調節された音量より大きく聴こえる場合があります。難聴の原因となるため、大音量で長時間音楽を聴かないようにご注意ください。
詳細	楽曲の詳細情報を表示します。

※ 表示される項目は、再生するファイル形式によって異なります。

GPS ／ナビ

位置情報を有効にする

位置情報を利用するアプリを使用するには、あらかじめGPS機能をONにしておく必要があります。また、Wi-Fi ／モバイルネットワークやモーションセンサーを利用して、より正確に位置情報を検出できるように設定できます。

1 ホーム画面で → 「設定」→「接続」タブ →「位置情報」

2 をタップ →「同意する」→「同意する」

3 「モード」→検出する方法を選択

項目	説明
高精度	GPS、Wi-Fi、モバイルネットワークで現在地を特定します。より正確に現在地を検出できますが、本端末の電池消費量が大きくなります。
省電力	Wi-Fiとモバイルネットワークで現在地を特定します。
GPSのみ	GPSで現在地を特定します。

お知らせ

- 「位置情報履歴」の をタップすると、検出した位置情報の履歴を保存できます。
- 「マイプレイス」をタップすると、位置情報が必要なサービスを利用するためにお気に入りの場所を保存できます。

GPSのご利用にあたって

- システムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用ＧＰＳとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状態が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

Googleマップを利用する

Googleマップを利用して、現在地や別の場所を検索したり、目的地への道案内情報を取得したりできます。

- Googleマップを利用するには、データ接続可能な状態（LTE／3G／GPRS）にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。

Googleマップを開く

1 ホーム画面で「Google」→「マップ」

- 初めて起動したときは「Googleマップへようこそ」画面が表示されるので、内容を確認し、「同意して続行」をタップします。
- 現在地の測位で「位置情報サービスが無効です」と表示された場合は、「設定」をタップして、位置情報サービスを設定してください。

2 検索ボックスに地名などを入力

Googleマップで経路を検索する

車や電車、徒歩でのルート検索を行う場合は、Googleマップの「経路」機能を利用します。

1 ホーム画面で「Google」→「マップ」

2 → 移動方法（ ／ ／ ）のアイコンをタップ

3 「目的地を入力...」欄に地名などを入力

- 出発地を変更する場合は、「現在地」欄をタップして地名などを入力します。

4 経路をタップ

周辺のスポットを検索する

Googleマップを利用して、現在地周辺のお店や施設などを検索できます。

1 ホーム画面で「Google」→「マップ」

2 検索ボックスをタップ → 以降は画面の指示に従って操作する

時計

アラーム、世界時計を利用できます。

1 ホーム画面で → 「時計」

2 画面上部のタブをタップ
- 各機能の画面に切り替わります。

アラームを利用する

1 「アラーム」画面で

2 各項目を設定 → 「保存」

3 アラームを止めるには、 を表示される円の外側までドラッグ
- スヌーズを設定した場合は、 を表示される円の外側までドラッグすると設定した時間の経過後に再度アラームが鳴動します。

お知らせ

- スヌーズとは、いったんアラームを止めてもしばらくするとアラームが鳴るようにする機能です。
- 登録したアラームを削除するには、「アラーム」画面で ⋮ →「削除」→ 削除するアラームにチェックを付ける →「完了」をタップします。アラームをロングタッチ → 🗑 をタップしても削除できます。
- 登録したアラームをOFFにするには、⏰（緑色）／⏰（黄色）をタップして⏰（灰色）にします。
- 本端末をマナーモード（サイレント、バイブ）に設定していても、「アラームの種類」で「サウンド」／「バイブとサウンド」に設定している場合は、アラーム音が鳴ります。

世界時計を利用する

登録した都市／国の日付と時刻を一覧で確認できます。

1 「世界時計」画面で登録する都市をタップ→ ＋

都市名／国名から登録する場合

＋ → 都市名／国名をタップします。

現在地から都市／国を登録する場合

＋ → 📍 → 都市名／国名をタップします。

お知らせ

- 都市／国の一覧画面で検索したい都市名または国名を検索ボックスに入力すると、都市名／国名で検索することができます。
- 都市／国の一覧画面で ⋮ →「タイムゾーン順」をタップすると、都市／国を時差で並び替えて検索することができます。
- 登録した都市／国を削除するには、「世界時計」画面で ⋮ →「選択」→ 削除する都市／国にチェックを付ける → 🗑 をタップします。削除する都市／国をロングタッチ → 🗑 をタップしても削除できます。
- 登録した都市／国にサマータイム設定を変更するには、「世界時計」画面で ⋮ →「選択」→ サマータイムを設定する都市／国にチェックを付ける → ⚙ → 項目を選択します。「自動」に設定した都市／国でサマータイムを実施している場合、または「有効」に設定した場合は、⚙ が表示されます（サマータイムを実施している都市／国でも ⚙ が表示されない場合があります）。

Sプランナー

カレンダーを表示してイベントやタスクを登録できます。また、Googleアカウントを登録すると、Googleカレンダーと同期することもできます。

1 ホーム画面で → 「Sプランナー」

2 をタップ

- Googleカレンダーの同期に関する画面が表示された場合は、内容を確認し、「OK」をタップします。

イベント登録画面

3 「イベント」または「タスク」

4 項目を設定 → 「完了」

電卓

四則演算（＋、－、×、÷）やパーセント計算、関数計算などができます。

1 ホーム画面で → 「電卓」

- 本端末を横向きにすると、関数電卓に切り替わります。「画面回転」（P.68）がOFFに設定されている場合は、 →「関数電卓」をタップすると、関数電卓に切り替えることができます。
- をタップすると履歴が表示されます。
- →「履歴を消去」をタップすると、履歴をすべて消去できます。

ドコモバックアップ

microSDカードへ保存・復元

microSDカードなどの外部記憶媒体を利用して、電話帳、ドコモメールなどのデータの移行やバックアップができます。

- バックアップまたは復元中に本端末のmicroSDカードを取り外さないでください。データが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- バックアップ対象の電話帳は、docomoアカウントの電話帳と本端末に登録されている電話帳です。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- 本端末のメモリ構成上、microSDカードを取り付けていない場合、静止画・動画などのデータは本端末に保存されます。本アプリでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

バックアップする

電話帳、ドコモメール、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

1 ホーム画面で → 「ドコモバックアップ」 →「microSDカードへ保存・復元」

- 初めて起動したときは、アプリケーション・プライバシーポリシーとソフトウェア使用許諾規約が表示されるので、内容を確認し「同意する」にチェックを付け、「利用開始」をタップします。

2 「バックアップ」→ バックアップするデータにチェックを付ける →「バックアップ開始」 →「開始する」

3 ドコモアプリパスワードを入力 →「OK」

- 選択したデータがmicroSDカードに保存されます。

4 「トップに戻る」

バックアップファイルを本端末に復元する

microSDカードにバックアップした電話帳、ドコモメール、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

1 ホーム画面で → 「ドコモバックアップ」 → 「microSDカードへ保存・復元」

2 「復元」 → 復元するデータ種別の「選択」 → 復元するデータにチェックを付ける → 「選択」

3 復元方法を選択 → 「復元開始」 → 「開始する」

- データ種別によっては、復元方法の選択は不要です。
- アカウント選択画面が表示された場合は、復元するアカウントをタップします。

4 ドコモアプリパスワードを入力 → 「OK」

- 選択したデータが本端末に復元されます。

5 「トップに戻る」

Googleアカウントや本端末に登録されている電話帳をdocomoアカウントにコピーする

Googleアカウントの電話帳や、Samsungが提供する「連絡先」アプリで本端末に登録した連絡先をdocomoアカウントにコピーします。

1 ホーム画面で → 「ドコモバックアップ」 → 「microSDカードへ保存・復元」

2 「電話帳アカウントコピー」→ コピーする電話帳の「選択」→「上書き」／「追加」

- コピーしたデータがdocomoアカウントに保存されます。

3 「OK」

データ保管BOXへ保存・復元

音楽のデータをデータ保管BOXを利用してバックアップ・復元します。

バックアップ

1 ホーム画面で → 「ドコモバックアップ」→「データ保管BOXへ保存・復元」

2 「バックアップ」

- ログインしていない場合、確認画面が表示されます。画面の指示に従ってログインしてください。

3 バックアップするデータにチェックを付ける →「バックアップ開始」→「開始する」

4 ドコモアプリパスワードを入力 →「OK」

5 「トップに戻る」

お知らせ

- 定期バックアップ設定は、あらかじめ選択したバックアップ対象データを、毎月自動でデータ保管BOXへバックアップできます。
- 定期バックアップ設定をご利用になる際、パケット通信料が高額になる場合がありますので、ご注意ください。

復元

1 ホーム画面で → 「ドコモバックアップ」 → 「データ保管BOXへ保存・復元」

2 「復元」 → 復元するデータ種別の「選択」 → 復元するデータにチェックを付ける → 「選択」

3 復元方法を選択 → 「復元開始」 → 「開始する」

4 ドコモアプリパスワードを入力 → 「OK」

5 「トップに戻る」

お知らせ

- データ保管BOXから復元する際、データはバックアップ時と同じ保存先に復元されます。機種変更した際など、バックアップ時と異なる保存先に復元される場合があります。

YouTube

YouTubeは無料のオンライン動画ストリーミングサービスです。動画を再生したり投稿したりすることができます。

動画を再生する

1 ホーム画面で「Google」→「YouTube」

2 再生したい動画をタップ
- 動画が再生されます。

辞書

3か国語の辞書（日・英・韓）を利用して語句を検索することができます。
本端末は次の辞書データをダウンロードして利用できます。

- 旺文社英和辞典
- 旺文社和英辞典
- ニューエース韓日辞典
- ニューエース日韓辞典

1 ホーム画面で → 「辞書」
- 初めて起動したときは、辞書データのダウンロード／インストール画面が表示されますので、ダウンロードする辞書にチェックを付けてダウンロードしてください。辞書データのダウンロードには、Wi-Fi環境が必要です。

Sボイス

SMSの送信、スケジュールの作成など、音声入力で本端末の各種機能を操作できます。

Sボイスをご利用になる前に

音声認識を高めるため、以下の点に気をつけてご利用ください。

- 本端末に向かってはっきりと話してください。
- 静かな場所でご利用ください。
- 俗語や方言などは避けてください。

Sボイスを利用する

1 ホーム画面で → 「Sボイス」

- Sボイス画面が表示されます。
- （ホームキー）を2回押しても、Sボイスを起動できます。
- 「ようこそ」画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作方法を確認してください。
- 免責事項やNuanceの利用規約が表示された場合は、内容を確認し、「同意します。」にチェックを付けて「次へ」をタップしてください。

お知らせ

- Sボイスの詳細については、Sボイス画面で → 「ヘルプ」、Sボイスの音声入力の方法については、Sボイス画面で → 「音声入力コマンドの例」／「チュートリアル」をタップしてご覧ください。

SideSync 3.0

SideSync 3.0とは

本端末にスマートフォンの仮想画面を表示し、実際のスマートフォンと同様に操作できます。

- 本端末でメッセージを見たり、スマートフォンのチャットを利用できます。
- スマートフォン上で再生中の動画を、より大きな本端末の画面で見ることができます。
- 本端末とスマートフォンの間で、フォルダ／ファイルをドラッグするだけで簡単に転送できます。

SideSync 3.0をご利用になる前に

- 本端末とスマートフォンは、Wi-Fi Directに対応しているか、または同じアクセスポイントに接続されている必要があります。
- 本端末とスマートフォンの両方にSideSync 3.0をインストールしてください。

  インストールされていない場合は、GALAXY AppsやGoogle Playからダウンロードしてください。
- SideSync 3.0は、OSバージョンがAndroid 4.4以上の端末でのみ動作します。

SydeSync 3.0を利用する

1 本端末のホーム画面で → 「SideSync 3.0」

2 以降、画面の指示に従って操作

お知らせ

- SideSync 3.0の詳細については、SideSync 3.0画面で ⋮ →「ヘルプ」をタップしてください。

本体設定

設定メニュー

画面の明るさや表示方法、通知音、通信などさまざまな設定を行うことができます。

1 ホーム画面で → 「設定」

2 メニュー項目を選択して設定を行う

お知らせ

- をタップして検索したいキーワードを検索ボックスに入力すると、本体設定内を検索し、設定内容を確認できます。

接続

ワイヤレスネットワーク接続の設定をします。

項目		説明
Wi-Fi		→ P.292
Bluetooth		→ P.372
テザリング		→ P.301
機内モード		→ P.306
通信制限モード		→ P.306
ハイブリッドダウンロード		→ P.307
データ使用量		→ P.307
位置情報		→ P.269
その他ネットワーク	標準メッセージアプリ	標準メッセージアプリとして「SMS」／「ハングアウト」のどちらを使用するかを設定します。
	モバイルネットワーク	モバイルデータやデータローミング、アクセスポイント(APN)、ネットワークモード、ネットワークオペレーターを設定します。
	VPN	→ P.311

項目		説明
その他ネットワーク	イーサネット	イーサネットネットワークへの接続やイーサネットデバイスを設定します。microUSB-LAN変換アダプタ（市販品）を使用してイーサネットケーブルを接続すると、設定できます。
近くのデバイス		→ P.385
印刷		→ P.383
Screen Mirroring		対応機器※と本端末の画面を共有します。 • HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）機能をサポートしない対応機器とは接続できない場合があります。 • ネットワーク接続や相手機器の状態によっては、再生が中断される場合があります。 • 特定の周波数帯の Wi-Fi ネットワークを使用する場合、対応機器を検索できない場合があります。

※ Miracast認証を受けた機器の場合、Screen Mirroring機能に対応します。

Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワークの無線アクセスポイントに接続できます。また、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

■ Bluetooth機能との電波干渉について

本端末の無線LANとBluetooth機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、無線LANとBluetooth機能を近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。

1. 無線LANとBluetoothデバイスは、約20m以上離してください。
2. 約20m以内で使用する場合は、Bluetoothデバイスの電源を切ってください。

お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的にLTE/3G/GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用になる場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
- ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合はdocomo IDの設定が必要です。ホーム画面で → 「設定」→「デバイス」タブ →「ドコモのサービス／クラウド」→「docomo ID設定」をタップして設定します。
- Wi-Fi機能をONにしなくても位置情報の検出を行うことができます。ホーム画面で →「設定」→「接続」タブ →「Wi-Fi」をタップし、 →「詳細設定」→「スキャンを常に許可」のチェックを付けます。

■ Wi-Fiを有効にしてネットワークに接続する

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「接続」 タブ → 「Wi-Fi」

2 をタップ

- 利用可能なWi-Fiネットワークのスキャンが自動的に開始され、一覧表示されます。

3 接続したいWi-Fiネットワークをタップ → 「接続」

- セキュリティで保護されているWi-Fiネットワークに接続する場合は、パスワード（セキュリティキー）を入力し、「接続」をタップします。

WPSを利用して接続する場合

「WPS利用可能」と表示されているWi-Fiネットワークは、WPS（Wi-Fi Protected Setup）を利用して接続できます。Wi-Fiネットワークの一覧画面で → 「WPSプッシュボタン」／「WPS PINエントリ」→ アクセスポイント側で操作を行います。

お知らせ

- 一度接続したWi-Fiネットワークのパスワード（セキュリティキー）は自動的に保存され、次回の接続時の入力は不要になります。

■ Wi-Fiオープンネットワークを通知する

利用可能なオープンネットワークが近くに存在している場合に通知するかどうかを設定します。

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「接続」タブ → 「Wi-Fi」

2 → 「詳細設定」

3 「ネットワーク通知」にチェックを付ける

■ Wi-Fiネットワークの接続を解除する

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「接続」タブ → 「Wi-Fi」

2 接続中のWi-Fiネットワークをタップ → 「削除」／「切断」

■ Wi-Fiアクセスポイントを設定する

- 接続に必要な情報は、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。社内LANに接続する場合や公衆無線LANサービスをご利用の場合は、接続に必要な情報をネットワーク管理者またはサービス提供者から入手してください。
- 無線LANアクセスポイントが、MACアドレスを登録している機器のみと接続するように設定されているときは、本端末のMACアドレスを無線LANアクセスポイントに登録してください。MACアドレスは、ホーム画面で → 「設定」 → 「接続」タブ → 「Wi-Fi」 → → 「詳細設定」をタップすると確認できます。また、現在接続している無線LANアクセスポイントのIPアドレスも確認できます。

1 ホーム画面で → 「設定」→「接続」タブ →「Wi-Fi」

2 「Wi-Fiネットワークを追加」

3 ネットワークSSIDを入力 → セキュリティ（認証方法）を設定
- 利用可能な認証方法は「WEP」「WPA/WPA2/FT PSK」「802.1x EAP」です。

4 パスワードを入力 →「接続」
- セキュリティを「なし」に設定した場合は、パスワードの入力は不要です。

■Passpoint対応のアクセスポイントに自動接続する

Wi-Fiアクセスポイントを設定することなく、Passpoint対応のWi-Fiアクセスポイントのエリアになったときに、Passpoint対応のWi-Fiアクセスポイントへ自動的に接続させるかどうかを設定します。

1 ホーム画面で → 「設定」→「接続」タブ →「Wi-Fi」

2 → 「詳細設定」

3 「Passpoint」にチェックを付ける

■ Wi-Fiネットワークを並べ替える

本端末がスキャンしたWi-Fiネットワークの一覧を並べ替えます。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」タブ →「Wi-Fi」

2 ⋮ →「詳細設定」

3 「並べ替え」→「アルファベット順」／「電波強度」

- Wi-Fiネットワークの一覧をアルファベットの昇順／受信信号強度（RSSI）の降順で並べ替えます。

■ Wi-Fiのスリープ設定をする

本端末の画面の表示が消えたときにWi-Fiを無効にしたり、充電時には常に有効になるように設定したりできます。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」タブ →「Wi-Fi」

2 ⋮ →「詳細設定」

3 「スリープ中でもWi-Fi接続を維持」→ スリープ設定を選択

お知らせ

- スリープ設定を「充電時のみON」または「常にOFF（データ使用量が増加）」に設定した場合、本機能の設定によりWi-Fiが無効になると自動的にモバイルネットワークに切り替わるため、パケット通信料が高額になる場合があります。モバイルネットワークに切り替えない場合は、「常にON」に設定してください。

■ スマートネットワーク切り替えを設定する

接続したWi-Fiネットワークがインターネット接続できるかを確認し、接続できない場合は自動的にモバイルネットワークに切り替えるかどうかを設定します。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」タブ →「Wi-Fi」

2 「スマートネットワーク切り替え」にチェックを付ける

お知らせ

- 「スマートネットワーク切り替え」にチェックを付けた状態で、無線LAN内蔵メモリカードなどのインターネットに接続しないアクセスポイントとのWi-Fi接続が切断される場合は、「スマートネットワーク切り替え」のチェックを外してください。

■ Wi-Fiタイマーを設定する

Wi-Fiネットワークへの自動接続／切断を設定します。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」タブ →「Wi-Fi」

2 ⋮ →「詳細設定」

3 「Wi-Fiタイマー」

4 「開始時刻を設定」／「終了時刻を設定」にチェックを付ける

- 自動接続を設定する場合は「開始時刻を設定」に、自動切断を設定する場合は「終了時刻を設定」にチェックを付けます。

5 開始時刻／終了時刻を設定 →「完了」

■ 静的IPアドレスを使用する

静的IPアドレスを使用してWi-Fiネットワークに接続するように本端末を設定できます。

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「接続」 タブ → 「Wi-Fi」

2 接続するWi-Fiネットワークをタップ → 「拡張オプションを表示」 にチェックを付ける

3 「IP設定」 欄をタップ → 「静的」

4 必要な項目を設定

- 静的IPアドレスを使用するには、以下の項目を入力する必要があります。
  - IPアドレス
  - ゲートウェイ
  - ネットワークプレフィックス長
  - DNS 1 ／ DNS 2

5 「接続」

■ Wi-Fi Directを利用する

Wi-Fi Direct対応デバイス同士を接続し、データのやりとりができます。

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「接続」タブ → 「Wi-Fi」

2 「Wi-Fi Direct」

3 検索されたデバイス名をタップ

- 検索されたデバイス側で接続を承認すると、Wi-Fi Directで接続し、ステータスバーに が表示されます。
- 「スキャン」をタップして、デバイスの検索結果を更新することができます。

複数のデバイスと接続する場合

「複数接続」→ 接続するデバイスにチェックを付ける →「完了」をタップします。

■ Wi-Fi Directの接続を解除する

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「接続」タブ → 「Wi-Fi」

2 「Wi-Fi Direct」

3 「接続終了」 →「OK」

テザリングを利用する

テザリングとは一般に、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、無線LAN対応機器、USB対応機器、Bluetooth対応機器をインターネットに接続させる機能です。

- Wi-Fiテザリングをご利用の場合は最大10台、USBテザリングをご利用の場合は1台、Bluetoothテザリングをご利用の場合は最大3台の機器を同時接続できます。また、Wi-Fiテザリング、USBテザリング、Bluetoothテザリングを同時にご利用の場合は、合計14台を同時接続できます。

■ Wi-Fiテザリングを設定する

本端末をインターネットアクセスポイントとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに10台まで同時接続させることができます。

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「接続」 タブ → 「テザリング」 → 「Wi-Fiテザリング」

2 をタップ

3 注意事項の詳細を確認 → 「OK」 → 「OK」

■Wi-Fiテザリングのアクセスポイントを設定する

1 ホーム画面で → 「設定」→「接続」タブ →「テザリング」→「Wi-Fiテザリング」

2 をタップ

3 注意事項の詳細を確認 →「OK」→「OK」

4 をタップ

5 「ネットワークSSID」欄にネットワークSSIDを入力

- あらかじめ「AndroidAP」が設定されています。

6 「セキュリティ」

- 「オープン」「WPA2 PSK」から適切なものを選択します。

7 「パスワード」欄をタップ → パスワードを入力

- 「セキュリティ」を「オープン」に設定した場合は、パスワードの入力は不要です。

8 「保存」

お知らせ

- お買い上げの状態では、セキュリティは「WPA2 PSK」に設定されています。
- Wi-Fiテザリングが接続されている状態で、Wi-Fiテザリング画面で ⚙ →「マイデバイスを非表示」にチェックを付ける →「保存」をタップすると、接続されている無線ＬＡＮ対応機器の接続が一時解除されますが、自動で再接続されます。
- 「マイデバイスを非表示」にチェックを付けると、本端末はスキャンできなくなります。他の機器から接続する場合は、Wi-Fiテザリング画面の「他のデバイスからの接続方法」に表示される情報を確認して、手動でWi-Fiアクセスポイントの設定を行ってください。
- Wi-Fiテザリングが接続されている状態で、Wi-Fiテザリング画面で ⋮ →「WPSプッシュボタン」をタップすると、接続している機種側でWPSボタンを押して接続できます。また、Wi-Fiテザリング画面で ⋮ →「タイムアウト設定」をタップすると、接続しているデバイスがない場合に、時間を決めて自動的にWi-Fiテザリングを無効にできます。

■USBテザリングを設定する

本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01（別売）で接続し、インターネットに接続することができます。

- USBテザリングを行うには、専用のドライバをパソコンにインストールする必要があります。専用のドライバのダウンロードやその他詳細については、以下のホームページをご覧ください。
  ＜パソコンから＞
  http://www.samsung.com/jp/support/usefulsoftware/KIES/JSP

1 本端末の外部接続端子に、microUSB接続ケーブル 01のmicroUSBプラグを差し込む

- 接続方法については、「microUSB接続ケーブルで接続する」（P.379）をご参照ください。

2 パソコンのUSBコネクタに、microUSB接続ケーブル 01のUSBプラグを差し込む

3 ホーム画面で → 「設定」→「接続」タブ →「テザリング」→「USBテザリング」

4 注意事項の詳細を確認 →「OK」

お知らせ

- USBテザリング中はmicroSDカードをパソコンに接続できません。
- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境（OS）は以下のとおりです。なお、OSのアップグレードや追加／変更した環境での動作は保証いたしかねます。
  - Windows Vista
  - Windows 7
  - Windows 8
  - Windows 8.1

■ Bluetoothテザリングを設定する

本端末をインターネットアクセスポイントとして利用し、Bluetooth対応機器をインターネットに3台まで同時接続させることができます。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」タブ →「テザリング」→「Bluetoothテザリング」

2 注意事項の詳細を確認 →「OK」

お知らせ

- Bluetoothテザリング機能を利用するには本端末を検出可能にする必要があります。詳細については、「Bluetooth機能を有効にして本端末を検出可能にする」（P.374）をご参照ください。

機内モード

すべてのワイヤレス接続を無効にします。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」タブ →「機内モード」

2 ○ をタップ →「有効」

お知らせ

- ⏻（電源／画面ロックキー）を1秒以上押して表示される端末オプション画面で「機内モード」→「有効」をタップしても設定を切り替えることができます。
- 「機内モード」を有効にするとWi-Fiや Bluetooth などの機能がOFFになりますが、機内モード中に再びONにすることができます。

通信制限モード

すべてのアプリでネットワーク接続を無効にします。SMSの受信のみ可能になります。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」タブ →「通信制限モード」

2 ○ をタップ

お知らせ

- 通知パネルからも通信制限モードのON／OFFの設定ができます（P.111）。
- 「通信制限モード」をONにするとWi-Fi接続をすることができません。

ハイブリッドダウンロード

Wi-FiとLTEネットワークを同時に使用することで、容量が大きいファイル（30MB超）をより速くダウンロードできるように設定します。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」タブ →「ハイブリッドダウンロード」

2 をタップ →「有効」

データ使用量

モバイルデータ通信の有効／無効の設定や、データ使用量の上限を設定します。データ使用量を測定する期間の設定もできます。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」タブ →「データ使用量」

- データ使用量画面が表示され、期間ごとやアプリごとのモバイルデータ通信使用量（目安）が表示されます。
- 「モバイルデータ」にチェックを付けると、モバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にできます。
- グラフ上でモバイルデータ通信使用量の制限や警告を行う使用量の設定ができます。使用量の制限は、「モバイルデータ制限を設定」にチェックを付けているときのみ設定できます。

データローミングを有効にする場合

ローミング中にモバイルデータ通信を使用できます。
データ使用量画面で ⋮ →「データローミング」にチェックを付ける →「OK」をタップします。

バックグラウンドデータを制限する場合

アプリが自動的に行うデータ通信を制限できます。
データ使用量画面で ⋮ →「バックグラウンドデータを制限」にチェックを付ける →「OK」をタップします。

データの自動同期をOFFにする場合

設定したアカウントが自動的に同期をしないように設定できます。
データ使用量画面で ⋮ →「データを自動同期」のチェックを外す →「OK」をタップします。

Wi-Fiの使用状況を表示する

期間ごとやアプリごとのWi-Fi使用量（目安）が表示されます。
データ使用量画面で ⋮ →「Wi-Fi使用状況」にチェックを付ける →「Wi-Fi」タブをタップします。

Wi-Fiテザリングの利用を制限する場合

バックグラウンドアプリが、特定のWi-Fiネットワークを利用できないように設定できます。
データ使用量画面で ⋮ →「Wi-Fiテザリング」→ 利用を制限するWi-Fiネットワークにチェックを付けます。

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
mopera U、ビジネスmoperaインターネットをご利用する際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。
mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

■利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面で → 「設定」→「接続」タブ →「その他ネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「APN」

■アクセスポイントを追加で設定する

1 ホーム画面で → 「設定」→「接続」タブ →「その他ネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「APN」→「新規APN」

2 「名前」→ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 →「OK」

3 「APN」→ アクセスポイント名を入力 →「OK」

4 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力

- 「携帯国番号」を440、「通信事業者コード」を10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

5 → 「保存」

お知らせ

- 携帯国番号、通信事業者コードの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、アクセスポイントを初期化するか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

■ アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 **ホーム画面で → 「設定」 → 「接続」タブ → 「その他ネットワーク」 → 「モバイルネットワーク」 → 「APN」**

2 **→ 「初期値にリセット」**

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、iモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

VPN（Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。

- 本端末からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

■ VPNを追加する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」タブ →「その他ネットワーク」→「VPN」

- 注意画面が表示された場合は、「OK」をタップし、画面の指示に従って画面ロック解除方法を設定します。

2 ＋ をタップ

VPNを編集する場合

編集するVPNをロングタッチ →「ネットワークを編集」→ 各項目を編集 →「保存」をタップします。

VPNを削除する場合

削除するVPNをロングタッチ →「ネットワークを削除」をタップします。

3 ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を設定

4 「保存」

■ VPNに接続する

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「接続」 タブ → 「その他ネットワーク」 → 「VPN」

2 接続したいVPNをタップ

3 必要な認証情報を入力 → 「接続」

- ステータスバーに が表示されます。

■ VPNを切断する

1 通知パネルを開く → VPN接続中を示す通知をタップ

2 「切断」

デバイス

項目		説明
サウンド	サウンドモード	サウンド、バイブ、サイレントから選択します。
	音量	→ P.323
	バイブの強度設定	バイブレーションの強度を設定します。
	通知音	→ P.324
	タッチ操作音	▭ や ⮌、メニュー項目をタップしたときの操作音のON／OFFを設定します。
	画面ロック音	画面ロック／ロック解除時の音のON／OFFを設定します。
	GPS通知	GPS起動時の音のON／OFFを設定します。
	タッチ操作バイブ	▭ や ⮌ などをタップしたときのバイブレーションのON／OFFを設定します。

項目		説明
サウンド	SMS	SMS受信時の通知のON／OFF、お知らせ時の通知音、バイブのON／OFF、メッセージ通知の繰り返しのON／OFFを設定します。
	Eメール	Eメール受信時の通知のON／OFF、通知音、バイブのON／OFFを設定します。
	Sプランナー	イベント通知のタイプ、通知音、バイブのON／OFFを設定します。
ディスプレイ	フォント	アプリの画面に表示されるフォントや文字のサイズを設定します。
	明るさ	→ P.324
	画面回転	本端末の向きに合わせて縦横表示を自動的に切り替えます。
	スマートステイ	画面を見ている間は表示が消えないように設定します。
	画面のタイムアウト	画面の表示が消えるまでの時間を設定します。 • 設定時間が近づくと画面が少し暗くなります。

項目		説明
ディスプレイ	画面モード	画面のコントラストを設定します。
	読書モード	画面を読書用に最適化します。一部のアプリでのみ使用できます。
	画面トーンの自動調整	表示されている画像に応じて画面のトーンを調整し、電池の消耗を抑えます。
	スクリーンセーバー	→ P.325
	タッチキーライト消灯時間	タッチキーライトの消灯時間を設定します。

項目		説明
ディスプレイ	高感度タッチ操作	手袋をはめた状態でタッチ操作ができるようにタッチ操作感度を高めます。 • 革の手袋を利用すると、タッチ操作の認識率を高めることができます。他の素材の手袋を利用した場合は、一部の機能が円滑に動作しない場合があります。 • 本機能をONにして初めての操作を行う際は、最初のタッチ操作でディスプレイを長めにタップすると、以降の操作の認識率を高めることができます。 • 本機能をONにして、手袋をはめずにタッチ操作を行うと、意図しない操作が実行される場合があります。

項目		説明
壁紙		壁紙を設定します。 ホーム画面：ホーム画面の壁紙を選択します。 ロック画面：ロック画面の壁紙を選択します。 ホーム画面とロック画面：ホーム画面とロック画面の壁紙を選択します。
ロック画面 ※1	画面ロック	→ P.326
	ロック画面カード	ロック画面に最新情報を表示するように設定します。
	パターンの種類	ロック解除パターンの表示を変更できます。
	時計ウィジェットオプション	→ P.328
	ショートカット	ロック画面に表示するショートカットを設定します。
	オーナー情報	ロック画面にオーナー情報を表示するかどうかを設定します。また、表示するオーナー情報を入力します。
	パターンを表示	ロック画面でパターン入力時に入力したパターンを表示するかどうかを設定します。

項目		説明
ロック画面 ※1	バイブフィードバック	正しくないロック解除パターンが入力されると端末が振動します。
	自動的にロック	画面がOFFになってから画面ロックするまでの時間を設定できます。
	電源キーですぐにロック	⏻（電源／画面ロックキー）を押した際に画面ロックするかどうかを設定します。
	ロック解除エフェクト	ロック解除時のエフェクトを設定します。 • ロック画面にライブ壁紙を使用している場合、本設定は動作しません。
	ヘルプ	ロック画面にヘルプテキストを表示します。
	自動ロック解除	画面ロックに「スワイプ／タッチ」を設定している場合に、GALAXY Tab S Book Cover 8.4（市販品）を開いて画面のロックを解除します。

項目		説明
マルチウィンドウ	マルチウィンドウ表示で開く	マイファイルやビデオからファイルを開くか、E メールやメッセージの添付ファイルを開くと、自動的にマルチウィンドウでコンテンツを表示するように設定します。→ P.116
通知パネル		通知パネルに表示されるクイック設定ボタンの選択や並び順を変更します。
ツールボックス		画面上を自由に移動できるツールボックスを表示します。ツールボックスには最大５件のショートカット（フローティングショートカット）を登録できます。
モーション		→ P.64
ドコモのサービス／クラウド※2※3	docomo ID設定	ドコモアプリで利用するdocomo IDを設定します。
	ドコモクラウド	ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウド設定を行います。
	ドコモアプリ管理	定期アップデート確認などを設定します。

項目		説明
ドコモのサービス／クラウド※2※3	ドコモアプリパスワード	ドコモアプリで利用するパスワードを設定します。 • お買い上げ時は「0000」に設定されています。
	オートGPS	オートGPSの設定や、測位した場所の履歴を表示します。
	ドコモ位置情報	イマドコサーチ／イマドコかんたんサーチ／ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能を設定します。
	遠隔初期化	遠隔操作による端末内データなどを初期化するサービスを利用するための設定を行います。
	プロフィール設定	ドコモの各種サービスで利用するお客様のプロフィール情報を、確認・変更できます。
	USBデバッグ切替	ドコモショップなどの専用端末を利用するための設定を行います。
	オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。

項目	説明
ホーム切替	ホーム画面をdocomo LIVE UXまたはTouchWiz標準ホームに設定します。
ユーザー補助	→ P.329
ブロックモード	→ P.334
プライベートモード	パーソナルコンテンツを非表示にします。 • このモードを使用するには、ロック解除方法を選択します。
指紋スキャナー	→ P.73

※1 表示される項目は、画面ロックの設定によって異なります。また、「ホーム切替」の設定によっては、設定を変更できない場合や、変更が反映されない場合があります。

※2 ドコモサービスで表示されるアプリの中には無効化設定できるものがあり、無効化設定されたアプリは、ドコモサービスの一覧には表示されなくなる場合があります。

※3 新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすることで、ドコモサービスの一覧に項目が追加表示される場合があります。

本端末から鳴る音を消す

マナーモード（サイレント、バイブ）に設定すると、通知音などが鳴らなくなります。

1 **（電源／画面ロックキー）を１秒以上押す**

- 端末オプション画面が表示されます。

2 **「サイレント」／「バイブ」**

- 「サイレント」に設定すると、ステータスバーに が表示されます。
- 「バイブ」に設定すると、ステータスバーに が表示されます。

お知らせ

- マナーモード（サイレント、バイブ）設定中に「音量」の「通知」（P.323）を変更すると、マナーモード（サイレント、バイブ）が解除されます。

各種音量を調節する

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「デバイス」タブ → 「サウンド」 → 「音量」

- 音量バーが表示されます。

項目	説明
音楽、動画、ゲーム、およびその他のメディア	音楽などの再生音量を調節します。
通知	通知（P.111）があったときの通知音量を調節します。
システム	タッチ操作音や画面ロック／ロック解除時、GPS起動時の音の音量を調節します。

2 各音量の を左右にドラッグ → 「OK」

■ 音量キーで音量を調節する

1 音量キーを押す

通知を音や振動で知らせる

通知時に鳴らす通知音のメロディなどを設定したり、本端末を振動させるかどうかを設定します。

■ 通知音を設定する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「デバイス」タブ →「サウンド」→「通知音」

2 設定したい通知音をタップ →「完了」
- 「サイレント」を選択すると、通知音は鳴りません。

■ バイブレーションの強弱を調節する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「デバイス」タブ →「サウンド」→「バイブの強度設定」

2 「通知」／「アプリ、タッチ操作」の ● を左右にドラッグ →「OK」

ディスプレイの明るさを調整する

お買い上げ時、ディスプレイの明るさは周囲の明るさにあわせて自動的に調整されるように設定されています。手動で調整する場合は、以下の操作を行います。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「デバイス」タブ →「ディスプレイ」→「明るさ」→「明るさの自動調整」のチェックを外す

2 「明るさレベル」の ● を左右にドラッグ →「OK」

お知らせ

- 本端末の温度が高い場合、過熱を防ぐために最大の明るさに設定することができません。

スクリーンセーバー

充電中に表示するスクリーンセーバーのON／OFF、種類を設定します。

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「デバイス」タブ → 「ディスプレイ」 → 「スクリーンセーバー」

2 をタップ

3 「Flipboard」／「Googleフォト」／「デスクホーム画面」／「フォトテーブル」／「フォトフレーム」／「色」

- 「Flipboard」を選択した場合は、 をタップし、新しいアイテムを自動でダウンロードするタイミングを設定してください。
- 「Googleフォト」／「フォトテーブル」／「フォトフレーム」を選択した場合は、 をタップし、表示する画像が保存されているフォルダにチェックを付ける → をタップしてください。
- 「デスクホーム画面」を選択した場合は、 をタップし、表示するアイテムや表示位置を選択してください。

画面ロックの解除方法を設定する

画面ロックの解除時に、あらかじめ設定しておいたロック解除パターンやPIN、パスワードをタッチスクリーンで入力したり、指紋認証などをしなければならないように設定できます。

1 ホーム画面で → 「設定」→「デバイス」タブ →「ロック画面」→「画面ロック」

2 画面ロックの解除方法を選択 → 画面の指示に従って入力

- 「PIN」は4～16桁の数字、「パスワード」はアルファベットを含む4～16桁の文字で設定してください。

お知らせ

- 画面ロックをOFFにするには、ホーム画面で → 「設定」→「デバイス」タブ →「ロック画面」→「画面ロック」→ 設定した解除方法を入力 →「なし」をタップします。
- 解除パターンやPIN、パスワードの入力、または指紋の認証に5回失敗すると、30秒後に再度実行するようメッセージが表示されます。
  解除パターンを忘れた場合は、再入力の画面で「バックアップPIN」をタップしてパターン設定時に入力したバックアップPINを入力します。なお、Googleアカウントを設定していると「パターンを忘れた場合」が表示され、タップしてGoogleアカウントにサインインすると画面ロックを解除できます。
  - PINやパスワード、バックアップPINを忘れた場合は、パソコンからFind My Mobile（デバイスリモート追跡）のホームページにアクセスし、「画面のロック解除」を実行すると画面ロックを解除できます。詳細については、Find My Mobile（デバイスリモート追跡）のホームページをご参照ください。→ P.345
  - 指紋が正しく認証されない場合は、「バックアップパスワードを入力」をタップして、指紋登録時に入力したバックアップパスワードを入力しても、画面ロックを解除することができます。

ロック画面に時計ウィジェットを表示する

ロック画面に表示する情報を設定できます。

1 ホーム画面で → 「設定」→「デバイス」タブ →「ロック画面」→「時計ウィジェットオプション」

2 項目を設定

項目	説明
デュアル時計	ローミング時、ロック画面にデュアル時計を表示するかどうかを設定します。
時計のサイズ	ロック画面に表示される時計の大きさを設定します。
日付を表示	ロック画面に日付を表示するかどうかを設定します。

ユーザー補助

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「デバイス」タブ →「ユーザー補助」

2 項目を設定

項目		説明
視覚	TalkBack	ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助サービスを有効にします。
	画面の情報を保護	プライバシー保護のため、画面を常にOFFの状態にします。 • 「TalkBack」をONにすると設定できます。 • ⏻（電源／画面ロックキー）を2回押して本機能の有効／無効を切り替えられます。
	高速キー入力	指を離すと選択した文字を入力するように設定できます。 • 「TalkBack」をONにすると設定できます。
	パスワードの音声出力	TalkBackを利用して、入力したパスワードを音声で読み上げるかどうかを設定します。 • 「TalkBack」をONにすると設定できます。

項目		説明
視覚	文字サイズ	画面の文字サイズを設定します。
	拡大ジェスチャー	画面の拡大操作を設定します。
	通知リマインダー	SMSやEメールなどの未読通知があるときにビープ音を鳴らすかどうかとその通知間隔を設定します。
	ネガポジ反転	画面のカラーを反転します。
	色の調整	色覚テストを行い、ディスプレイ表示を最適な色に調整します。
	ユーザー補助ショートカット	簡単な操作でTalkBackを利用できるようにするかどうかを設定します。 • ⏻（電源／画面ロックキー）を1秒以上押して端末オプション画面を表示し、2本の指で画面をロングタッチし続けるとTalkBackを利用できるようになります。
	音声読み上げオプション	テキストを読み上げるための音声合成エンジンの設定や、読み上げ速度などを設定します。

項目		説明
聴覚	全ての音をOFF	すべての音をOFFに設定します。
	Samsung字幕（CC）	字幕の表示方法を設定・確認します。
	Google字幕（CC）	
	サウンドバランス	イヤホンを使用してメディアプレイヤーで音楽を聴くときのサウンドバランスを設定します。
	モノラル再生	片方のイヤホンだけで聴きやすくするために、オーディオをモノラルに変更します。

項目		説明
操作と制御	アシスタントメニュー	アシスタントメニューを表示します。
	長押しの調整	タッチパネルがロングタッチを感知する時間を設定します。
	入力操作制御	タッチ操作をブロックする範囲を設定します。 • 本機能を有効にして動作を設定するには、音量キーの下側と（ホームキー）を同時に長押しし、画面の指示に従って操作してください。 • 「マルチウィンドウ」（P.319）がONの場合は、本機能を有効にできません。 • 本機能を有効にすると、「画面回転」（P.68）が自動的にOFFになります。
ダイレクトアクセス		（ホームキー）をすばやく3回押してユーザー補助機能を設定／解除できるようにします。
シングルタップモード		アラームの停止／スヌーズなどの動作を、ドラッグの代わりにタップ操作で行うかどうかを設定します。

項目	説明
ユーザー補助を管理	インポート／エクスポート：ユーザー補助設定をファイルとして保存（エクスポート）したり、保存済みファイルをインポートしてユーザー補助設定を更新したりします。 共有：ユーザー補助設定ファイルをオンラインサービスで共有したり、Bluetooth 機能やメールなどで送信したりします。

お知らせ

- Google Playから、ユーザー補助サービスに対応するアプリをダウンロードして設定することもできます。
- 「TalkBack」の使用を許可すると、クレジットカード番号などの個人情報、ユーザーインターフェイスでのやりとりなども記録されますので、ご注意ください。万が一、登録されたデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 「TalkBack」の使用を許可すると、タッチガイド機能も有効になります。タッチガイドとは、指の位置にあるアイテムの説明を読み上げたり表示したりする機能です。タッチガイド機能をONにすると、項目の選択は一度タップして選択してからダブルタップ、スクロールは２本の指での操作になります。
- ホーム画面がdocomo LIVE UXのときに、「TalkBack」が正常に動作しないことがあります。

ブロックモード

通知やアラーム、タイマーを無効に設定できます。

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「デバイス」タブ → 「ブロックモード」

2 をタップ

3 項目を設定

項目	説明
通知を無効化	設定した時刻の間、通知音やバイブレーションが鳴動しないようにします。
アラーム無効	設定した時刻の間、アラーム音やバイブレーションは鳴動せず、アラームの画面のみ表示されます。
常にON	常にブロックモードを設定するかどうかを設定します。
開始	ブロックモードを設定する開始時刻を設定します。
終了	ブロックモードを設定する終了時刻を設定します。

一般

項目		説明
アカウント		→ P.344
Samsungクラウド		Samsungクラウドサービスのアカウント設定やメモリ使用状況の確認、同期設定などができます。
バックアップとリセット	データのバックアップ	Googleアプリの設定やデータなどをGoogleサーバーにバックアップします。
	バックアップアカウント	バックアップするアカウントを設定します。
	自動復元	アプリの再インストール時に、バックアップした設定およびデータを復元します。

項目		説明
バックアップとリセット	工場出荷状態に初期化	本端末をお買い上げ時の状態にリセットします。 • microSDカードに保存されているデータは削除されません。削除する場合は、「外部SDカードを初期化」（P.365）を行います。 • microSDカードに保存されているデータを暗号化している場合は、暗号化を解除してから（P.340）、本端末の初期化を行ってください。暗号化したデータが使用できなくなります。
言語と文字入力	言語	使用する言語を設定します。
	標準	入力方法を設定します。
	Samsung日本語キーパッド	→ P.84
	ドコモ文字編集	→ P.90
	Google音声入力	→ P.91

項目		説明
言語と文字入力	音声検索	音声検索時に使用する言語などを設定します。
	音声読み上げオプション	テキストを読み上げるための音声合成エンジンの設定や、読み上げ速度などを設定します。
	ポインター速度	マウス／トラックパッド使用時のポインターの速度を設定します。
日付と時刻	自動日時設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を基にして、自動的に補正します。お買い上げ時は自動的に補正されるように設定されています。
	日付設定※1	日付を設定します。 • 日付を手動で設定するには、「自動日時設定」のチェックを外してから設定を行います。
	時刻設定※1	時刻を設定します。 • 時刻を手動で設定するには、「自動日時設定」のチェックを外してから設定を行います。
	自動タイムゾーン	自動でタイムゾーンを設定します。

項目		説明
日付と時刻	タイムゾーンを選択	タイムゾーンを設定します。 • タイムゾーンを手動で設定するには、「自動タイムゾーン」のチェックを外してから設定を行います。
	24時間形式を使用	時刻を24時間表記に切り替えます。
	日付の表示形式を選択	年月日の表記方法を切り替えます。
アクセサリ	オーディオ出力	HDMI接続をしたときのオーディオ出力を設定します。
	自動ロック解除	画面ロックに「スワイプ／タッチ」を設定している場合に、GALAXY Tab S Book Cover 8.4（市販品）を開いて画面のロックを解除します。
バッテリー		内蔵電池の総使用時間、使用アイテムおよび割合を表示します。
省電力		→ P.348
ストレージ		→ P.349

項目		説明
セキュリティ	デバイス管理機能	デバイス管理機能を有効にするかどうかを設定します。
	提供元不明のアプリ	Google Playで提供されるアプリ以外のアプリのインストールを許可するかどうかを設定します。
	アプリを確認	有害と思われるアプリをインストールする前に、インストールを許可しない、または警告を表示するようにするかどうかを設定します。
	端末を暗号化※2	本端末内のデータ(アプリ、ファイルなど)を暗号化します。暗号化を行うと、本端末の電源を入れるたびにパスワードの入力が必要になります。 • 端末の暗号化には時間がかかります。十分に充電された状態で充電しながら開始し、暗号化が完了するまで本端末の充電を継続してください。 • 暗号化を解除する場合は、ホーム画面で → 「設定」→「一般」タブ →「セキュリティ」→「端末を復号」をタップし、画面の指示に従って操作してください。

項目		説明
セキュリティ	外部SDカードを暗号化※2	microSDカードに保存されているデータを暗号化し、他の端末やパソコンで使用できないようにします。 • 暗号化を解除する場合は、ホーム画面で → 「設定」→「一般」タブ →「セキュリティ」→「外部SDカードを暗号化」→「無効」をタップし、画面の指示に従って操作してください。
	リモートコントロール	データの削除や端末の追跡ができます。詳細については、Find My Mobile（デバイスリモート追跡）のホームページをご参照ください。 → P.345
	SIM変更アラート	ドコモminiUIMカードが差し替えられたときに他の携帯電話にSMSを送信します。→ P.356
	Webサイトに移動	Find My Mobile（デバイスリモート追跡）のホームページを表示します。

項目		説明
セキュリティ	再有効化ロック	本端末をリセットした後に他のSamsungアカウントで登録できないようにするかどうかを設定します。 • Samsungアカウントの登録が必要です。 • 本機能を有効にすると、工場出荷状態に初期化を行う前にSamsungアカウントの入力が必要です。
	SIMカードロックを設定	→ P.354
	パスワードを表示	パスワードの入力画面で、入力した文字を表示するかどうかを設定します。
	セキュリティポリシー更新	更新して本端末のセキュリティを向上させます。
	セキュリティレポートを送信	セキュリティ脅威を分析するため、Wi-Fi経由でセキュリティレポートを送信します。
	ストレージの種類	認証情報ストレージのバックアップ先を表示します。
	信頼できる認証情報	信頼された証明書を表示します。

項目		説明
セキュリティ	ストレージからインストール※3	システムメモリ（本体）またはmicroSDカードから証明書のインストールを行います。
	証明書を消去	VPNの設定情報など、すべての証明書データとパスワードを削除します。
端末情報	ソフトウェア更新	→ P.419
	ステータス	電池残量や電話番号などを表示します。
	法定情報	オープンソースライセンス：オープンソースの使用許諾条件を確認します。 Google利用規約：Googleの利用規約を確認します。 Samsung規約：エンドユーザーライセンス契約を確認します。
	診断情報を報告	本端末の診断および使用状況データの送信について、同意・許可の確認を行います。
	デバイス名称	本端末の名称を確認／変更します。
	認証情報	取得した各種認証情報を表示します。

項目		説明
端末情報	モデル番号	型番を確認します。
	Androidバージョン	ソフトウェアのバージョンを確認します。
	ベースバンドバージョン	
	カーネルバージョン	
	ビルド番号	
	SE Androidのステータス	
	セキュリティソフトウェアバージョン	

※1　Googleアカウントを設定していると、日付・時刻情報が自動的に補正されることがあります。
※2　画面ロック（P.326）を「パスワード」に設定すると、本機能を利用できます。「パスワード」は英数字を含む6～16桁の文字で設定してください。
※3　インストールした証明書を削除する場合は、「証明書を消去」をタップし、認証情報ストレージから削除する必要があります。「証明書を消去」では認証情報ストレージ内のすべての証明書が削除されます。

アカウント

1 ホーム画面で → 「設定」→「一般」タブ →「アカウント」

項目	説明
docomo	あらかじめdocomo アカウントが登録されています。
アカウント追加	→ P.344

アカウントを設定する

1 ホーム画面で → 「設定」→「一般」タブ →「アカウント」→「アカウント追加」

2 追加したいアカウントの種類をタップ

3 画面の指示に従って設定

- Facebookなどログインが必要なオンラインサービスの場合は、メールアドレスやパスワードなどを入力して「ログイン」をタップします。

お知らせ

- 登録済みのアカウントを修正する場合は、アカウントを削除してから登録し直してください。
- 同期させる項目を変更するには、ホーム画面で → 「設定」→「一般」タブ →「アカウント」→ アカウントの種類をタップ → 変更するアカウントをタップ → 同期させる項目をタップします。
- 手動で同期させる場合は、ホーム画面で → 「設定」→「一般」タブ →「アカウント」→ アカウントの種類をタップ →「全て同期」をタップします。

Samsungアカウントについて

Samsungアカウントを設定すると、SIM変更アラートを設定できるようになります。また、Find My Mobile（デバイスリモート追跡）を利用して本端末をリモートコントロールしたり、本端末とSamsungアカウントとの間でデータを同期したりすることができます。

- Samsungアカウントは、ホーム画面で → 「設定」→「一般」タブ →「アカウント」→「アカウント追加」→「Samsungアカウント」をタップして、画面の指示に従って設定します。
- Find My Mobile（デバイスリモート追跡）の詳細については、以下のホームページをご覧ください。
  http://findmymobile.samsung.com/login.do

お知らせ

- Samsungアカウントに設定したパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。また、パスワードを忘れた場合は、Find My Mobile（デバイスリモート追跡）で新しいパスワードを登録できます。
  ① ホーム画面で → 「設定」→「一般」タブ →「セキュリティ」→「Webサイトに移動」
  - ブラウザでFind My Mobile（デバイスリモート追跡）のホームページにアクセスしても設定することができます。

  ②「Eメールアドレス／パスワードを検索」
  ③ 画面の指示に従ってパスワードを変更

Facebookなどのアカウントについて

Facebook、Googleなどオンラインサービスのアカウントを設定し、本端末と各種サービスのサーバーとの間でデータの同期や送受信ができます。

- Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントを設定し、Microsoft Exchange Server 2010（および以前のバージョン）と同期させることもできます。

お知らせ

- 各アカウントの設定は、インターネットに接続できる環境で行ってください。
- 本端末をご利用になる国・地域によっては、自動同期などの機能が利用できない場合があります。
- Facebookアカウントの取得方法については、以下のホームページをご覧ください。
  https://www.facebook.com/
- Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントを設定する場合は、設定情報などについてネットワーク管理者にお問い合わせください。

アカウントを削除する

登録したアカウントを削除すると、本端末に保存されたアカウントのデータ（メッセージや連絡先、設定など）も削除されます。

- サーバーに保存されたデータは削除されません。

1 ホーム画面で → 「設定」→「一般」タブ →「アカウント」→ アカウントの種類をタップ

2 削除したいアカウントをタップ → → 「アカウントを削除」

お知らせ

- 登録されているアカウントによっては、削除できない場合があります。削除するには、「工場出荷状態に初期化」（P.336）を実行してください。

省電力モード

省電力モードに関する設定や、電池使用量データや電池残量などを表示します。

1 ホーム画面で → 「設定」→「一般」タブ →「省電力」

2 項目を設定

項目		説明
省電力モード	バックグラウンドデータを制限	操作中の機能以外によるバックグラウンドのデータ通信を停止して、電池の消費を抑えます。
	パフォーマンスを制限	電池の消費を抑えるために、バイブフィードバックをOFFにしたり、受信通知の画面点灯時間を短くしたりするほか、CPUや機能の動作などを設定できます。
	グレースケールモード	画面表示を白黒階調に変更して、電池の消費を抑えます。
ウルトラ省電力モード		画面表示を白黒階調に変更し、使用可能なアプリの数の制限やWi-Fi、Bluetoothなどの接続の停止により電池の消費を抑えます。

ストレージ

microSDカードや本端末のメモリ容量の確認や、microSDカードの初期化をします。

1 ホーム画面で → 「設定」→「一般」タブ →「ストレージ」

2 項目を確認／設定

項目		説明
システムメモリ（本体）	合計容量	本端末の合計データ容量を表示します。合計容量の下に、アプリや画像など保存されているデータの容量がカテゴリごとに表示されます。項目をタップすると、データを確認できます。
	システムメモリ	本端末のシステムを実行するために必要な最小ストレージ容量を確認できます。
	使用中の容量	現在使用中の容量や「アプリケーション」「画像、動画」「オーディオ」「ダウンロード」のそれぞれが使用中の容量を確認できます。

項目		説明
システムメモリ（本体）	キャッシュデータ	全アプリのキャッシュデータ容量を確認したり消去したりできます。
	その他	ドキュメントなどの各種ファイルを格納するために使用してメモリ容量を確認できます。
	空き容量	現在利用可能なストレージを表示します。
外部SDカード	合計容量	microSDカードの合計データ容量を表示します。
	空き容量	microSDカードのメモリの空き容量を表示します。
	外部SDカードのマウント解除／外部SDカードのマウント	microSDカードのマウントを解除／microSDカードを認識させます。
	外部SDカードを初期化	→ P.365

お知らせ

- 本端末にUSBストレージを取り付けると、対応する項目が表示されます。

本端末で利用する暗証番号について

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末の画面ロック用パスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- 入力した画面ロック用PIN／パスワード、ネットワーク暗証番号、PINコード、PINロック解除コード（PUK）は、「●」で表示されます。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■画面ロック用PIN／パスワード

本端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です。

■ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字４桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

■PINコード

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

PINコードは、第三者によるドコモminiUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する４～８桁の番号（コード）です。PINコードを入力することにより、端末操作が可能となるように設定できます。

- 新しく本端末を購入されて、現在ご利用中のドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。

- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使用できなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」（PUK）を入力してロックを解除してから、PINコードの再設定を行ってください。
  PINロック解除コード（8桁）を入力 →「OK」→ 新しいPINコードを入力 →「OK」→ 再度新しいPINコードを入力 →「OK」をタップします。
- 機内モード設定中はPINコード入力画面が表示されず、機内モードを無効にしたときにPINコード入力画面が表示されます。機内モード設定中はドコモminiUIMカードを本端末に取り付ける、または本端末の電源を入れるときにPINコード入力画面は表示されません。

■PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。ロックされた場合は、ドコモショップ窓口までお問い合わせください。

PINコードを設定する

本端末の電源を入れたときにPINコードを入力しないと使用できないように設定できます。

1 ホーム画面で → 「設定」→「一般」タブ →「セキュリティ」→「SIMカードロックを設定」→「SIMカードをロック」→ PINコードを入力 →「OK」

・「SIMカードをロック」にチェックが付きます。

PINコードを変更する

「SIMカードをロック」（P.354）を設定している場合に、PINコードを変更できます。

1 ホーム画面で → 「設定」→「一般」タブ →「セキュリティ」→「SIMカードロックを設定」

2 「SIM PINを変更」→ 画面の指示に従って現在のPINコードと新しいPINコードを入力

リモート機能を有効にする

遠隔で本端末のロック、位置確認とデータの削除ができる機能です。

1 Samsungアカウントの設定を行う

- 画面の指示に従って設定します。
- 既存のSamsungアカウントがある場合は、サインインしてください。

2 ホーム画面で → 「設定」→「一般」タブ →「セキュリティ」→「リモートコントロール」※

- Samsungアカウントのパスワード入力画面が表示された場合は、パスワードを入力 →「確認」をタップします。
- 説明画面が表示された場合は、「OK」をタップします。

3 パソコンでFind My Mobile（デバイスリモート追跡）のホームページを開く

- Find My Mobile（デバイスリモート追跡）のホームページについては、「Samsungアカウントについて」をご参照ください。→ P.345

4 Samsungアカウントでログイン後、画面に従って設定を行う

※ Samsungアカウントが登録されると、「リモートコントロール」は自動でONになるため、本端末での操作は不要となります。パソコンで手順4から実施してください。

SIM変更アラートを有効にする

ドコモminiUIMカードが差し替えられたときに、本端末固有の情報とアラートメッセージが指定した電話番号にSMSで自動的に送信されるように設定できます。

1 ホーム画面で → 「設定」→「一般」タブ →「セキュリティ」→「SIM変更アラート」

2 Samsungアカウントを設定

- 画面の指示に従って設定します。
- 既存のSamsungアカウントがある場合は、サインインしてください。
- Samsungアカウントを設定済みで、Samsungアカウントのパスワード入力画面が表示された場合は、パスワードを入力 →「完了」をタップします。

3 「アラートメッセージ」→ SMSに表示されるメッセージを入力 →「OK」

4 「作成」→ SMSの送信先電話番号を入力 →「OK」

- 先頭に「+」、続いて送信先の国番号を入力後、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。
- 日本の国番号は「81」です。
- 「連絡先」をタップすると、登録済みの連絡先などから送信先を選択できます。

5 「保存」

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面で → 「設定」→「一般」タブ →「端末情報」→「ステータス」

・「電話番号」に自分の電話番号が表示されます。

アプリケーション

項目	説明
アプリケーション管理	本端末のアプリを管理します。アプリ一覧の上に表示される、「ダウンロード」／「外部SDカード」／「実行中」／「全て」／「無効」（無効にしたアプリがある場合に表示）をタップすると、一覧を切り替えることができます。 ・「全て」タブでは、インストールされているアプリを管理できます。また、アプリを無効化して、アプリ画面に表示させないようにできます。→ P.359

項目	説明
標準アプリケーション	通常使うメッセージアプリを設定したり、ブラウザやホームアプリなど通常使うアプリを設定したりした場合に初期設定に戻すことができます。
連絡先	Samsungが提供する「連絡先」アプリの設定などを行います。
Eメール	→ P.174
ギャラリー	→ P.249
ブラウザ	→ P.199
メッセージ	→ P.161
Sプランナー	→ P.277
Sボイス	→ P.286

アプリを無効化する

アプリの無効化を設定したアプリは、動作が停止し、アプリ画面に表示されなくなります。

- アンインストールとは異なります。
- アンインストールできない一部のアプリやサービスについて使用可能です。

1 ホーム画面で → 「設定」→「アプリケーション」タブ →「アプリケーション管理」→「全て」タブ

2 無効化するアプリをタップ →「無効」→「OK」

お知らせ

- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連動している他のアプリが正しく動作しない場合があります。再度有効にすることで正しく動作します。再度有効にするには、ホーム画面で → 「設定」→「アプリケーション」タブ →「アプリケーション管理」→「無効」タブ → 有効化するアプリをタップ →「有効」をタップします。

ファイル管理

ストレージ構成

本体（内部ストレージ）

本端末のお買い上げ時に、本体（内部ストレージ）に作成される主なフォルダは以下のとおりです。

- 本端末の操作状況によっては、表示されるフォルダが異なる場合があります。

項目	説明
Alarms	アラーム音として設定したい音楽データなどを保存します。
Android	システムや各種アプリの設定データや一時ファイルなどが保存されます。
DCIM	カメラで撮影した静止画／動画のデータが保存されます（保存先を本端末に設定している場合）。
Documents	ドキュメントファイルが保存されます。
Download	ブラウザでダウンロードしたデータが保存されます。
Movies	動画データが保存されます。
Music	音楽データが保存されます。

項目	説明
Notifications	Google+で使われるお知らせ用ファイルが保存されます。また、通知音として設定したい音楽データなどを保存します。
Pictures	表示中の画面を画像として保存（画面キャプチャ）した画像データが保存されます。
Podcasts	ポッドキャストデータが保存されます。
Ringtones	ハングアウトで使われる通知音などのファイルが保存されます。
Samsung	Samsung関連サイトから取得したデータが保存されます。

お知らせ

- 「Alarms」／「Ringtones」フォルダに保存したデータを削除したとき、アラーム音や通知音に設定している場合は、お買い上げ時の設定に戻ります。
- 「Notifications」フォルダに保存したデータを削除したとき、通知音に設定している場合は、「不明な通知音」と表示されます。通知音を再度設定してください。

microSDカード（外部ストレージ）

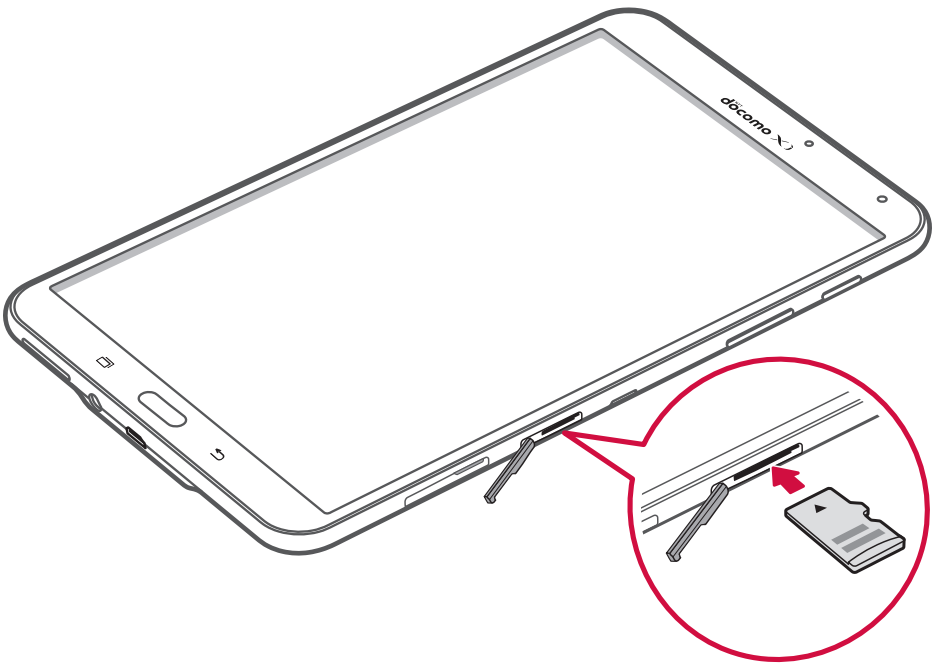
本端末は、microSDカード（microSDHCカード、microSDXCカードを含む）を取り付けて使用することができます。

- 本端末は、2GBまでのmicroSDカードと32GBまでのmicroSDHCカードおよび128GBまでのmicroSDXCカードに対応しています（2014年11月現在）。ただし、市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
  対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- 本端末に対応しているmicroSDカードのスピードクラスは、最大CLASS 10です。
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化をする必要があります（データはすべて削除されます）。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、microSDHCカードもしくはmicroSDカードなど、コピー先／コピー元の機器の規格に準拠したカードをご利用ください。

microSDカードの取り付け

1 microSDカードスロットカバーを開く
- ミゾに指先をかけて、開けてください。

2 microSDカードの金属端子面を下にして、矢印の向きにmicroSDカードスロットへカチッと音がするまで奥に差し込む



3 microSDカードスロットカバーを閉じ、本端末とすき間がないことを確認する

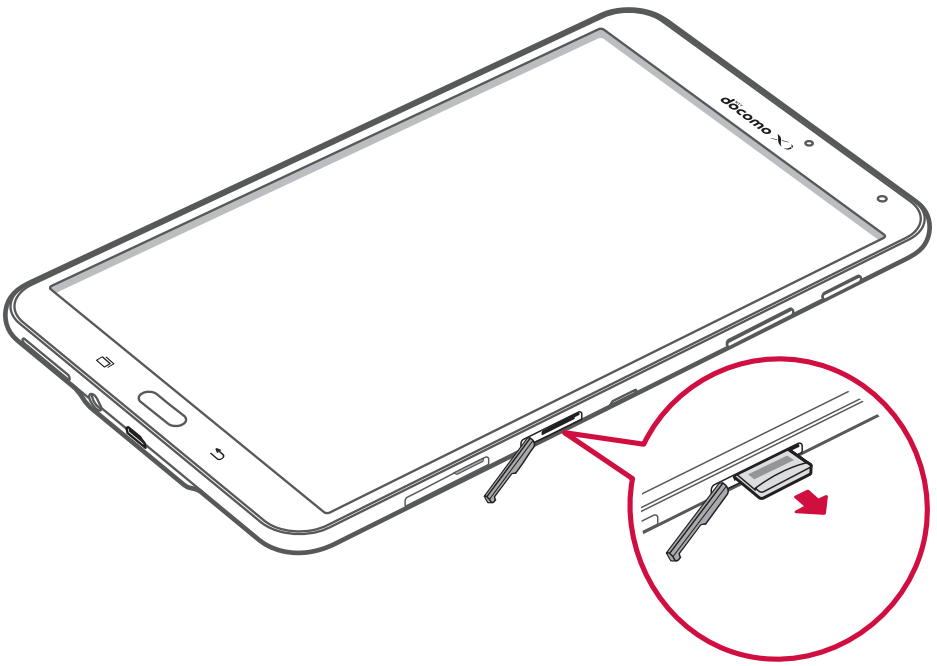
microSDカードの取り外し

microSDカードを取り外すときは、あらかじめ「外部SDカードのマウント解除」（P.350）を行ってください。

1 microSDカードスロットカバーを開く

- ミゾに指先をかけて、開けてください。

2 microSDカードをカチッと音がするまで押し込んでから離し、矢印の向きにまっすぐ引き出す



3 microSDカードスロットカバーを閉じ、本端末とすき間がないことを確認する

microSDカードを初期化する

microSDカードを初期化すると、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1 ホーム画面で → 「設定」→「一般」タブ →「ストレージ」

2 「外部SDカードを初期化」→「外部SDカードを初期化」→「全て削除」

- 画面ロックの解除方法を設定している場合は、設定した解除方法を実行し、「全て削除」をタップします。

ファイル操作

ファイルやフォルダの操作

「マイファイル」を利用して、本端末やmicroSDカード、Dropbox上に保存されている静止画や動画、音楽や文書などさまざまなデータの表示や管理を行えます。

1 ホーム画面で → 「マイファイル」

- マイファイル画面が表示されます。
- 左側の項目一覧や画面右上のアイコンをタップすると、ファイルやフォルダを操作できます。

左側の項目一覧

項目	説明
タイムライン	追加されたファイルの一覧が時間別に表示されます。
お気に入りフォルダ	登録したフォルダに直接アクセスできます。 • フォルダをロングタッチ → 再度ロングタッチ →「お気に入りフォルダ」にドラッグすることで登録できます。

項目		説明
フォルダ	システムメモリ（本体）	本端末内に保存されているデータが表示されます。
	SD card	microSDカードに保存されているデータが表示されます。
カテゴリ	画像	画像データが表示されます。
	動画	動画データが表示されます。
	オーディオ	音楽ファイルや音声データなどが表示されます。
	ドキュメント	ドキュメントファイルが表示されます。
	ダウンロード済みアプリ	インストールされているアプリが表示されます。
	ダウンロード履歴	ダウンロードしたファイルの一覧が表示されます。
アプリ	Office	保存されているOfficeファイルが表示されます。
	Dropbox	アカウントを設定したDropbox内に保存されているファイルが表示されます。

◘ 画面右上のアイコン

アイコン	説明
	フォルダを作成することができます。 ・「システムメモリ（本体）」、「SD card」、「Dropbox」内のフォルダを表示しているときのみ表示されます。
	「サムネイル表示（大）」／「サムネイル表示（小）」／「一覧表示」を切り替えることができます。
	メモリの使用状況を確認できます。
	マイファイル内を検索できます。
	マイファイルのメニューを表示します。 →P.370

2 左側の項目一覧から利用したいフォルダ、カテゴリ、またはアプリをタップ → 必要に応じてフォルダをタップ

・ フォルダ／ファイル一覧画面が表示されます。

3 利用したいファイルをタップ

・ ファイルが表示／再生されます。

フォルダを作成する

1 ホーム画面で → 「マイファイル」

2 左側の項目一覧から「システムメモリ(本体)」／「SD card」／「Dropbox」のいずれかをタップ → 必要に応じてフォルダをタップ

3 → フォルダ名を入力 →「作成」

ファイルやフォルダの名前を変更する

1 ホーム画面で → 「マイファイル」

2 左側の項目一覧からフォルダ、カテゴリ、またはアプリをタップ → 必要に応じてフォルダをタップ

3 フォルダ／ファイルをロングタッチ → → 「名前を変更」→ 名前を入力 →「OK」

ファイルやフォルダを削除する

1 ホーム画面で → 「マイファイル」

2 左側の項目一覧からフォルダ、カテゴリ、またはアプリをタップ → 必要に応じてフォルダをタップ

3 フォルダ／ファイルをロングタッチ → → 「OK」

ファイルやフォルダを移動／コピーする

1 ホーム画面で → 「マイファイル」

2 左側の項目一覧からフォルダ、カテゴリ、またはアプリをタップ → 必要に応じてフォルダをタップ

3 フォルダ／ファイルをロングタッチ → ／

4 移動先のフォルダを表示 → 「ここに移動」／「ここに貼付」

マイファイルのメニュー

マイファイル画面、フォルダ／ファイル一覧画面で をタップすると以下の項目が表示されます。

※ 表示される項目は、フォルダの種類や状態によって異なります。

項目	説明
選択	フォルダ／ファイルを選択します。
並べ替え	一覧の表示順を変更します。
お気に入りフォルダに追加／お気に入りフォルダを削除	現在表示中のフォルダを「お気に入りフォルダ」に追加、または削除します。
削除	選択したファイル／フォルダを削除します。

項目		説明
ショートカットを追加		ホーム画面にショートカットを追加します。
FTPを追加		FTPを追加します。
近くのデバイスをスキャン		近くのデバイスをスキャンします。
表示オプション	隠しファイルを表示	隠しファイルを表示するかどうかを設定します。
	ファイル拡張子を表示	ファイル拡張子を表示するかどうかを設定します。

データ検索

1 マイファイル画面、フォルダ／ファイル一覧画面で

2 ファイル名や拡張子などを入力 →

- 検索されたフォルダ／ファイルが一覧表示されます。
- 「全て」→「詳細設定」をタップすると、詳細な検索条件を指定できます。

データ通信

Bluetooth通信

本端末とBluetoothデバイス間で、無線でデータのやりとりができます。

- Bluetooth対応バージョンやプロファイルについては、「主な仕様」（P.422）をご参照ください。
- 設定や操作方法については、接続するBluetoothデバイスの取扱説明書もご覧ください。
- 本端末とすべてのBluetoothデバイスとのワイヤレス接続を保証するものではありません。

■ Bluetooth機能使用時のご注意

1. 本端末と他のBluetoothデバイスとは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が短くなります。
2. 他の機器（電気製品、AV機器、OA機器など）から約2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず約3m以上離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。
3. 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
4. Bluetoothデバイスが発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所では本端末の電源および周囲のBluetoothデバイスの電源を切ってください。

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

本端末のBluetooth機能と無線LAN対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線ＬＡＮ対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。

1. Bluetoothデバイスと無線LAN対応機器は、約20m以上離してください。
2. 約20m以内で使用する場合は、Bluetoothデバイスまたは無線LAN対応機器の電源を切ってください。

■ Bluetooth機能のパスコードについて

Bluetooth機能のパスコードは、接続するBluetoothデバイス同士が初めて通信するとき、相手機器を確認して、お互いに接続を許可するための認証用コードです。送信側／受信側とも同一のパスコード（最大16文字の半角英数字）を入力する必要があります。

- 本端末ではパスコードを「PIN」「パスキー」と表示している場合があります。

Bluetooth機能を有効にして本端末を検出可能にする

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「接続」 タブ → 「Bluetooth」

2 をタップ

3 をタップ

4 「端末の公開時間」 → 項目を選択

- 設定した公開時間内で、本端末が別のBluetoothデバイスから検出可能になります。
- 「タイムアウトなし」を選択した場合、本端末は常に別のBluetoothデバイスから検出可能な状態になります。

お知らせ

- Bluetooth機能を使用しないときは、電池の消耗を防ぐため、Bluetooth機能をOFFにしてください。
- Bluetooth機能のON／OFF設定は、電源を切っても変更されません。
- 「(本端末のデバイス名称)」にチェックを付けると、他のBluetoothデバイスに本端末が表示されるようになります。
- 「スキャン」をタップすると他のBluetoothデバイスを再検索します。
- ⋮ →「受信済みファイル」をタップすると受信したファイルを表示します。
- ⋮ →「デバイス名称を変更」をタップすると本端末のデバイス名称を変更できます。
- ⋮ →「ヘルプ」をタップするとBluetooth機能のヘルプを表示します。

他のBluetoothデバイスとペアリング／接続する

本端末と他のBluetoothデバイスをBluetooth機能で接続し、データのやりとりを行うには、あらかじめ他のデバイスとペアリング（接続設定）を行い、本端末に登録後、接続を行います。

- Bluetoothデバイスによって、ペアリングのみ行うデバイスと接続までを続けて行うデバイスがあります。

1 ホーム画面で → 「設定」→「接続」タブ →「Bluetooth」

2 をタップ

- 検出されたBluetoothデバイスが一覧表示されます。
- Bluetoothデバイスが表示されない場合は、「スキャン」をタップして再度検索します。

3 接続したいデバイスをタップ

4 パスコードを確認またはパスコード（PIN）を入力 →「OK」

- ペアリング時にパスコードが必要なデバイスの場合も一度ペアリングを行うと、次回の接続時にはパスコードの入力は不要になります。

他のデバイスからペアリング要求を受けた場合

Bluetooth通信のペアリングを要求する画面が表示された場合は、必要に応じて「OK」またはパスコード（PIN）を入力 →「OK」をタップします。

接続を解除する場合

Bluetoothデバイスの一覧表示で、接続中のデバイスをタップ →「OK」をタップします。

ペアリングを解除する

1 ホーム画面で → 「設定」 →「接続」タブ →「Bluetooth」

2 ペアリングを解除したいデバイスの → 「ペアリングを解除」

Bluetooth機能でデータを送受信する

- あらかじめ本端末のBluetooth機能をONにし、検出可能にしてください。

Bluetooth機能でデータを送信する

連絡先（vcf形式の連絡先データ）、静止画、動画などのファイルを、他のBluetoothデバイス（パソコンなど）に送信できます。

- 送信は各アプリの「共有」「送信」などのメニューから行ってください。

Bluetooth機能でデータを受信する

1 「ファイル転送」画面が表示されたら、「承認」

- ステータスバーに が表示され、データの受信が開始されます。
- 通知パネルで受信状態を確認できます。
- 受信が完了したら通知パネルを開き、「受信ファイル」をタップすると、受信したデータの一覧が表示されます。表示／再生したいデータをタップすると、受信したデータを確認することができます。

外部機器接続

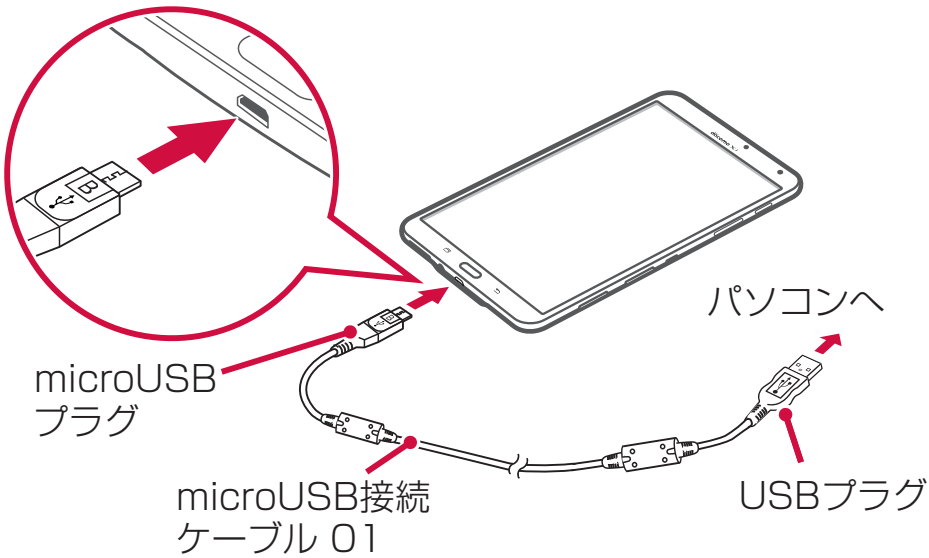
パソコンとの接続

microUSB接続ケーブルで接続する

本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01（別売）で接続すると、パソコンの「Samsung Kies」（P.380）とデータを同期したり、本端末をメディアデバイスとして認識（P.381）させたりできます。

1 本端末の外部接続端子に、microUSB 接続ケーブル 01のmicroUSBプラグを差し込み、本端末をパソコンに接続

- microUSBプラグは、 の印刷面を上にして水平に差し込みます。



お知らせ

- microUSB接続ケーブル 01のUSBプラグはパソコンのUSBコネクタに直接接続してください。USB HUBやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。
- データ転送中にmicroUSB接続ケーブル 01を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。
- 接続可能なOSは、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1です。

Samsung Kiesを利用する

Samsung Kiesを利用して、音楽や動画などのメディアファイルや個人情報を管理したり、本端末のソフトウェアを更新したりできます。

- Samsung KiesはSamsungのホームページからダウンロードして、パソコンにインストールします。詳細については、Samsungのホームページをご覧ください。
  http://www.samsung.com/jp/support/usefulsoftware/KIES/JSP

1 本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01（別売）で接続

- 接続方法については、「microUSB接続ケーブルで接続する」（P.379）をご参照ください。

2 パソコンで「Samsung Kies」を起動

- Samsung Kiesの使いかたについては、Samsung Kiesのヘルプをご覧ください。

メディアデバイスとして使用する

本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01(別売)で接続すると、本端末がメディアデバイス（MTP）として認識され、音楽や動画などのメディアファイルを転送できます。

1 本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01で接続

- 接続方法については、「microUSB接続ケーブルで接続する」（P.379）をご参照ください。

2 通知パネルを開く →「メディアデバイスとして接続」と表示されていることを確認

- 「カメラとして接続」と表示されている場合は、「カメラとして接続」→「メディアデバイス（MTP)」にチェックを付けます。

3 パソコンを操作して本端末とパソコン間でデータを転送

カメラデバイスとして使用する

本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01（別売）で接続してカメラ（PTP）モードにすると、本端末で撮影した静止画や動画をパソコンに転送できます。

- カメラ（PTP）モードは、MTP非対応のパソコンなどにデータを転送する場合に使用します。

1 本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01で接続

- 接続方法については、「microUSB接続ケーブルで接続する」（P.379）をご参照ください。

2 通知パネルを開く →「メディアデバイスとして接続」→「カメラ（PTP）」にチェックを付ける

3 パソコンを操作して本端末とパソコン間でデータを転送

プリンターとの接続

Wi-Fi機能やUSB接続を利用して本端末に対応しているプリンターで印刷できます。

- Wi-Fi機能を使用する場合は、あらかじめ無線LAN（Wi-Fi）およびプリンター側の設定を行ってください。
- Wi-Fi機能を使用する場合は、本端末とプリンターは、同一のWi-Fiネットワークに接続されているか、Wi-Fi Directで接続している必要があります。
- USB接続を使用する場合、対応している接続ケーブルにつきましては、プリンターの取扱説明書をご確認ください。

プリンターで印刷する

1 印刷可能なアプリの画面で ⋮ →「印刷」

- 確認画面が表示された場合は、「OK」をタップします。
- プリンターの選択画面が表示されます。

2 使用するプリンターをタップ

- プリンターの設定画面が表示されます。

3 各項目を設定 →「Start Print」

お知らせ

- プリンターの種類によって、設定画面に表示される項目は異なります。

メディアファイル共有機能対応機器との接続

同じWi-Fiネットワークに接続している他のメディアファイル共有機能対応機器と、メディアファイルを共有することができます。

- 本機能を利用する場合は、あらかじめ本端末とメディアファイル共有機能対応機器を、同じWi-Fiネットワークに接続してください。
- 本機能は、すべてのメディアファイル共有機能対応機器との接続を保証するものではありません。
- 本端末はDTCP-IPに対応しています。ただし、すべてのDTCP-IP対応機器との接続を保証するものではありません。
- 本機能は、メディアファイル共有機能対応機器に保存されたすべてのメディアファイルの再生を保証するものではありません。

近くのデバイスを設定する

1 ホーム画面で → 「設定」→「接続」タブ →「近くのデバイス」

2 項目を設定

項目		説明
デバイス名称		本端末のデバイス名称が表示されます。
詳細設定	共有するコンテンツ	共有するコンテンツを選択します。
	許可デバイス	本端末にアクセス可能な機器リストを表示します。
	拒否デバイス	本端末にアクセス不可の機器リストを表示します。
	ダウンロード先	他の機器から本端末にアップロードしたメディアファイルの保存先を設定します。
	他のデバイスからファイルを受信	メディアファイルをアップロードしたときの本端末の動作を設定します。

お知らせ

- 許可デバイス／拒否デバイスに追加されているデバイスを削除するには、「許可デバイス」／「拒否デバイス」→ 削除するデバイスにチェックを付ける →「削除」をタップします。

本端末にアクセスする他の機器を登録する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」タブ →「近くのデバイス」

2 をタップ

- 他の機器からのアクセスを許可するかどうかの確認画面が表示された場合は、手順４へ進んでください。
- ステータスバーに が表示されます。

3 アクセスする機器から本端末への接続操作を行う

- アクセスを許可するかどうかの確認画面が表示されます。

4 「OK」

- アクセスした機器と接続され、許可デバイス（P.385）に機器が追加されます。
- 「キャンセル」をタップするとアクセスを拒否します。拒否デバイス（P.385）に機器が追加されます。

5 アクセスした機器から再生の操作を行う

MHL接続でテレビに表示

本端末とHDMI端子付きテレビを接続して、テレビに動画、画像などを表示します。

- 本端末とHDMI端子付きテレビを接続するにはHDMI端子（TypeA）に対応したHDMIケーブル（市販品）とHDMI変換ケーブル SC03 ／ SC04（別売）が必要です。また、MHLに対応したテレビとはMHLケーブル（市販品）を使用することで接続できます。
- すべてのHDMI対応機器との動作を保証するものではありません。

1 HDMIケーブルとHDMI変換ケーブルを接続

- HDMI変換ケーブルの接続方法についてはHDMI変換ケーブルの取扱説明書をご覧ください。

2 テレビのHDMI端子にHDMIケーブルを接続

- HDMI端子への接続方法や入力の切り替え、音量の調整などについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。

3 本端末の外部接続端子にHDMI変換ケーブルを接続

- テレビ表示中にHDMI変換ケーブルが抜けた場合、一定時間接続待機状態になります。

お知らせ

- HDCP非対応テレビと接続した場合、映像・音声は正しく出力されません。また、コンテンツによってはコンテンツプロバイダから外部出力を禁止されていたり、性能上の問題から、外部出力が抑止されていたりする場合があります。
- MHL出力開始時、接続するテレビによっては入力が切り替わらず映像が表示されない場合があります。その場合、テレビの表示設定を変更してください。
- HDMIケーブルを接続中に、HDMIケーブルを持って本端末を持ち上げないでください。
- テレビに表示しないときは、HDMIケーブルを取り外してください。
- MHL接続利用時には、お客様の利用環境によって電波状況に影響が出る場合があります。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアで利用いただけるサービスです。SMSは設定の変更なくご利用になれます。

■ 対応ネットワークについて

本端末は、クラス5になります。LTEネットワーク、3Gネットワーク、GSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz／GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。

■ 海外でご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください

- 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
- ドコモの「国際サービスホームページ」

お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国、地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

ご利用できるサービス

（○：利用可能）

主な通信サービス	3G	3G850	GSM（GPRS）	LTE
SMS	○	○	○	○
メール※1	○	○	○	○
ブラウザ※1	○	○	○	○

※1　ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミングの設定をONにしてください（P.392）。

お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

ご利用時の確認

出発前の確認

海外でご利用いただく際は、出発前に日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 充電について

- 海外旅行で充電する際のACアダプタは、別売の「ACアダプタ 03」、「ACアダプタ 04」または「ACアダプタ 05」をご利用ください。

■ 料金について

- 海外でのご利用料金（パケット通信料）は、日本国内とは異なります。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。
- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■ 接続について

「ネットワークオペレーター」の設定を「自動選択」に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

海外で利用するための設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

■ データローミングの設定

1 ホーム画面で → 「設定」→「接続」タブ →「その他ネットワーク」→「モバイルネットワーク」

2 「データローミング」→ 注意画面の内容を確認して「OK」

■ 通信事業者の設定

1 ホーム画面で → 「設定」→「接続」タブ →「その他ネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「ネットワークオペレーター」

- 利用可能なネットワークを検索して表示します。
- 情報画面が表示された場合は「OK」をタップします。
- ネットワーク検索でエラーが発生する場合は、「モバイルデータ」のチェックを外して再度実行してください。(P.290)

2 通信事業者のネットワークを選択

■ ネットワークモードの設定

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」タブ →「その他ネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「ネットワークモード」

2 「LTE／3G／GSM(自動)」／「LTE／3G」／「3G／GSM」／「3Gのみ」／「GSMのみ」

■ ディスプレイの表示について

- ステータスバーには利用中のネットワークの種類が表示されます。

アイコン	ネットワークの種類
	国際ローミング中（電波状態弱／強）
	GPRS 使用可能／通信中
	3G（パケット）使用可能／通信中
	HSDPA 使用可能／通信中
	LTE 使用可能／通信中

- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。

■ 日付と時刻について

「日付と時刻」の「自動日時設定」「自動タイムゾーン」にチェックを付けている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは、海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」（P.337）

■ お問い合わせについて

- 本端末やドコモminiUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- 「モバイルネットワーク」の「ネットワークモード」を「LTE ／ 3G ／ GSM（自動）」に設定してください（P.393）。
- 「モバイルネットワーク」の「ネットワークオペレーター」を「自動選択」に設定してください（P.391）。

付録／索引

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（P.419）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

□ 電源

症状	チェック項目
本端末の電源が入らない（本端末が使えない）	• 電池切れになっていませんか。 → P.55

症状	チェック項目
画面が動かない、電源が切れない	• 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に（電源／画面ロックキー）と 音量キーの下側を8～10秒間押すと、強制的に再起動することができます。 ※ 強制的に再起動する操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

充電

症状	チェック項目
充電ができない	• アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。 • アダプタと本端末が正しくセットされていますか。 • microUSB 接続ケーブル 01（別売）をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。 • 充電しながら通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇する場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

□ 端末操作

症状	チェック項目
操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、充電しながらアプリやワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、本端末やアダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、本書巻末の「故障お問い合わせ先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
タッチスクリーンをタップしても動作しない	• 画面ロックが設定されていませんか。▭（電源／画面ロックキー）／▭（ホームキー）を押して画面ロックを解除してください。→ P.58、P.326

症状	チェック項目
タッチスクリーンをタップしたときの画面の反応が遅い	• 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。 • 保護シートが貼られていませんか。保護シートによって動作が認識されにくくなる場合があります。
ドコモminiUIMカードが認識されない	• ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P.50
時計がずれる	• 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 「自動日時設定」が設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。→P.337

症状	チェック項目
端末動作が不安定	• お買い上げ後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモード（お買い上げ時に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 - セーフモードの起動方法 電源がOFFの状態から（電源／画面ロックキー）を2秒以上押し、docomoのロゴが消えた後、音量キーの下側を押し続けてください。 ※ セーフモードが起動すると画面の左下端に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。 - 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 - お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 - セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常はセーフモードを終了してご利用ください。

症状	チェック項目
本端末の動作が遅くなった／プログラムの動作が不安定になった／一部のプログラムを起動できない	• 本端末の端末内部メモリの使用状況を確認し、実行中のプログラムを終了するなどして、メモリの空き容量を確保してください。→ P.138
データが正常に表示されない／タッチスクリーンを正しく操作できない	• 電源を入れ直してください。電源を入れ直しても問題が解決しないときは、「工場出荷状態に初期化」（P.336）を実行すると問題が改善される場合があります。ただし、本端末に保存されたすべてのデータが削除されるため、必要なデータを事前にバックアップした上で実行してください。
アプリが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）	• 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。→ P.359

画面

症状	チェック項目
ディスプレイが暗い	• 「画面のタイムアウト」で設定した時間を経過していませんか。→ P.314 • ディスプレイの明るさを調整していませんか。→ P.324 • 省電力モードを設定していませんか。→ P.348 • 「画面トーンの自動調整」にチェックが付いていませんか。チェックが付いている場合は表示されている画像によって画面のトーンが調整されます。→ P.315 • 電池残量が少なくなっていませんか。→ P.348

メール

症状	チェック項目
メールを自動で受信しない	• 「Eメールを同期」のチェックを外していませんか。チェックを付けてください。→ P.170 • 「同期スケジュール」を「手動」に設定していませんか。同期スケジュールを設定してください。→ P.170

症状	チェック項目
添付ファイルが削除されて画像を見ることができない	• 「Eメール受信サイズ」を確認してください。→ P.171

ロ カメラ

症状	チェック項目
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	• カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。 • 動画手振れ補正をONにして撮影してください。→ P.236
カメラを起動しようとするとエラーメッセージが表示される	• 電池残量を確認してください。→ P.338 • メモリの空き容量を確認してください。→ P.349 • ⬭（電源／画面ロックキー）を1秒以上押して端末オプション画面を表示し、「再起動」をタップして本端末を再起動してください。

テレビ（フルセグ／ワンセグ）

症状	チェック項目
テレビ（フルセグ／ワンセグ）の視聴ができない	• 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。 • エリア情報設定をしていますか。 → P.224

海外利用

症状	チェック項目
海外で本端末が使えない	**■ アンテナマークが表示されている場合** • WORLD WINGのお申し込みをされていますか。 WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。 **■ 圏外が表示されている場合** • 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか。 利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。 • ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。 「ネットワークモード」を「LTE／3G／GSM（自動）」に設定してください。→ P.393 「ネットワークオペレーター」を「自動選択」に設定してください。→ P.392 • 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→ P.57

症状	チェック項目
海外でデータ通信ができない	• 「データローミング」にチェックを付けてください。→ P.392
海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった	• 利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

ロ データ管理

症状	チェック項目
データ転送が行われない	• USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
microSDカードに保存したデータが表示されない	• microSDカードを取り付け直してください。→ P.363
画像が表示されない	• 未対応の画像データの場合は「マイファイル」に □ が表示されます。
端末をパソコンに接続しても動作しない	• Samsung KiesまたはWindows Media Player 10以上をパソコンにインストールしてください。

Bluetooth機能

症状	チェック項目
Bluetoothデバイスと接続ができない／サーチしても見つからない	• Bluetoothデバイス（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みのデバイスを削除後、再度登録する場合は、デバイスと本端末の双方で登録されているデバイスを削除してから登録してください。

地図・GPS機能

症状	チェック項目
オートGPSサービス情報が設定できない	• 電池残量が少なくなり、オートGPSが停止していませんか。「低電力時動作設定」により、オートGPSが停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合、「オートGPS」の「低電力時動作設定」を「停止しない」に設定するか、または、充電をすることで設定できるようになります。→ P.53、P.320 • 「オートGPS」の「オートGPS動作設定」がOFFになっていませんか。→ P.320

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
XXXXは停止しました。／プロセスXXXXは停止しました。※	本端末や機能にエラーが発生したときに表示されます。「強制終了」／「OK」をタップしてから再度操作してください。	―
しばらくお待ちください（音声サービス）／しばらくお待ちください（データサービス）	通信回線においてアクセスが集中しているため、通信規制がかかっているときに表示されます。規制が解除されてから再度操作してください。	―

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
メモリの空き容量が低下しています。端末の空き容量が低下しています。このままご使用になられると一部機能やアプリケーションが動作しない場合があります。不要なデータやアプリを削除してください。	システムメモリ（本体）の空き容量が低下したときに表示されます。このままご使用になられると一部機能やアプリが動作しない場合があります。アプリやメディアコンテンツなどのデータを削除して、空き容量を確保してください。	P.151 P.369
ソフトウェアを更新できません。ネットワークまたはサーバーエラーが発生しました。後程お試しいただくか、PCのSamsung Kiesを使用して端末を更新してください。	サーバーとの通信に失敗しました。しばらく時間をおいてから操作をやり直すか、「Samsung Kies」を使ってお試しください。	P.419

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
カメラを起動できませんでした。／温度上昇を検知したため、カメラを終了します。	カメラの起動に失敗したとき、または端末の温度が上昇したためカメラを終了したときに表示されます。しばらく時間をおいてから操作をやり直すか、本端末の電源を入れ直してください。	P.57 P.231
ビルトインアプリを無効にすると、他のアプリでエラーが発生する原因になります。	アプリを無効化すると、無効化されたアプリと連動している他のアプリが正しく動作しない場合があります。「OK」をタップして無効化し、他のアプリが正しく動作しなくなった場合は、アプリを有効化してください。	P.359
ブラウザは停止しました。	ブラウザにエラーが発生したときに表示されます。「OK」をタップし、しばらく時間をおいてから操作をやり直してください。	P.187
証明書が見つかりません	SSLを利用したウェブページから要求される証明書が、本端末にない場合に表示されます。対応する証明書を本端末にインストールしてください。	－

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
証明書ベースの認証に失敗しました	SSLを利用したウェブページから証明書を要求されていますが、本端末に保存されている証明書では承認されない場合などに表示されます。対応する証明書を本端末にインストールしてください。	－

※ XXXXには、エラーが発生したアプリや機能の名称などが表示されます。

あんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作設定に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモmini UIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- あんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- あんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 あんしん遠隔サポートセンター
0120-783-360
受付時間 午前9:00～午後8:00(年中無休)へ電話

2 ホーム画面で → 「遠隔サポート」
- 初めてご利用される際には、「ソフトウェア使用許諾書」に同意いただく必要があります。

3 「遠隔サポートの接続画面に進む」→「同意する」

4 ドコモからご案内する接続番号を入力

5 接続後、遠隔サポートを開始

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より１年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
※ 本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。
※ 外付けワンセグアンテナケーブル SC01 は無料修理保証の対象外となります。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。
それでも調子がよくないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（外部接続端子（ヘッドホン接続端子）・ディスプレイなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（ヘッドホン接続端子）・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後４年間を基本としております。

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、裏表紙の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
    - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。

- 本端末の以下の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。
  キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカー、外側カメラ、バイブレータ部分（ドコモminiUIMカードスロット上部付近）、モーター（外側カメラ側の押し込みクリップ付近）
- 本端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切ってお早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新について

インターネット上のダウンロードサイトから本端末の更新ファイルをダウンロードし、ソフトウェアの更新を行います。ソフトウェア更新には、本端末で直接ネットワークに接続して行う方法と、パソコンにインストールした「Samsung Kies」（P.380）を使って行う方法の２種類があります。

ソフトウェア更新についての注意事項

ソフトウェア更新は本端末に保存されているデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。万が一のトラブルに備え、本端末内のお客様情報やデータは、バックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし一部バックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

- ソフトウェア更新の前に以下の準備を行ってください。
  - 本端末で実行中のすべてのプログラムを終了する（P.138）
  - 本端末を充電（P.55）し、電池残量を十分な状態にする
- 本端末で直接ネットワークに接続してソフトウェア更新を行う場合は、電波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。

- ソフトウェア更新（ダウンロード、更新ファイルのインストール）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新ファイルのインストール中は、すべての機能を利用できません。
- ソフトウェア更新に失敗するなどして一切の操作ができなくなった場合は、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

本端末だけで更新する

本端末でネットワークに接続して本端末のソフトウェアを更新できます。

1 ホーム画面で → 「設定」→「一般」タブ →「端末情報」→「ソフトウェア更新」

2 「今すぐ更新」

- Wi-Fi接続時のみファイルのダウンロードを許可する場合は、「Wi-Fi接続時」にチェックを付けます。

3 画面の指示に従って操作

- アップデートするファイルが正常にダウンロードされた後、アップデートするように操作を行うと、端末が再起動され、アップデートが開始されます。

お知らせ

- ソフトウェアをダウンロードした後、インストール続行の確認画面で以下の操作を行うと、インストールの実行を延期できます。
  - 「ソフトウェア更新予約」にチェックを付ける →「インストール」→ インストール時刻を設定 →「OK」をタップする
  - ⮌ をタップする、または ⬭（ホームキー）を押してホーム画面に戻る

  延期した場合でも、以下の操作でインストールをすぐに開始できます。
  - ホーム画面で ⊞ →「設定」→「一般」タブ →「端末情報」→「ソフトウェア更新」→「今すぐ更新」
  - 通知パネルを開く →「ソフトウェア更新」→「インストール」
- アップデートの内容によっては、利用できるネットワークが制限される場合があります。

主な仕様

本体

品名		SC-03G
サイズ		高さ：約213mm、 幅：約126mm、 厚さ：約6.6mm （最厚部：約7.6mm）
質量		約298g
メモリ		ROM 32GB※1 RAM 3GB
連続待受時間	FOMA ／ 3G	静止時（自動）：約920時間
	LTE	静止時（自動）：約760時間
	GSM	静止時（自動）：約730時間
充電時間	ACアダプタ03（別売）	約320分
	ACアダプタ04（別売）	約210分
	ACアダプタ05（別売）	約210分
	DCアダプタ03（別売）	約370分
	DCアダプタ04（別売）	約210分

画面部分	種類	スーパー有機EL（Super AMOLED）
	サイズ	約8.4 inch
	発色数	16,777,216色
	解像度（ピクセル数）	横1600ピクセル×縦2560ピクセル（WQXGA）
撮像素子	種類	外側：裏面照射型CMOS 内側：裏面照射型CMOS
	サイズ	外側：1/4.0 inch 内側：1/8.0 inch
カメラ有効画素数		外側：約800万画素 内側：約210万画素
記録画素数（最大時）		外側：約810万画素 内側：約210万画素
デジタルズーム		最大約4.0倍（30段階）
音楽再生	Windows Media Audio (WMA) ファイル	連続再生時間約7400分 （バックグラウンド再生対応）
	MP3ファイル	連続再生時間約6300分 （バックグラウンド再生対応）

ワンセグ	連続視聴時間	約390分
	録画時間	SC-03G（本体）： 最長約145時間 microSDカード（1GB）： 約6時間
フルセグ	連続視聴時間	約390分
	録画時間	SC-03G（本体）：約200分 microSDカード（1GB）： 約8.5分
表示言語		日本語／英語／韓国語
入力言語（文字入力・音声入力）		文字入力：日本語／英語／韓国語 音声入力：Google音声入力による
ヘッドホン接続端子		3.5φイヤホンジャック
	極数	4極
無線LAN		IEEE802.11a/b/g/n※2/ac※2 準拠（IEEE802.11n周波数帯：2.4GHz／5GHz）

Bluetooth機能	対応バージョン※3	Bluetooth標準規格 Ver. 4.1
	出力	Bluetooth標準規格 Power Class 1
	見通し通信距離※4	約10m以内
	対応プロファイル※5	Object Push Profile（OPP） Headset Profile（HSP） Advanced Audio Distribution Profile（A2DP） Audio/Video Remote Control Profile（AVRCP） Serial Port Profile（SPP） Human Interface Device Profile（HID） Personal Area Networking Profile（PAN）

※1 Android OSやお買い上げ時に搭載されているアプリの保存にも使用されているため、実際に使用できる容量とは異なります。
※2 MIMOに対応しています。
※3 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、BluetoothSIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※4 通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。
※5 Bluetooth通信の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での目安です。

  なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場所）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- インターネット接続を行うと通信・待受時間は短くなります。また、インターネット接続をしなくても電子メールを作成したり、アプリを起動すると通信・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、本端末の電源を切って、内蔵電池が空の状態から充電したときの目安です。本端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

■ 内蔵電池

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.85V
公称容量	4900mAh

■ Bluetooth® キーボード

サイズ		高さ：約142mm、 幅：約214mm、 厚さ：約7.7mm （最厚部：約15.9mm）
質量		約253g
連続作動時間		約300時間
充電時間		約2時間
Bluetooth機能	対応バージョン※1	Bluetooth標準規格 Ver. 3.0
	出力	Bluetooth標準規格 Power Class 2
	見通し通信距離※2	約10m以内
	対応プロファイル※3	Human Interface Device Profile (HID)
	周波数帯	2.4 GHz帯（2402 MHz～2480 MHz）

内蔵電池	使用電池	リチウムイオン電池
	公称電圧	3.7V
	公称容量	200mAh

※1　Bluetooth®キーボードおよびすべての Bluetooth 機能搭載機器は、BluetoothSIG が定めている方法で Bluetooth 標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。
※2　通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。
※3　Bluetooth 通信の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

- 充電時間は、Bluetooth®キーボードの電源を切って、内蔵電池が空の状態から充電したときの目安です。Bluetooth®キーボードの電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

ファイル形式

本端末で撮影した静止画と動画は以下のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	jpg
動画	MP4	mp4

本端末でOffice文書などを閲覧できます。
対応している種類とバージョンは以下のとおりです。

種類	バージョン	拡張子
Microsoft Word	MS Word 97-2013	.doc、.docx、.dot、.dotx、.rtf、.hwdt、.wbk
Microsoft Excel	MS Excel 97-2013	.xls、.xlsx、.xlt、.xltx、.csv、.xlsm、.cbk
Microsoft Power Point	MS PowerPoint 97-2013	.ppt、.pptx、.pps、.ppsx、.pot、.potx、.sbk
Adobe PDF	V1.2-V1.7	.pdf
Hansoft Hangul	Hansoft Hangul 97-3.0、2002-2010	.hwp、.hwt
Text	-	.txt

静止画の撮影枚数（目安）

撮影サイズ	SC-03G（本体）※	microSDカード（1GB）
3264×2448	最大約6,150枚	最大約250枚

ファイルサイズが4MBの場合の撮影枚数です。

※ お買い上げ時の保存可能枚数です。

動画の撮影時間（目安）

撮影サイズ	SC-03G（本体）※	microSDカード（1GB）
1920×1080	最大約200分（1件あたり最大約33分）	最大約500秒

※ お買い上げ時の録画可能時間です。

データ通信端末の比吸収率（SAR）などについて

データ通信端末の比吸収率（SAR）

この機種［SC-03G］は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、本データ通信端末に対するSARの許容値は2.0W/kgです。取扱説明書に記述する通常使用の場合、このデータ通信端末のSARの最大値は1.631W/kg(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、データ通信端末の出力は小さくなります。
通信中は、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上

にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm

一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html

ドコモのホームページ
https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/

SAMSUNGのホームページ
http://www.samsung.com/sar/sarMain.do
→ LOCATION欄で「JAPAN」→ Language欄で「JAPANESE」→ Phone Model欄で「SC-03G」→「GO」→ search resultsの欄のリンクをクリック

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 Xi/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

FCC notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF exposure information

Your device is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless devices employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.
The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model when tested for use at the body is 1.57 W/kg.

Body-worn operation

For body worn operation, this device has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Body-worn SAR testing has been carried out at a separation distance of 0 cm. To meet RF exposure guidelines during body-worn operation, the device should be positioned at least this distance away from the body.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model device is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID A3LSC03G.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at http://www.ctia.org/.

European RF Exposure Information

Your device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the body was 0.979 W/kg※.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

Declaration of Conformity

Product details

For the following
Product : GSM WCDMA LTE BT/Wi-Fi Portable Device
Model(s) : SC-03G

CE 0168 !

Declaration & Applicable standards

We hereby declare, that the product above is in compliance with the essential requirements of the R&TTE Directive (1999/5/EC) by application of:

SAFETY	EN 60950-1:2006 + A11:2009 + A1:2010 + A12:2011	
SAR	EN 50566 : 2013	EN 62209-2 : 2010
	EN 62479 : 2010	
EMC	EN 301 489-1 V1.9.2 (09-2011)	EN 301 489-17 V2.2.1 (09-2012)
	EN 301 489-24 V1.5.1 (10-2010)	EN 301 489-3 V1.6.1 (08-2013)
	EN 301 489-7 V1.3.1 (11-2005)	EN 55022 : 2010
	EN 55024 : 2010	
RADIO	EN 300 328 V1.8.1 (06-2012)	EN 300 440-1 V1.6.1 (08-2010)
	EN 300 440-2 V1.4.1 (08-2010)	EN 301 511 V9.0.2 (03-2003)
	EN 301 893 V1.7.1 (06-2012)	EN 301 908-1 V6.2.1 (04-2013)
	EN 301 908-13 V6.2.1 (10-2013)	EN 301 908-2 V6.2.1 (10-2013)

and the Directive (2011/65/EU) on the restriction of the use of certain hazardous substances in electrical and electronic equipment by application of EN 50581:2012.

The conformity assessment procedure referred to in Article 10 and detailed in Annex[IV] of Directive 1999/5/EC has been followed with the involvement of the following Notified Body(ies):

TÜV SÜD BABT, Octagon House, Concorde Way,
Fareham,Hampshire, PO15 5RL, UK *
Identification mark: 0168

Representative in the EU

Samsung Electronics Euro QA Lab.
Blackbushe Business Park
Saxony Way, Yateley, Hampshire
GU46 6GG, UK*

2014.11.24

(Place and date of issue)

Stephen Colclough / EU Representative

(Name and signature of authorized person)

※ This is not the address of Samsung Service Centre. For the address or the phone number of Samsung Service Centre, see the warranty card or contact the retailer where you purchased your product.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権について

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

商標について

- 「Xi」「Xi ／クロッシィ」「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「デコメール®」「ｉコンシェル」「マチキャラ」「WORLD WING」「公共モード」「おまかせロック」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「mopera U」「ビジネスmopera」「エリアメール」「spモード」「eトリセツ」「トルカ」「dマーケット」「dメニュー」「フォトコレクション」「しゃべってコンシェル」「あんしん遠隔サポート」「あんしんスキャン」および「ｉコンシェル」ロゴ、「トルカ」ロゴ、「エリアメール」ロゴ、「eトリセツ」ロゴ、「しゃべってコンシェル」ロゴ、「あんしん遠隔サポート」ロゴ、「ICタグ･バーコードリーダー」ロゴ、「メディアプレイヤー」ロゴ、「ドコモバックアップ」ロゴ、「電話帳」ロゴ、「dマーケット」ロゴ、「dメニュー」ロゴ、「Xi」ロゴは(株)NTTドコモの商標または登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。
  ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
  Copyright © 2014 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
  本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

- Bluetooth® smart readyとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。

- iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2014 All Rights Reserved.
- Microsoft®、Windows Media®、ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの、米国またはその他の国における商標または登録商標です。

- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
  文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

- 「Twitter」はTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- HP は、Hewlett-Packard Development Company L.P.の登録商標です。
- その他本書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 8は、Microsoft® Windows® 8（Windows 8、Pro、Enterprise）の略です。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 (Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA. LLCにお問い合わせください。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式では、ご利用いただけません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

索引

あ

アカウント……344
削除……347
設定……344
明るさ……324
アクセスポイント……309
初期化……310
設定……309
アプリ画面……120
アプリ画面の見かた……149
アプリケーション……357
アプリケーション管理……357
暗証番号……351
PINコード……352
PINロック解除コード（PUK）……353
ネットワーク暗証番号……352
位置情報……269
印刷……383
ウェブブラウザ……187
Sプランナー……277
音量を調節する……323

か

海外利用……389
ご利用できるサービス……390

カメラ……**229**
カメラの設定……235
撮影画面の見かた……231
静止画を撮影する……233
動画を撮影する……234
画面キャプチャ……**69**
画面ロック……**58**
解除……58
解除方法……326
設定……58
起動中のアプリ一覧……**138**
起動中のアプリの件数……**138**
機内モード……**306**
ギャラリー……**245**
切り取り……**82**
緊急速報「エリアメール」……**184**
クイック検索ボックス……**131**
クイック設定ボタン……**111**
国際ローミング（WORLD WING）……**389**
コピー……**82**

さ

最近使用したアプリの一覧……**137**
辞書……**285**
自分の電話番号を確認……**357**
指紋認証機能を利用する……**70**
充電……**53**
仕様……**422**
省電力モード……**348**
初期設定……**102**

スクリーンセーバー……325
スクロール……63
ステータスバー……106
主なステータスアイコン……109
主な通知アイコン……106
ストレージ……349
スワイプ……62
静止画……233
撮影……233
表示……247
接続……290
設定メニュー……289
ソフトウェア更新……419

た

タスクマネージャー……138
タッチスクリーン……61
タップ……62
ダブルタップ……62
近くのデバイス……385
通知音を設定する……324
通知パネル……111
ディスプレイ……46
自動回転……68
データ使用量……307
テザリング……301
デバイス……313
テレビ（フルセグ／ワンセグ）……210
電源……57
入れる……57

切る…… 57
電卓…… 278
動画を再生する
ギャラリー…… 247
ビデオ…… 257
動画を撮影する…… 234
時計…… 274
アラーム…… 274
世界時計…… 276
ドコモmini UIMカード …… 49
暗証番号…… 49
取り付ける…… 50
取り外す…… 51
ドコモアプリ管理…… 319
ドコモバックアップ…… 279
microSDカード …… 279
データ保管BOX …… 283
ドコモメール…… 156
ドラッグ…… 62
トルカ…… 208

な

内蔵電池
充電時間の目安…… 54
寿命…… 53
使用時間の目安…… 54

は

ハイブリッドダウンロード…… 307

バイブレーションの強弱を設定する……324
パソコンとの接続……379
microUSB接続ケーブルで接続する ……379
貼り付け……82
比吸収率（SAR）……431
ビデオ……257
ピンチアウト……63
ピンチイン……63
フリック……63
フルセグ……210
プレイヤー……254
ブロックモード……334
ホーム画面……114
見かた……140
ホーム画面のバックアップと復元……153
バックアップ……153
復元……153
ホーム切替……321

ま

マイファイル……366
マイマガジン……154
マチキャラ表示設定……148
マナーモード……322
マルチウィンドウ……116
メール……156
Eメール……168
Gmail……182
SMS ……157
ドコモメール……156

メディアファイル共有機能対応機器…… 384
メディアプレイヤー…… 254
モーション…… 64
文字入力…… 76
Samsung日本語キーパッド …… 76
設定…… 84
入力方法を選択…… 76

ら

リモートコントロール…… 355
ロック画面…… 59
ロングタッチ…… 62

わ

ワンセグ…… 210

英数字

ACアダプタ …… 55
充電…… 55
Bluetooth …… 372
Bluetooth® キーボード …… 92
docomo LIVE UX …… 140
きせかえ…… 145
dマーケット …… 205
dメニュー …… 204
Eメール …… 168
アカウント設定…… 168
作成して送信する…… 176

受信……178
設定……170
GALAXY Apps……207
Gmail……182
Google Play……205
Googleマップ……272
経路を検索する……273
GPS……269
microSDカード……362
初期化……365
取り付け……363
取り外し……364
Playストア……205
Samsung Kies……380
Samsungアカウント……345
Samsung日本語キーパッド……76
キーボードの種類……80
ワイルドカード予測……81
SIM変更アラート……356
SMS……157
作成して送信する……157
受信……159
spモード……310
Sファインダー……137
Sプランナー……277
Sボイス……286
TouchWiz標準ホーム……114
VPN……311
Wi-Fi……292
YouTube……285

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

spモードから　dメニュー→「お客様サポート」→「ドコモオンライン手続きの一覧をみる」〔パケット通信料無料〕

パソコンから　My docomo（https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/）⇒ ドコモオンライン手続き一覧

※ spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。

※ spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。

※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID ／パスワード」が必要となります。

※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID ／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は裏表紙の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。

※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。

※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

■ 運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

■ 駅のホームや道路などで歩きながらスマートフォンを使用すると、視野が極端に狭くなり、接触事故の原因となります。

■ スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ バイブ（P.324）
受信したことを、振動でお知らせします。

■ マナーモード（サイレント、バイブ）（P.322）
キー確認音など本端末から鳴る音を消します。
※ ただし、シャッター音は消せません。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※ 回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

海外での紛失、盗難、故障および各種お問い合わせ先（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600*（無料）**

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※ 主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

- **紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。**
- **お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。**

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）**151**（無料）

■一般電話などからの場合
0120-800-000

※ 一般電話などからはご利用になれません。

※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前９：00 ～ 午後８：00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）**113**（無料）

※ 一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000

※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　https://www.nttdocomo.co.jp/

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、
周囲の方への心くばりを忘れずに。

危険です、
歩きスマホ。

Li-ion 00

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　Samsung Electronics Co.,Ltd.
'14.11（1版）